

バイク専用ドライブレコーダー
EDRシリーズ専用PCソフト

Moto DR Player

Version 2.1

取扱説明書

最新の専用PCソフト「Moto DR Player」および取扱説明書は、弊社WEBサイトにて案内しております。下記 URL にアクセス頂き、ご確認ください。

<https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/support/>

— ご案内 —

「Moto DR Player」の基本的な操作説明は、28 ページから記載しています。

- 本書の著作権は、株式会社ミツバサンコーワに帰属します。弊社の許可を得ずに本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書に掲載されている画像には、開発中の画像または最新のバージョンとは異なる画像が含まれます。そのため、実際の画面の表示と異なることがあります。
- 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- This instruction manual is in Japanese only.

Moto DR Player について

本ソフトウェア「Moto DR Player」では、弊社のバイク専用ドライブレコーダー EDR シリーズで録画したファイルの再生、走行軌跡の地図表示※、走行速度の表示※、録画ファイルの連結保存やバックアップをすることが出来ます。

※GPS 搭載モデルを使用した場合のみ可能です。

●動作システム要件 2023 年 12 月現在

- O S: Microsoft Windows 10 64bit Version 1809 以降(32bit 版ではご使用頂けません)
Microsoft Windows 11
- C P U: Intel Core i3 3.0GHz 相当以上
- メモ リ: 4GB 以上(推奨: 16GB 以上)
- GPU メモリ: 1GB 以上(推奨: 2GB 以上)
- モニ タ: 1280 × 1024 pixel 以上(推奨: 1920 × 1080 pixel 以上)
- その他: ・ microSDHC、microSDXC に対応した microSD カードスロット、SD カードアダプタを使用する場合は、SDHC、SDXC に対応した SD カードスロットまたは USB 接続の microSD /SD カードリーダーライタなど
- ・ インターネット接続環境(GPS 搭載モデルを使用し、地図表示する場合)

注 意

- ・ 上記システム要件を満足する、すべての PC において、動作を保証するものではありません。
- ・ ご使用の PC 環境によって、一部の機能が動作しなかったり、表示や再生が正しくおこなわれない場合があります。

●主な機能

■録画ファイルの確認

- ・ 録画ファイルの再生
microSD カード内の録画ファイル(常時、衝撃、手動)の再生
PC 内ストレージにバックアップした録画ファイルの再生
つなぎ目のない録画ファイル再生(シームレス再生)
- ・ 走行軌跡の表示(GPS 搭載モデルのみ)
録画ファイルの再生に合わせ、自車位置と走行軌跡を地図に表示
- ・ 走行速度の表示(GPS 搭載モデルのみ)
再生時に GPS 測位データから走行速度の目安を表示

■録画ファイル操作

- ・ 録画ファイルのバックアップ
録画ファイルを PC 内ストレージにバックアップ
- ・ 録画ファイルの連結保存
録画ファイルをつなぎ目のない、ひとつのファイル※¹ に連結保存※²
- ・ 録画ファイルの削除
不要な録画ファイルをリストから選択して削除
- ・ GPS ログデータの保存(GPS 搭載モデルのみ)
記録した GPS のログデータを抽出して保存※³

※¹ 結合する録画ファイルの数が多い場合、複数のファイルに分割して保存することがあります。

※² 「Moto DR Player」では、連結保存したファイルの読み込みや再生は出来ません。

※³ 「Moto DR Player」では、保存した GPS ログファイルの読み込みや再生は出来ません。

■本体の録画 / 録音設定

- | | |
|---|-----------------------------|
| ・ 画像サイズの設定
1080P FHD / 720P HD / VGA | ・ 画質の設定
HIGH / MID / LOW |
| ・ 衝撃検知感度の設定
OFF / 5 / 4 / 3 / 2 / 1 | ・ 音声記録の設定
ON / OFF |
| ・ 録画ファイルの上書き保存設定
常時: ON / OFF 衝撃・手動: ON / OFF | |

■microSD カードフォーマット

- ・ microSD カード FAT32 フォーマット機能
microSD カードを EDR シリーズで使用可能な形式でフォーマット

目次

●はじめに	
Moto DR Player について	2
目次	3
使用上の注意	4
録画ファイルについて	5
●準備と起動 / 終了	
Moto DR Player をインストールする	6 ~ 9
Moto DR Player を起動する・終了する	10 ~ 11
Moto DR Player をアンインストールする	12 ~ 13
地図表示されない場合	14 ~ 15
●ウィンドウの説明	
表示ウィンドウについて	16
メニューバー	17 ~ 21
メインビューと再生ツール	22
地図ウィンドウ	23
サブビューウィンドウ	24
ファイルリスト	24
速度ウィンドウ	25
G グラフウィンドウ	25
●再生操作	
録画ファイルを読み込む	28 ~ 29
録画ファイルリストの操作	30 ~ 31
基本的な再生操作	32 ~ 35
コマ送り / コマ戻し	36
再生速度を変更する	37
再生時の音声をミュートする	38
静止画を保存する	39
ズーム機能を使う	40
メインビューとサブビューの画面を入れ替える	41
全画面表示で再生する	42 ~ 43
全画面表示状態で G グラフの表示 / 非表示を切り替える	44 ~ 45
●ウィンドウの調整	
ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える	46 ~ 47
ウィンドウの配置設定を切り替える	48 ~ 49
ウィンドウの幅、高さを調整する	50
ウィンドウ構成を初期の状態に戻す	51
ウィンドウ配置設定の記憶機能	52
●便利な機能	
録画ファイルを連結保存する	54 ~ 58
GPS ログファイルを保存する	60 ~ 63
録画ファイルをバックアップする	64 ~ 65
microSD カードをフォーマットする	66 ~ 68
録画ファイルを選択して削除する	70 ~ 73
Moto DR Player で本体の録画 / 録音設定をする	74
表示言語の設定	75
●こんなときは	
こんなときは - Q&A -	76 ~ 84
オンラインサポートページを開く	85
●その他	
ソフトウェアのバージョンを確認する	86
ライセンス情報	87
お問い合わせ窓口	87

■ 使用上の注意

● microSDカード、ファイル(データ)に関する注意

- ・ microSD カードは、弊社製品バイク専用ドライブレコーダー EDR シリーズの取扱説明書または microSD カードの取扱説明書をお読み頂き、正しくお取り扱いください。
- ・ microSD カードを PC に接続するときは、ご使用の PC またはカードリーダー等の取扱説明書に従っておこなってください。
- ・ 本ソフトウェアを使用したことによって生じた損害(記録された映像やデータの消失、損傷、破損など)について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● ソフトウェアに関する注意

- ・ 本ソフトウェアは、弊社製品バイク専用ドライブレコーダー EDR シリーズ専用です。他社製ドライブレコーダーには、使用しないでください。
- ・ ストレージ機器(microSD カード、SSD や HDD などの記憶装置)、ファイルおよび関連する機器の状態、対応する各種規格、性能によっては、ファイルを認識出来なかったり、エラーが発生することがあります。
- ・ 本ソフトウェアにより表示される映像や付帯情報(日時、緯度、経度、地図による車両の位置表示、走行軌跡表示、走行速度、G グラフなど)は、録画ファイルに記録された情報をもとに表示しています。実際の走行状況を正確に表示したものではありません。
- ・ PC の環境やファイルの状態によっては、本ソフトウェアにより表示される映像と連動する付帯情報(日時、緯度、経度、地図による車両の位置表示、走行軌跡表示、走行速度、G グラフなど)が正しく表示されないことがあります。
- ・ 本ソフトウェアに表示される地図は、Google マップを使用しています。録画および再生する時期により、道路整備などで地図情報が更新された場合、車両の位置や走行軌跡、地図の道路表示が走行録画時と異なった表示となります。
- ・ 本ソフトウェアの地図表示機能を使用するには、インターネットへの接続が必要です。またセキュリティソフトやファイアウォールの設定によって、地図表示機能が使用出来ないことがあります。この場合、セキュリティソフトやファイアウォールの設定から、本ソフトウェアを「インターネット接続を許可」または「インターネット接続拒否リストから除外」するなどの設定をおこなってください。なおプロキシサーバーを経由しているネットワークで PC を使用している場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- ・ PC でセキュリティソフトが動作している場合、本ソフトウェアの機能や操作によって、その動作について許可や実行の確認を求められることがあります。この場合、セキュリティソフトに対し許可や実行を選択してください。また、セキュリティソフトの設定で本ソフトウェアを「セーフリスト登録」や「除外リスト登録」等をおこなってください。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。なお、登録するプログラムファイルは下記の通りです。(インストール先が初期値の場合)

< Moto DR Player のプログラムファイルインストール先 >

C:\Program Files\MITSUBASANKOWA Corporation\Moto DR Player\Moto_DR_Player.exe

- ・ 本ソフトウェアを使用して長時間の映像視聴は、視力低下など健康に影響を与える可能性があります。適度に休憩を入れて視聴してください。
- ・ 体調や体質によっては、本ソフトウェアを使用して映像を視聴したときに、画面酔いを引き起こすことがあります。このような場合、直ちに視聴を中止し体調の回復に努めてください。

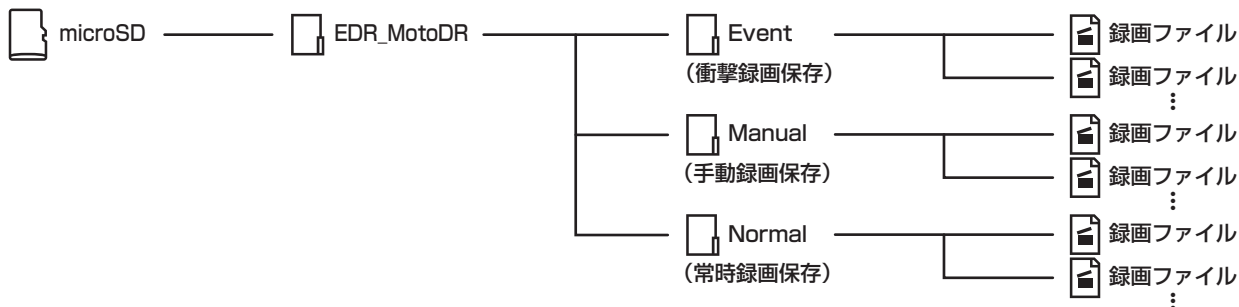
録画ファイルについて

● microSD カードのフォルダ・録画ファイル構成

microSD カードのフォルダ・録画ファイルは、下記のように構成されています。

- microSD カード内のフォルダ構成およびフォルダ名、ファイル名は変更しないでください。録画ファイルを正しく EDR 本体で認識出来なかったり、本ソフトウェアで再生出来なくなります。

● フォルダ構成図



● ファイル名の構成

例：F_20190401120510_20190401121030_N.MP4

記録開始 (IG ON) 日時
(2019年04月01日 12時05分10秒)

F：フロントカメラ
R：リアカメラ

ファイル記録開始日時
(2019年04月01日 12時10分30秒)

N：常時録画ファイル
E：衝撃録画ファイル
M：手動録画ファイル

- 本ソフトウェア以外の動画再生ソフトを使用して、録画ファイルを再生することが出来ます。その際にファイルを編集したり、上書き保存すると、G センサーやGPS の付帯情報が失われ、本ソフトウェアで正常に再生出来ない場合があります。

● バックアップファイルの注意事項

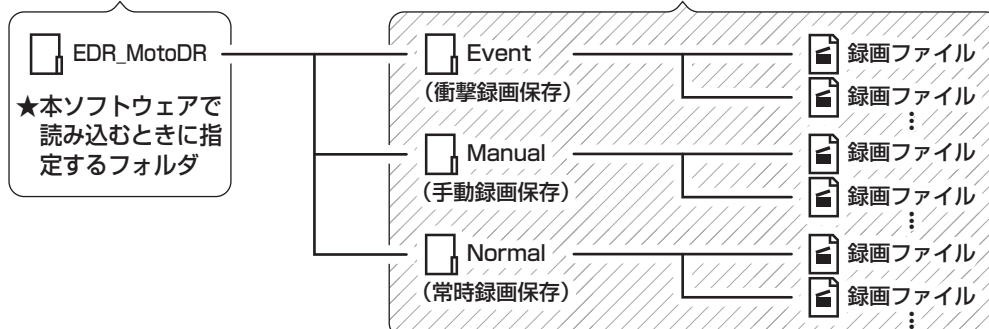
- microSD カード内の録画ファイルを PC 内やその他の外部ストレージ機器にコピーまたはバックアップする場合、下記の内容に従って管理してください。本ソフトウェアで正しく再生出来なくなります。

- ・フォルダ内のフォルダ構成は、変更しないでください。
- ・フォルダ名の変更は、下図で指定する範囲でおこなってください。
- ・ファイル名は、変更しないでください。
- ・バックアップしたフォルダ内に無関係のフォルダやファイルを混在させないでください。

● バックアップしたフォルダ、ファイルの構成とフォルダ名称の変更可能範囲

○ 名称変更可能

× 構成、名称 変更不可



- 本ソフトウェアのバックアップ機能を使用してバックアップする場合は、「録画ファイルをバックアップする」(64 ページ)を参照してください。

■ Moto DR Player をインストールする

●インストールに関する注意

- ・使用する PC が、本ソフトウェアの動作システム要件 (2 ページ) を満たしていることを確認してください。なお、動作システム要件を満たしていた場合でも、PC の環境によって正常に動作しないことがあります。
- ・インストールする PC に「Moto DR Player」がインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから、本ソフトウェアをインストールしてください。アンインストールをする場合は、「Moto DR Player をアンインストールする」(12 ページ)を参照してください。
- ・本ソフトウェアのインストールには、インストールする PC の管理者権限が必要です。管理者権限がない場合は PC の管理者にインストールを依頼してください。
- ・インストールする PC が「S モード」で動作している場合、本ソフトウェアをインストールすることが出来ません。「S モード」を解除してからインストールしてください。「S モード」を解除すると「S モード」に戻すことは出来ません。お客様の判断で「S モード」を解除してください。「S モード」の解除によって発生した損害等について、弊社は一切その責任を負いません。なお「S モード」の解除方法は「こんなときは -Q&A-」(76 ページ)を参照してください。
- ・本ソフトウェアのインストールには、作業領域含め 200MB 以上の空き容量が必要です。インストールするドライブ(C ドライブ)の空き容量を確認してください。

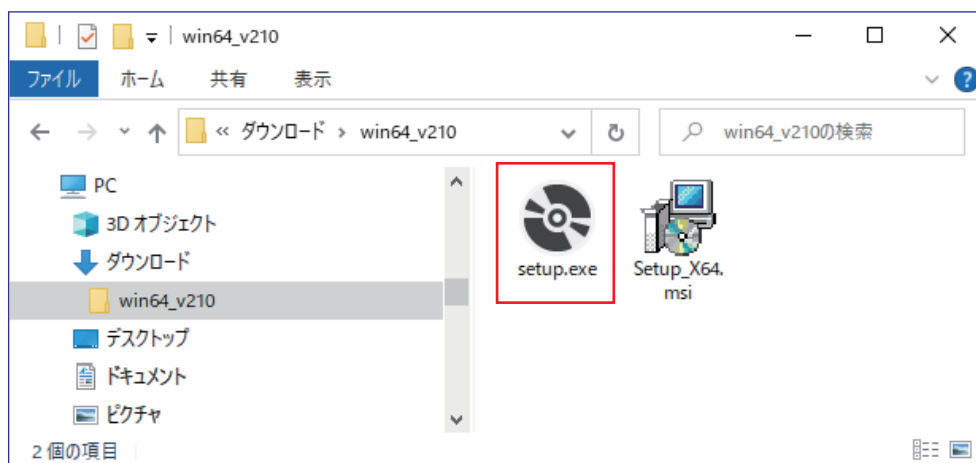
●インストール手順

※Windows 10 に「Moto DR Player Version 2.1.0」をインストールする手順を記載しています。インストールする PC 環境やインストールする Version に置き換えてインストールをおこなってください。Version 2.1.0 をインストールする圧縮ファイルは、「win64_v210」として表記しています。

1. ダウンロードした圧縮ファイル(ZIP 形式)を展開(解凍)します。

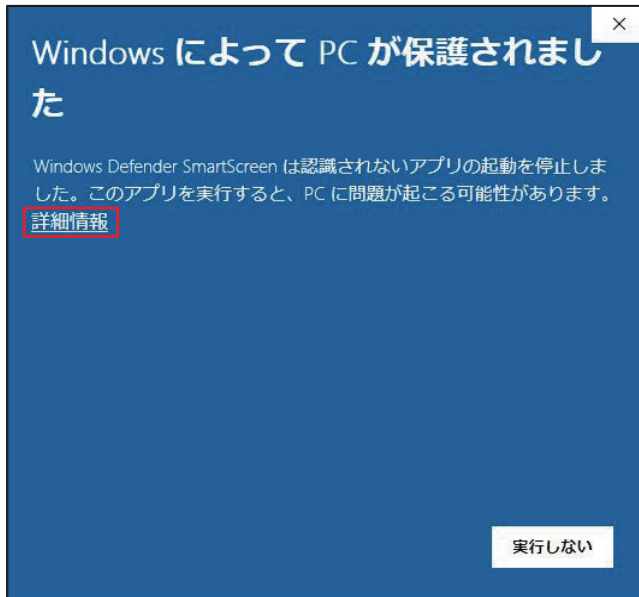


2. 「setup(.exe)」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。

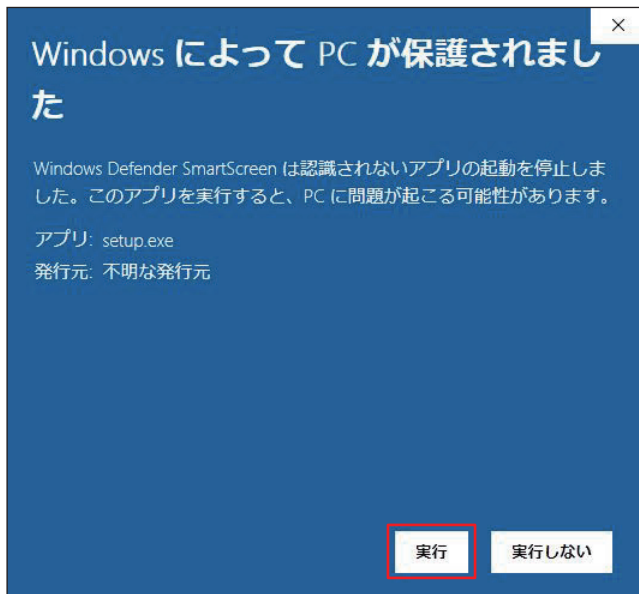


- ※ 「setup(.exe)」ダブルクリック後に「Microsoft.NET Framework」のインストールを求められることがあります。この場合は、ライセンス条項をご確認の上、インストールをおこなってください。
- ※ 「Microsoft.NET Framework」のインストールが始まると、「Moto DR Player」のインストールは中止されます。「Microsoft.NET Framework」のインストール完了後に、再度「Moto DR Player」のインストールをおこなってください。

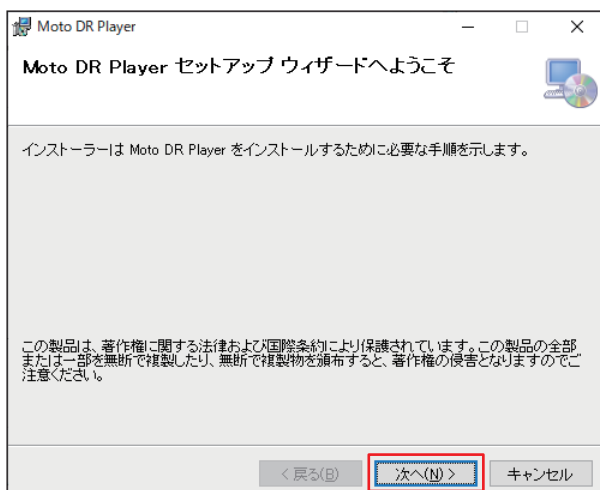
3. 「Windows によって PC が保護されました」の画面が表示されたら「詳細情報」をクリックします。



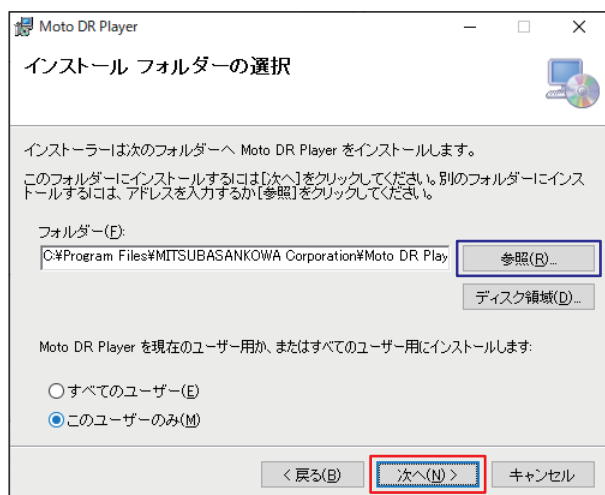
4. 表示中の画面が下記の表示に変わったら「実行」をクリックします。



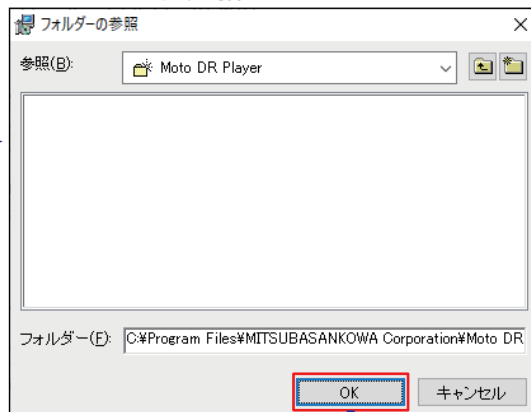
5. 「Moto DR Player セットアップ ウィザードへようこそ」の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



6. 「インストール フォルダーの選択」の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

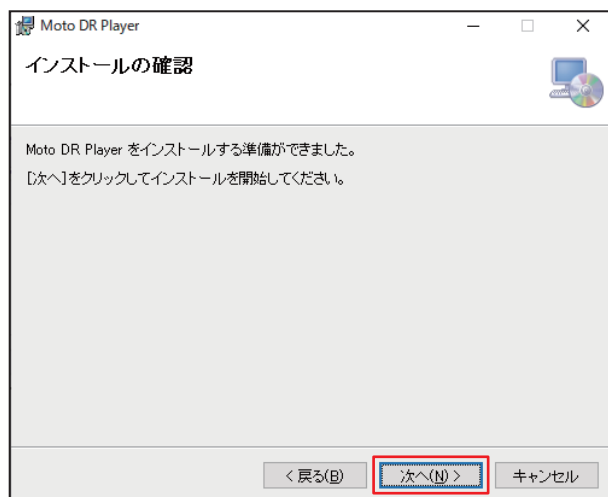


※ 任意の場所に本ソフトウェアをインストールする場合は「参照」をクリックして、「フォルダーの参照」画面からインストールする場所を指定してください。

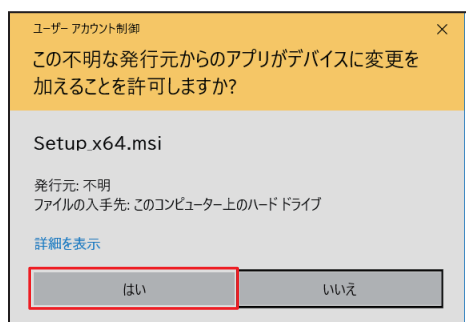


準備と起動／終了

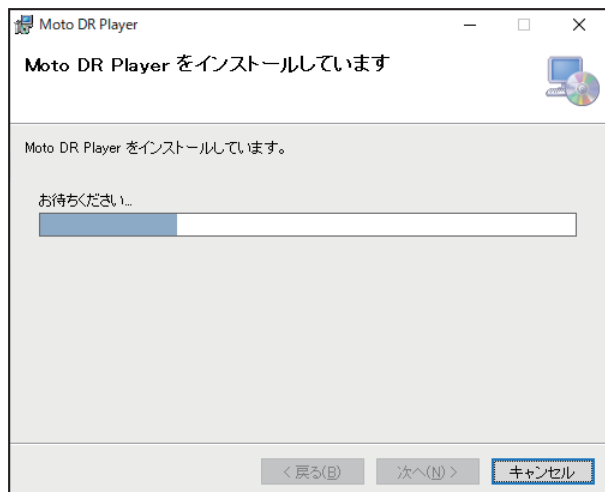
7. 「インストールの確認」画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



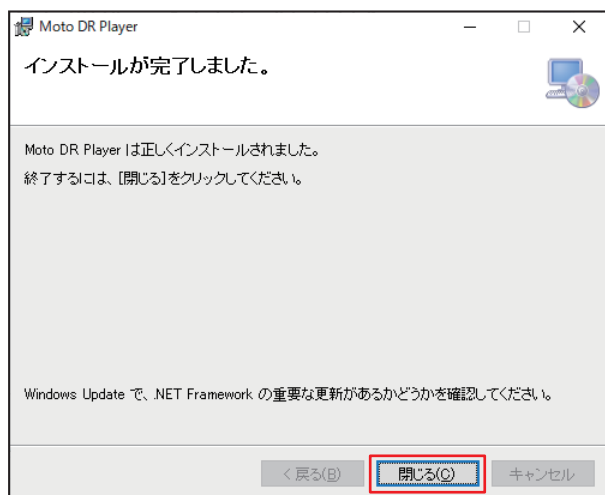
8. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「はい」をクリックします。



9. 「Moto DR Player をインストールしています」の画面に変わり、インストールが開始されます。(画面が切り替わるまで待ちます)



10. 「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら「閉じる」をクリックします。



以上で「Moto DR Player」の「インストール手順」の説明は終わりです。

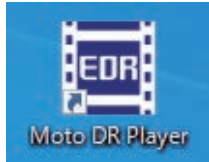
■ Moto DR Player を起動する・終了する

●Moto DR Player を起動する

ここでは、「Moto DR Player」の代表的な起動方法について、説明します。

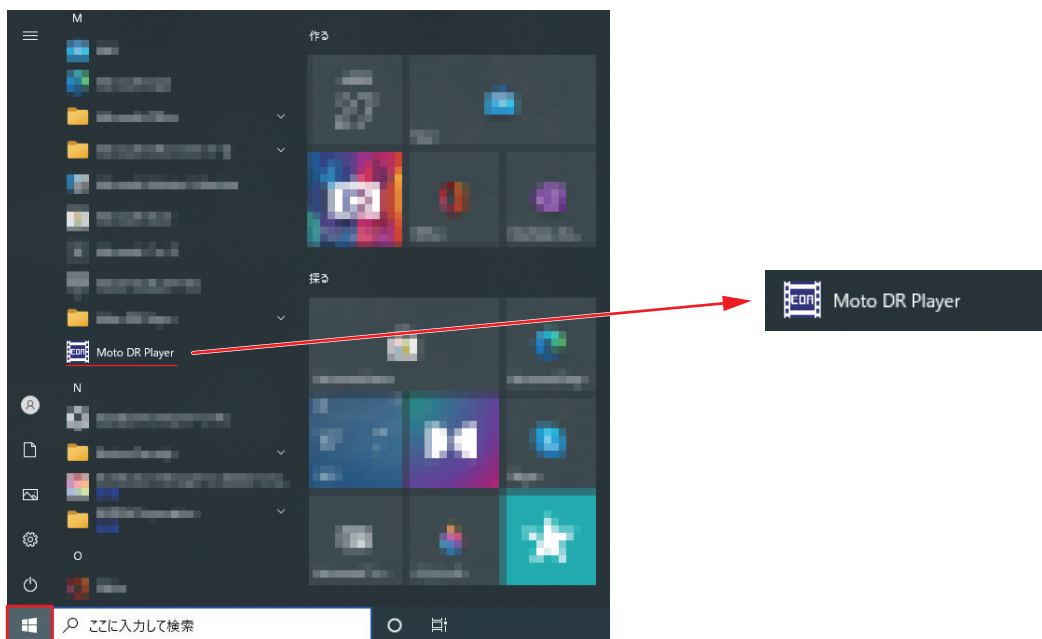
■ デスクトップに作成されたショートカットから起動する

1. PCを操作し、PCのデスクトップ画面を表示します。
 - ・画面の右下の角にカーソルを合わせてクリック、またはキーボードの[Win]+[D] 操作で、デスクトップ画面を表示します。
2. デスクトップに作成された「Moto DR Player」のショートカットをダブルクリックします。



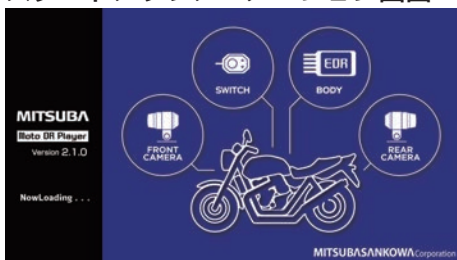
■ スタートメニューから起動する

1. スタートメニューを表示します。
 - ・画面の左下の[Win]アイコンをクリック、またはキーボードの[Win]操作で、スタートメニューを表示します。
2. スタートメニューを下にスクロールし、見出しの「M」 から「Moto DR Player」を探し、「Moto DR Player」をクリックします。

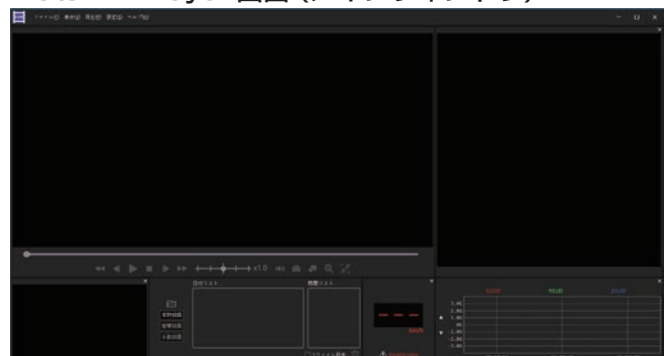


- 「Moto DR Player」が起動するとスタートアップアニメーションが表示され、その後「Moto DR Player」の画面(メインウィンドウ)が表示されます。

スタートアップアニメーション画面



Moto DR Player 画面 (メインウィンドウ)



以上で「Moto DR Player を起動する」の説明は終わりです。

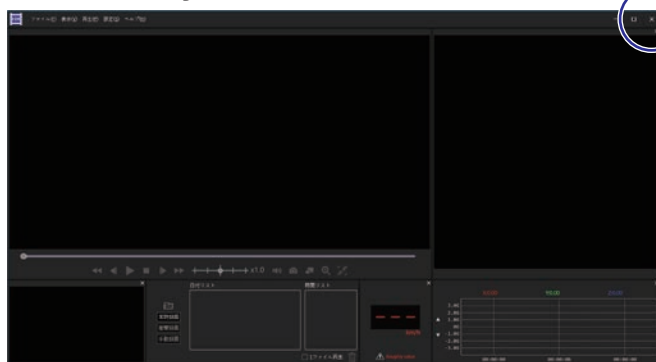
● Moto DR Player を終了する

「Moto DR Player」の代表的な終了方法について、説明します。

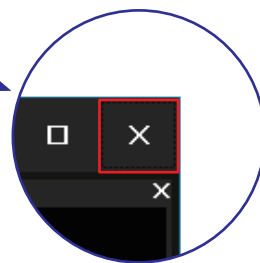
■ メインウィンドウの「×」(終了)ボタンで終了する。

1. 「Moto DR Player」のメインウィンドウの右上の「×」ボタンをクリックします。
・メインウィンドウ右上の「×」にカーソルを合わせると、「×」ボタンが赤色に変わります。

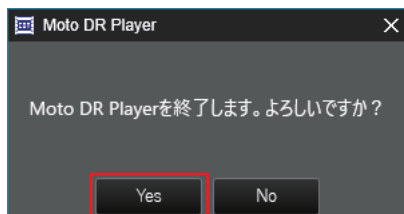
Moto DR Player 画面(メインウィンドウ)



「×」(終了) ボタン



2. 終了の確認画面が表示されたら「Yes」ボタンをクリックします。



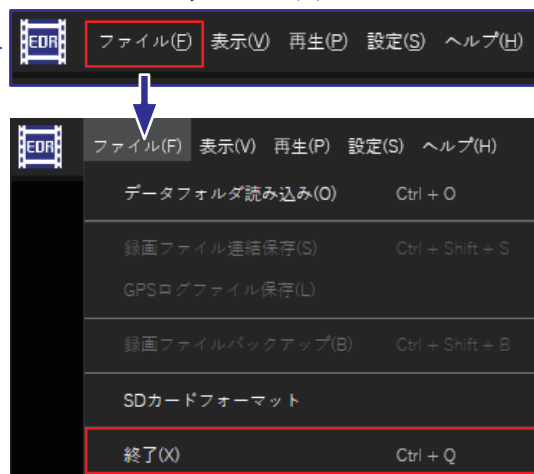
■ メニューの「終了」から終了する。

1. 「Moto DR Player」のメニューバーの「ファイル」をクリックします。
2. 表示されたメニューから、一番下の「終了」を選択します。

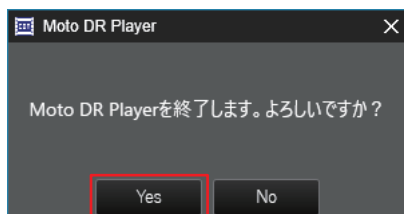
Moto DR Player 画面(メインウィンドウ)



メニューバー



3. 終了の確認画面が表示されたら「Yes」ボタンをクリックします。



以上で「Moto DR Player を終了する」の説明は終わりです。

■ Moto DR Player をアンインストールする

●アンインストールに関する注意

本ソフトウェアのアンインストールには、アンインストールする PC の管理者権限が必要です。管理者権限がない場合は PC の管理者にアンインストールを依頼してください。

●アンインストール手順

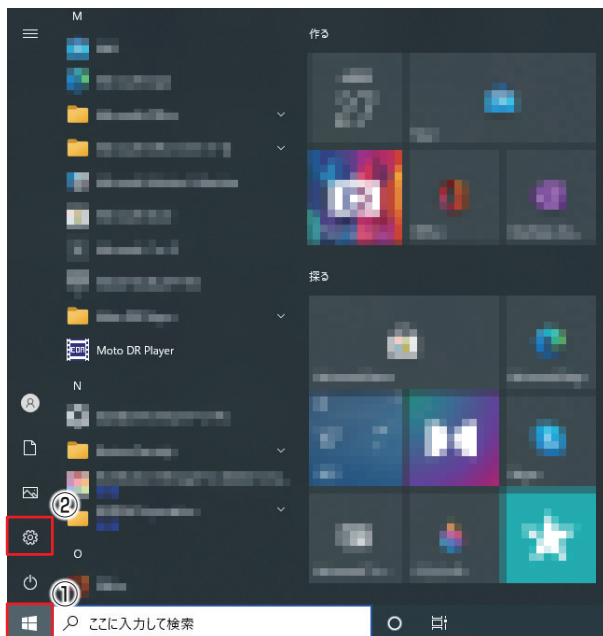
本ソフトウェアの使用を中止する場合や新しいバージョンの「Moto DR Player」をインストールする場合、本ソフトウェアのアンインストールをしてください。

① スタートメニューを表示します。

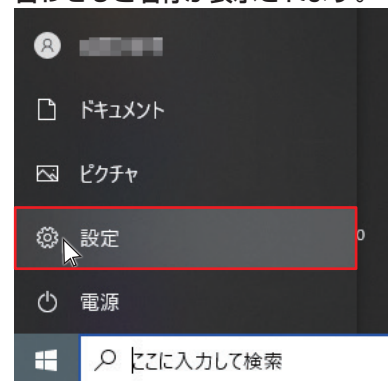
- ・画面の左下の[■]アイコンをクリックまたはキーボードの[■]操作で、スタートメニューを表示することが出来ます。

② 「設定」を選択し、設定画面を表示します。

- ・スタートメニューの左側のアイコンから[⚙]をクリックします。



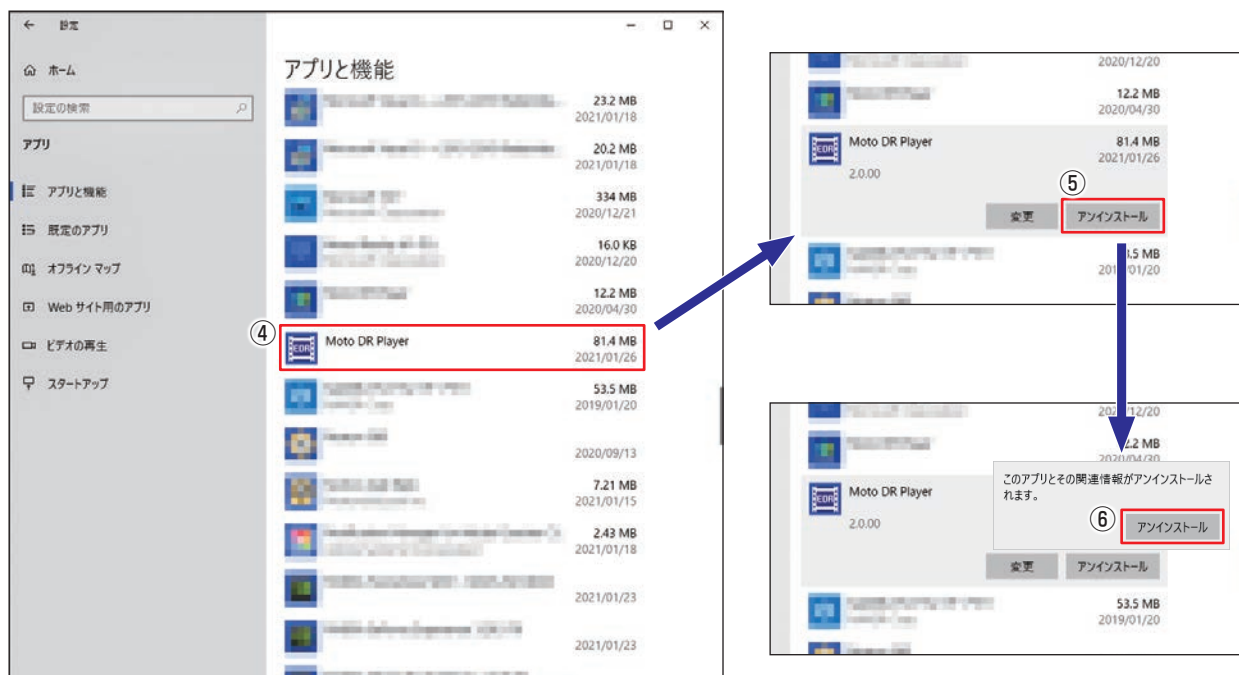
左側のアイコンにカーソルを合わせると名称が表示されます。



③ 設定画面から「アプリ」の項目をクリックします。

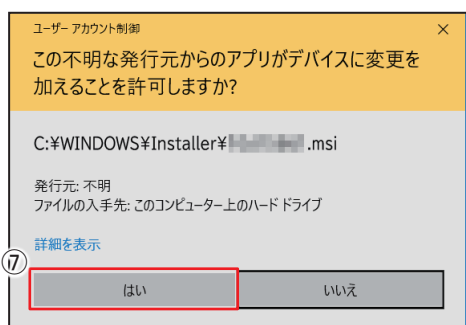


- ④ 「アプリと機能」画面の右側から「Moto DR Player」を探し、クリックします。
 - ・「アプリと機能」画面になっていない場合は、左側の「アプリと機能」をクリックします。
- ⑤ 「Moto DR Player」をクリックすると、「アンインストール」のボタンが表示されますので、「アンインストール」ボタンをクリックします。
- ⑥ 「アンインストール」ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。続けて「アンインストール」ボタンをクリックします。

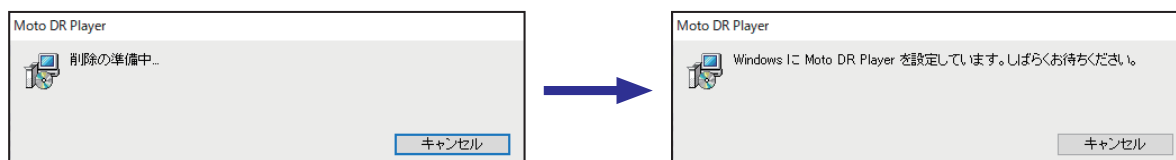


準備と起動／終了

- ⑦ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「はい」をクリックします。



- ⑧ アンインストールが開始され、画面が切り替わります。
 - ・アンインストール終了後、画面が自動で閉じます。



- ⑨ アンインストール終了後、「アプリと機能」画面の一覧から「Moto DR Player」の表示がないことを確認してください。

以上で「Moto DR Player」の「アンインストール手順」の説明は終わりです。

■ 地図表示されない場合

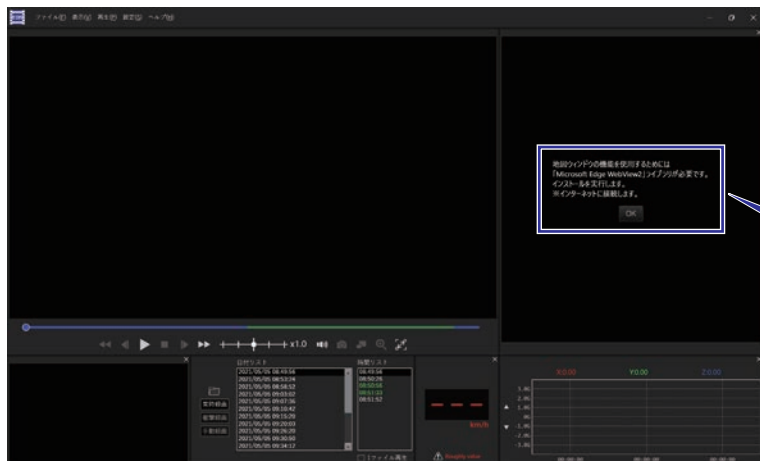
本ソフトウェア「Moto DR Player」の地図表示には、Microsoft Edge または Microsoft Edge WebView2 Runtime が必要です。

地図ウィンドウに Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールが必要である文面（下記画面）が表示される場合、下記手順に従い Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールをおこなってください。

※地図ウィンドウが非表示の状態になっている場合は、地図ウィンドウを表示させてください。表示方法は「ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える」（46 ページ）を参照してください。

※地図ウィンドウに下記画面の文面が表示されない場合、または地図が正常に表示されている場合は、Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールは不要です。

※地図ウィンドウを使用しない場合、Microsoft Edge WebView2 Runtimeのインストールは不要です。



地図ウィンドウの機能を使用するためには「Microsoft Edge WebView2」ライブラリが必要です。インストールを実行します。 ※インターネットに接続します。

OK

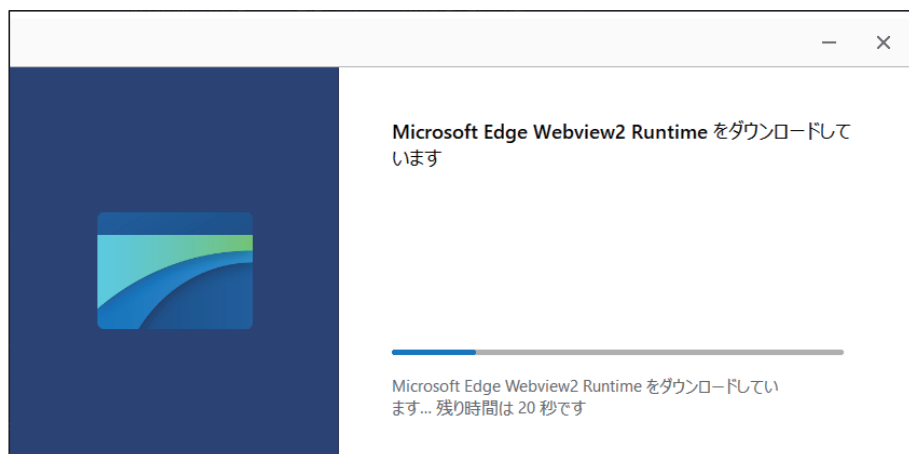
● Microsoft Edge WebView2 Runtime インストール手順

※ Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールには、インターネット接続が必要です。インターネットに接続出来ることを確認してください。

① 地図ウィンドウに表示されている文面の下に「OK」ボタンをクリックします。

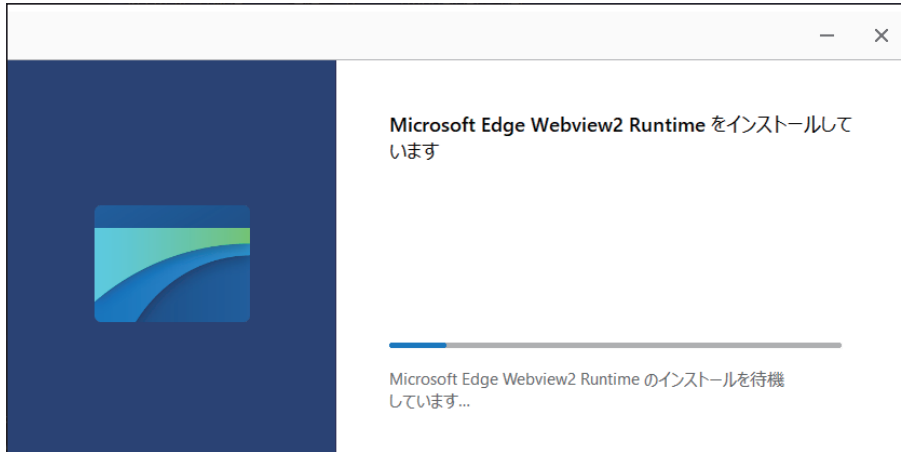


② Microsoft Edge WebView2 Runtime のダウンロードが開始されます。



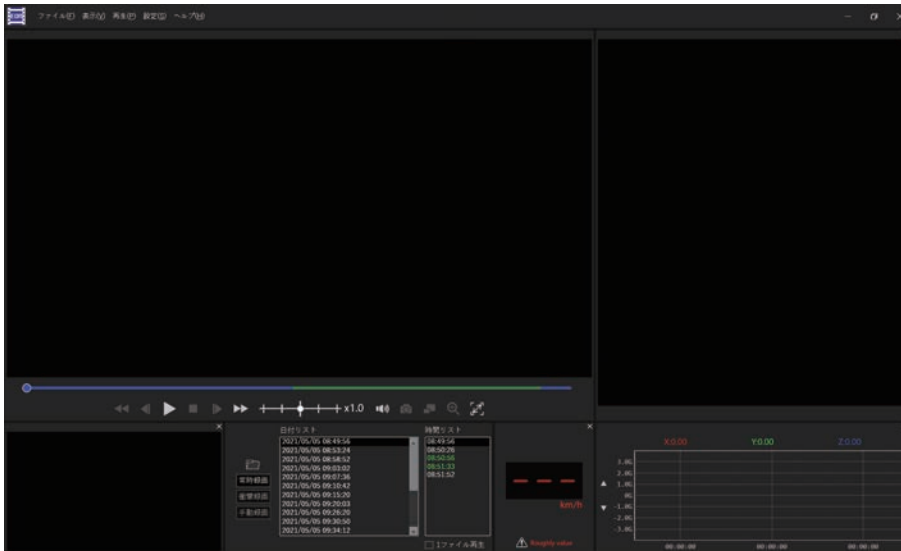
※ Microsoft Edge WebView2 Runtime のダウンロード中も本ソフトウェアをご使用頂けます。上記画面およびダウンロードは、バックグラウンドで表示、実行されます。

- ③ Microsoft Edge WebView2 Runtime のダウンロードが完了すると自動でインストールが開始されます。



※ Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストール中も本ソフトウェアをご使用頂けます。
上記画面およびインストールは、バックグラウンドで表示、実行されます。

- ④ Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールが完了するとインストール画面が自動で閉じ、終了します。



以上で「Microsoft Edge WebView2 Runtime インストール手順」の説明は終わりです。

- ・引き続き本ソフトウェアをご使用頂けます。
- ・録画ファイル再生中に地図ウィンドウに地図が表示されます。(GPS 搭載モデルを使用した場合のみ)

※Microsoft Edge WebView2 Runtime インストール後も引き続き本ソフトウェアをご使用頂けますが、PC の環境によっては、インストール後に本ソフトウェアの再生動作が不安定になることがあります。その際は、本ソフトウェアを一旦終了して、再度起動してください。

■ 表示ウィンドウについて

●ウィンドウの構成と名称

初期時のメインウィンドウ内の各ウィンドウ構成と、各部の名称について、説明します。

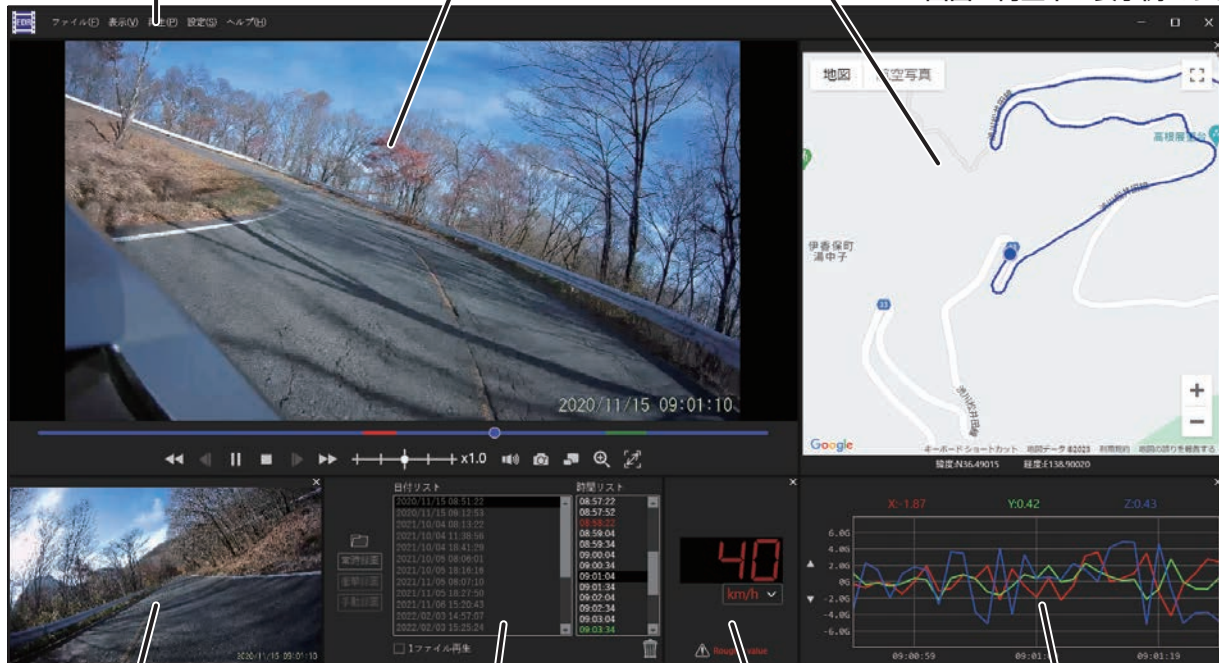
■ ウィンドウ構成と名称

① メニューバー

② メインビュー

③ 地図ウィンドウ

※画面は再生中の表示例です。



④ サブビューウィンドウ

⑤ ファイルリスト

⑥ 速度ウィンドウ

⑦ G グラフウィンドウ

No.	名 称	主 な 機 能	詳細説明 ページ
①	メニューバー	<ul style="list-style-type: none"> データフォルダ読み込み、各種保存操作のメニュー 各種表示の操作、設定のメニュー 再生の操作のメニュー 設定メニュー オンラインサポートページ、バージョン情報の表示メニュー ウィンドウの最小化、最大化、終了などの操作 	17 ページ
②	メインビュー	<ul style="list-style-type: none"> メイン (主) の再生画面 再生関連操作、再生画面のキャプチャ操作、再生画面操作 	22 ページ
③	地図ウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> 地図表示と自車位置の走行軌跡表示 自車位置の緯度経度の表示 	23 ページ
④	サブビューウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> サブ (副) の再生画面 	24 ページ
⑤	ファイルリスト	<ul style="list-style-type: none"> 読み込んだ録画ファイルのリスト表示、選択 常時録画、衝撃録画、手動録画のリスト切り替え 録画ファイルの削除 	24 ページ 70 ページ
⑥	速度ウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> 走行速度の表示 	25 ページ
⑦	Gグラフウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> X, Y, ZのGグラフ表示と表示範囲切り替え X, Y, Zの数値表示 	25 ページ

メニューバー

●メニューの選択

- ・メニューバーのメニューにカーソルを合わせクリックすると、その項目がプルダウン表示されます。目的の項目にカーソルを合わせクリックすると、その項目を選択または実行します。
- ・キーボードで操作する場合は、[Alt] キーを押し、メニューバーが選択された状態でメニュー末尾に記載されているアルファベット(例:「ファイル(F)」の場合は [F] キー)を押すと、その項目がプルダウン表示されます。カーソルキーで [↑/↓] 操作で移動し、目的の項目を選択して [Enter] キーで実行することが出来ます。

メニューバーが選択された状態



- ・メニューの項目にショートカットが設定されている場合は、ショートカットキーによる操作も出来ます。

ショートカットの例

データフォルダ読み込み(O)	Ctrl + O	[Ctrl] キー + [O] キー
録画ファイル連結保存(S)	Ctrl + Shift + S	[Ctrl] キー + [Shift] キー + [S] キー
再生/一時停止(P)	Space	[Space] キー

●メニューの構成と機能

メニューバーのメニュー構成と各機能について、説明します。

■メニューバーの構成と機能



①「ファイル」内のメニュー構成と機能説明

ファイルの読み込み、各種ファイルの保存、本ソフトウェアの終了操などの操作が出来ます。

	ファイル(F)	
(1)	データフォルダ読み込み(O)	Ctrl + O
(2)	録画ファイル連結保存(S)	Ctrl + Shift + S
(3)	GPSログファイル保存(L)	
(4)	録画ファイルバックアップ(B)	Ctrl + Shift + B
(5)	SDカードフォーマット	
(6)	終了(X)	Ctrl + Q

※操作出来ない項目は、文字がグレイアウトで表示されます。

左記メニューの状態別、操作可否条件

ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
○	○	○	○
×	○	○	○
×	○	○	○
×	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

○：操作可能 / ×：操作不可

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	データフォルダ読み込み	・ EDR で録画保存したフォルダを指定して、録画ファイルを読み込みます。	28 ページ
(2)	録画ファイル連結保存	・ 読み込んだ録画ファイルを連結して、つなぎ目のない動画ファイルを作成し保存します。	54 ページ
(3)	GPS ログファイル保存	・ 読み込んだ録画ファイルに含まれる GPS データを抽出して、GPS ログファイルを作成し保存します。	60 ページ
(4)	録画ファイルバックアップ	・ 読み込んだ録画ファイルを指定のフォルダに保存します。	64 ページ
(5)	SD カードフォーマット	・ PC に接続された SD カードを EDR で使用可能な形式でフォーマットします。	66 ページ
(6)	終了	・ Moto DR Player を終了します。	11 ページ

②「表示」内のメニュー構成と機能説明

再生画面の表示方法、各種ウィンドウの表示 / 非表示、機能画面の表示 / 非表示などの設定が出来ます。

表示(V)			左記メニューの状態別、操作可否条件			
			ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	メイン/サブ入れ替え	X	×	×	2cam : ○ 1cam : ×	2cam : ○ 1cam : ×
(2)	メインビューズーム	Z	×	×	○	○
(3)	メインビュー全画面表示	Ctrl + T	×	○	○	○
(4)	サブビューウィンドウ(V)	Ctrl + Y	×	○	○	○
(5)	地図ウィンドウ(M)	Ctrl + M	○	○	○	○
(6)	速度ウィンドウ(S)	Ctrl + H	○	○	○	○
(7)	Gグラフウィンドウ(U)	Ctrl + G	○	○	○	○
(8)	Gグラフオーバーレイ表示(R)	Ctrl + R	○	○	○	○
(9)	Gセンサー方向図(D)	Ctrl + D	○	○	○	○
(10)	✓ Standard Layout		○	○	○	○
(11)	Horizontal Layout		○	○	○	○
(12)	Vertical Layout		○	○	○	○
(13)	ウィンドウ構成初期化(I)		○	○	○	○

※操作出来ない項目は、文字がグレーアウトして表示されます。

○：操作可能 / ×：操作不可

No.	メニュー名	機能説明	関連ページ
(1)	メイン / サブ入れ替え	・メインビューとサブビューで表示している再生中の画面を入れ替えます。 ※サブビューウィンドウが非表示状態でも入れ替え出来ます。	41 ページ
(2)	メインビューズーム	・メインビューで表示している再生中の画面をズーム、ズーム解除します。拡大倍率は約 1.5 倍です。	40 ページ
(3)	メインビュー全画面表示	・メインビューで再生中の画面を画面全体に拡大します。	42 ページ
(4)	サブビューウィンドウ	・サブビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	24 ページ
(5)	地図ウィンドウ	・地図ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	23 ページ
(6)	速度ウィンドウ	・速度ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	25 ページ
(7)	G グラフウィンドウ	・Gグラフウィンドウの表示/非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	25 ページ
(8)	G グラフオーバーレイ表示	・メインビュー全画面表示中のGグラフ表示/非表示を切り替えます。 ※Gグラフは、再生画面に重ねて表示します。	44 ページ
(9)	G センサー方向図	・EDR 本体の G 検知方向を表した図のウィンドウ表示 / 非表示を切り替えます。 ※Gセンサー方向図は、独立したウィンドウで表示します。	26 ページ

No.	メニュー名	機能説明	関連ページ
(10)	Standard Layout (スタンダードレイアウト)	・メインビューの表示を主とし、それぞれのウィンドウをバランス良く配置しています。	48 ページ
(11)	Horizontal Layout (水平レイアウト)	・メインビューとサブビューを水平に配置しています。フロントカメラ、リアカメラの録画映像が見やすくなります。	48 ページ
(12)	Vertical Layout (バーチカルレイアウト)	・メインビューとサブビューを垂直に配置しています。フロントカメラ、リアカメラの録画映像および地図ウィンドウが同程度のサイズで表示しますので、映像と地図を確認しやすくなります。	48 ページ
(13)	ウィンドウ構成初期化	・任意に設定した非表示ウィンドウや幅、高さを調整したウィンドウ構成を初期の状態に戻します。	51 ページ

③「再生」内のメニュー構成と機能説明

録画ファイル再生に関する操作、再生する「時間リスト」や「日付リスト」の選択操作、「画面キャプチャ」操作などが出来ます。

再生(P)			左記メニューの状態別、操作可否条件			
			ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	再生/一時停止(P)	Space	×	○	○	○
(2)	停止(S)	Enter	×	×	○	○
(3)	再生速度(Y)	▶	×	○	○	○
(4)	コマ戻し	←	×	×	×	○
(5)	コマ送り	→	×	×	×	○
(6)	前のファイル	B	×	○ ※前のファイルがある場合	○	○
(7)	次のファイル	N	×	○ ※次のファイルがある場合	○	○
(8)	前の日付リスト	Ctrl + B	×	○ ※前の日付リストがある場合	×	×
(9)	次の日付リスト	Ctrl + N	×	○ ※前の日付リストがある場合	×	×
(10)	ミュート	M	×	○	○	○
(11)	画面キャプチャ	C	×	×	○	○

※操作出来ない項目は、文字がグレーアウトして表示されます。

○：操作可能 / ×：操作不可

再生速度は、サブメニューで選択します。

再生速度(Y)	▶	速く(F) Ctrl + →
		標準(N) Ctrl + ↑
		遅く(S) Ctrl + ←

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	再生 / 一時停止	・ ファイルの再生、一時停止をします。	32 ページ
(2)	停止	・ ファイルの再生を停止します。	32 ページ
(3)	再生速度	・ ファイルの再生速度を変更します。 ・ x0.25 / x0.5 / x1.0 (標準) / x1.5 / x2.0 の5段階で再生速度を変更出来ます。「速く」で1段階速く、「遅く」で1段階遅くなります。標準の速度に戻す際は「標準」を選択します。	37 ページ
(4)	コマ戻し	・ 表示している再生位置から1コマ (1 フレーム) 前の画像を表示します。	36 ページ
(5)	コマ送り	・ 表示している再生位置から1コマ (1 フレーム) 後の画像を表示します。	36 ページ
(6)	前のファイル	・ 再生しているファイルの1つ前のファイルを再生します。	34 ページ
(7)	次のファイル	・ 再生しているファイルの1つ後のファイルを再生します。	34 ページ
(8)	前の日付リスト	・ 選択している1つ前の日付リストを選択します。	30 ページ
(9)	次の日付リスト	・ 選択している1つ後の日付リストを選択します。	30 ページ
(10)	ミュート	・ ファイル再生時の音声をミュート(消音)します。 ・ ミュート中は「✓」が項目の先頭に表示されます。 ・ ミュート中に再度選択すると、ミュートが解除されます。	38 ページ
(11)	画面キャプチャ	・ メインビューに表示中の画像(静止画)を保存します。	39 ページ

④「設定」内のメニュー構成と機能説明

EDR 本体の録音、録画設定や本ソフトウェアの表示言語を変更出来ます。

		左記メニューの状態別、操作可否条件			
		ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	設定(S)	○	○	○	○
(2)	本体録音/録画設定(S)	○	○	○	○
(3)	日本語	○	○	○	○
(3)	English	○	○	○	○

○：操作可能 / ×：操作不可

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	本体録音 / 録画設定	・ EDR 本体の録音 / 録画設定を変更する画面を表示します。	74 ページ
(2)	日本語	・ 表示する言語を日本語に設定します。	75 ページ
(3)	English	・ 表示する言語を英語に設定します。	75 ページ

⑤「ヘルプ」内のメニュー構成と機能説明

オンラインのサポートページや本ソフトウェアのバージョンを表示させることが出来ます。

		左記メニューの状態別、操作可否条件			
		ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	ヘルプ(H)	○	○	○	○
(2)	オンラインサポートページ(H) F1	○	○	○	○
(2)	バージョン情報(V)	○	○	○	○

○：操作可能 / ×：操作不可

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	オンラインサポートページ	・ EDR シリーズや本ソフトウェア、スマホアプリに関するサポートページ(WEB サイト)を表示します。	85 ページ
(2)	バージョン情報	・ 本ソフトウェアのバージョンを表示します。	86 ページ

●ウィンドウ操作ボタン

メニューバーのウィンドウ操作ボタンの名称と機能について、説明します。

■ウィンドウ操作ボタンの構成と機能

通常画面表示時のアイコン表示



最大化表示時のアイコン表示



①「最小化」ボタン

本ソフトウェアをタスクバーへ格納します。本ソフトウェアは、バックグラウンドで動作を継続します。

②「最大化」ボタン

本ソフトウェアのウィンドウを表示されている画面全体に広げて表示します。

③「終了」ボタン

本ソフトウェアを終了します。ソフトウェアの終了手順は、「Moto DR Player を終了する」(11 ページ)を参照してください。

④「元に戻す」ボタン

「最大化」状態にする前のウィンドウサイズに戻します。

■ メインビューと再生ツール

●メインビューの機能と構成

メインビューは、メインの再生画面、再生ツール、シークバーで構成され、再生関連の操作は、このメインビューからおこなうことができます。

■メインビューの構成



●再生ツールと機能

メインビューに配置されている「再生ツール」を操作することで、録画ファイルの再生や目的のシーンを探したり、録画時の状況確認が簡単に出来ます。

ツールアイコン	名 称	機 能 説 明	詳細説明 ページ
	再生 / 一時停止	・ 録画ファイルを再生、一時停止します。	32 ページ
	停止	・ 録画ファイルの再生を停止します	33 ページ
	前のファイル	・ 再生しているファイルの1つ前のファイルを再生します。 ※ 前のファイルが無い場合は、選択出来ません。	34 ページ
	次のファイル	・ 再生しているファイルの次の(後の)ファイルを再生します。 ※ 次のファイルが無い場合は、選択出来ません。	34 ページ
	コマ戻し	・ 表示している再生位置から1コマ(1フレーム)前の画像を表示します。 ※ 一時停止中のみ操作出来ます。	36 ページ
	コマ送り	・ 表示している再生位置から1コマ(1フレーム)後の画像を表示します。 ※ 一時停止中のみ操作出来ます。	36 ページ
	再生速度	・ ファイルの再生速度を変更します。 ・ x0.25 / x0.5 / x1.0(標準) / x1.5 / x2.0 の5段階で再生速度を変更出来ます。	37 ページ
	ミュート/ミュート解除	・ ファイル再生時の音声をミュート(消音)、ミュートを解除します。	38 ページ
	画面キャプチャ	・ メインビューに表示中の画像(静止画)を保存します。	39 ページ
	メイン/サブ入れ替え	・ メインビューとサブビューで表示している再生中の画面を入れ替えます。(2 カメラモデルのみ) ※ サブビューウィンドウが非表示状態でも入れ替えが出来ます。	41 ページ
	メインビューズーム / ズームの解除	・ メインビューで表示している再生中の画面をズーム、ズーム解除します。拡大倍率は約 1.5 倍です。	40 ページ
	全画面表示 / 全画面表示の解除	・ メインビューで再生中の画面を全画面表示、全画面表示解除します。	42 ページ

操作出来ないツールアイコンは、グレイアウトで表示されます。

■ 地図ウィンドウ ※GPS 搭載モデルのみ

● 地図ウィンドウの機能と構成

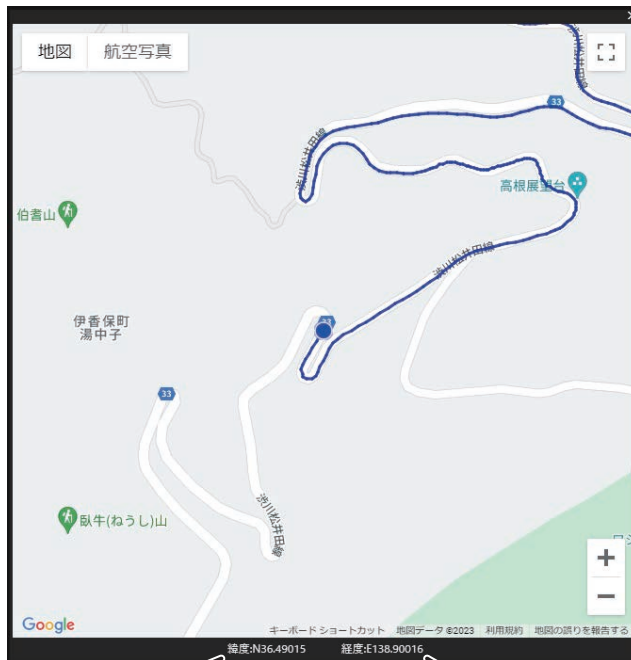
地図ウィンドウは、録画ファイルの再生に合わせ、記録された GPS 位置情報をもとに自車位置と走行軌跡を表示します。

また、地図に表示されているツールを使用して、地図の表示を変更することができます。

注 意

- ・ 地図の情報および地図の機能は、Google マップのサービスを使用しています。そのため、地図の内容やツールなどが変更されることがあります。
- ・ 録画および再生する時期により、道路整備など地図情報が更新されることで、車両の位置や走行軌跡、地図の道路表示が走行録画時と異なることがあります。

■ 地図ウィンドウの構成



「緯度」を表示します

「経度」を表示します

■ 地図ウィンドウのツール(Google マップの機能)

地図

- ・ 標準の地図を表示します。

□地形

- ・ 地形を表した地図を表示します。
- ・ 「地図」の上にカーソルを合わせるか、「地図」をクリックすると表示されます。

航空写真

- ・ 航空写真を表示します。

□ラベル

- ・ 航空写真表示に地名や施設名などのラベルを表示します。
- ・ 「航空写真」の上にカーソルを合わせるか、「航空写真」をクリックすると表示されます。

+
-

- ・ 地図の縮尺を変更します。
- ・ 「+」で拡大し、「-」で縮小します。

サブビューウィンドウ ※2カメラモデルのみ

●サブビューウィンドウの機能

サブビューウィンドウは、サブの再生画面です。2 カメラモデルの録画ファイルを再生するときにメインビューとリンクする録画ファイルを再生します。

■ サブビューウィンドウの構成



再生画面

- ・サブビューの再生画面は、メインビューの再生操作に連動します。単独での再生操作は出来ません。
- ・メインビューでフロントカメラの録画ファイルを再生しているときは、サブビューウィンドウでリアカメラの録画ファイルを再生し、メインビューでリアカメラの録画ファイルを再生しているときは、サブビューウィンドウでフロントカメラの録画ファイルを再生します。

■ ファイルリスト

●ファイルリストの機能と構成

ファイルリストは、録画ファイルの読み込みや再生、削除するファイルを選択する画面です。ファイルを選択して再生すると、時間リストに再生中の録画ファイルを黒背景で表示します。再生の進行状況に合わせ黒背景も移動し、どの録画ファイルが再生されているか確認出来ます。また、日付リストから任意の録画ファイルを一括削除したり、時間リストから任意の録画ファイルを選択して削除することが出来ます。

■ ファイルリストの構成



- ① フォルダアイコン：ファイルの読み込み画面を開きます。
- ② 常時録画：常時録画ファイル、衝撃録画ファイル、手動録画ファイルを含むリストを表示します。一連の録画ファイルを確認するときに選択します。
- ③ 衝撃録画：衝撃録画ファイルのリストのみを表示します。衝撃を感知してイベント録画した衝撃録画ファイルのみを確認するときに選択します。
- ④ 手動録画：手動録画ファイルのリストのみを表示します。手動でイベント録画した手動録画ファイルのみを確認するときに選択します。
- ⑤ 日付リスト：録画開始日時をリストで表示します。選択すると、選択した日時の時間リストが表示されます。
- ⑥ 時間リスト：録画ファイルの時刻をリストで表示します。選択して再生することが出来、再生中の録画ファイルを黒背景で表示します。再生に合わせ黒背景が移動し、再生されている録画ファイルを確認出来ます。
- ⑦ 1 ファイル再生：チェックボックスにチェックを入れ、時間リストの録画ファイルを選択すると、選択した1ファイルのみを再生します。
- ⑧ ファイル削除：アイコンをクリックすると、日付リスト、時間リストにチェックボックスが表示され、任意の録画ファイルを削除することが出来ます。録画ファイルの削除手順は、「録画ファイルを選択して削除する」(70 ページ)を参照してください。

■ 速度ウィンドウ ※GPS 搭載モデルのみ

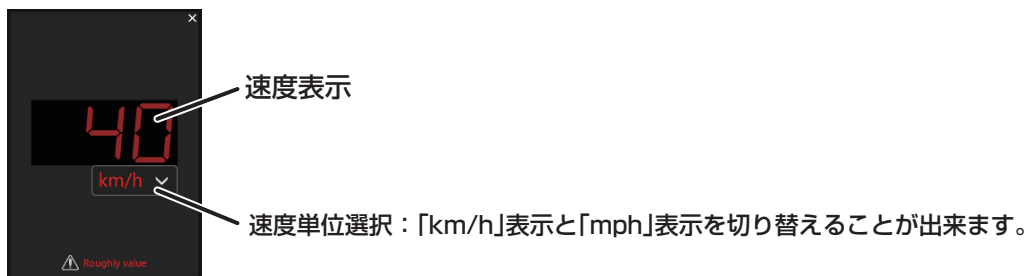
● 速度ウィンドウの機能と構成

速度ウィンドウは、録画ファイルに記録された GPS 位置情報から演算し、自車のおおまかな走行速度を表示します。

注 意

- 記録された GPS 情報の誤差や GPS 信号を受信出来ない状況が発生した場合、速度表示出来なかったり、実際の走行速度と大きく異なる速度を表示することがあります。

■ 速度ウィンドウ



■ G グラフウィンドウ

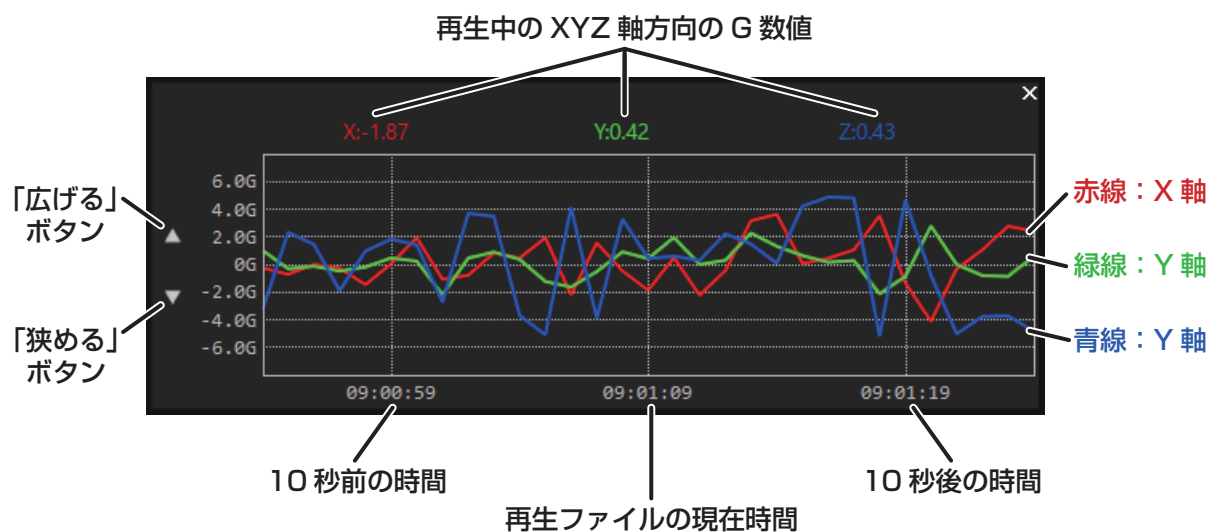
● G グラフウィンドウの機能と構成

G グラフウィンドウは、録画ファイルの再生に合わせ、記録された G センサーの情報をもとに再生中の G 数値と再生前後の G 数値変化をグラフで表示します。

注 意

- EDR 本体の衝撃検知感度の設定が「OFF」で録画されたファイルの場合、G センサーの情報が記録されていないため、グラフおよび数値による表示が出来ません。

■ G グラフウィンドウの構成



- 数値およびグラフは、1 秒毎に更新されます。
- グラフの G (縦軸) の範囲は、「広げる」ボタン (▲)、「狭める」ボタン (▼) により 4 段階で調整出来ます。

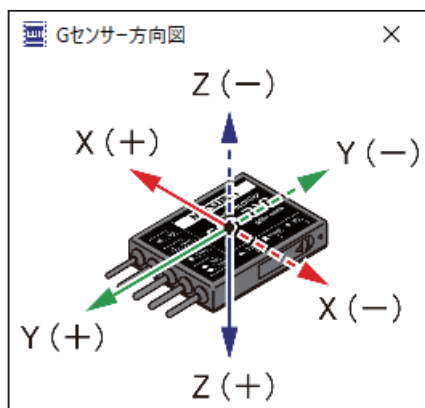
● G センサー方向図

G グラフウィンドウに表示される G の向きと、正負の方向を EDR 本体で表示します。

- ・「G センサー方向図」は、メニューの「表示」から「G センサー方向図」(18 ページ)を選択するか、[Ctrl] + [D] のショートカットキー操作で、表示することが出来ます。



■ G センサー方向図



- ・「G センサー方向図」を閉じるときは、「G センサー方向図」右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックするか、[Ctrl] + [D] のショートカットキー操作で閉じることが出来ます。



録画ファイルを読み込む

●EDR の録画ファイルを読み込む

EDR から取り外した microSD カードや PC 内のバックアップファイルから録画ファイルを読み込む手順です。

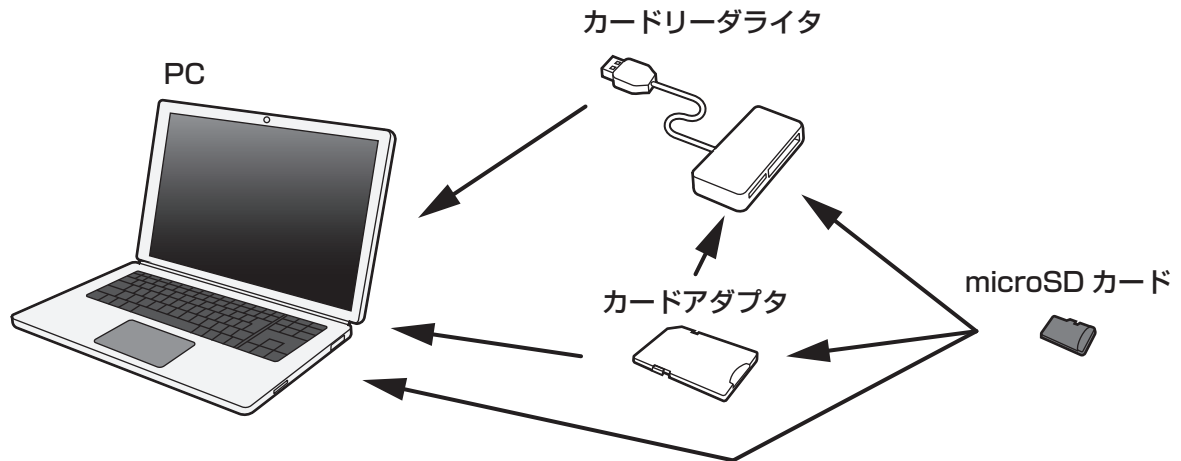
1. 「Moto DR Player」を起動後、microSD カードを PC に接続します。

※microSD カードから録画ファイルを読み込む場合

注 意

- ・必ず、接続する microSD カードの規格に適合した機器を使用してください。microSD カードを正しく認識出来なかったり、ファイルを正しく認識出来ません。
- ・使用する PC やカードリーダーの取扱説明書に従って接続してください。microSD カードの破損、ファイルの消失や破損、機器の故障の原因となります。

■接続方法の例



2. データフォルダ読み込み画面を表示します。

- ・読み込み画面の表示方法は、下記の3通りがあります。

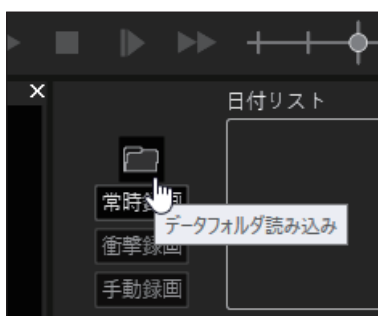
I. メニューバーの「ファイル」から、「データフォルダ読み込み」を選択します。



II. ショートカットキー [Ctrl] + [O] で表示する。



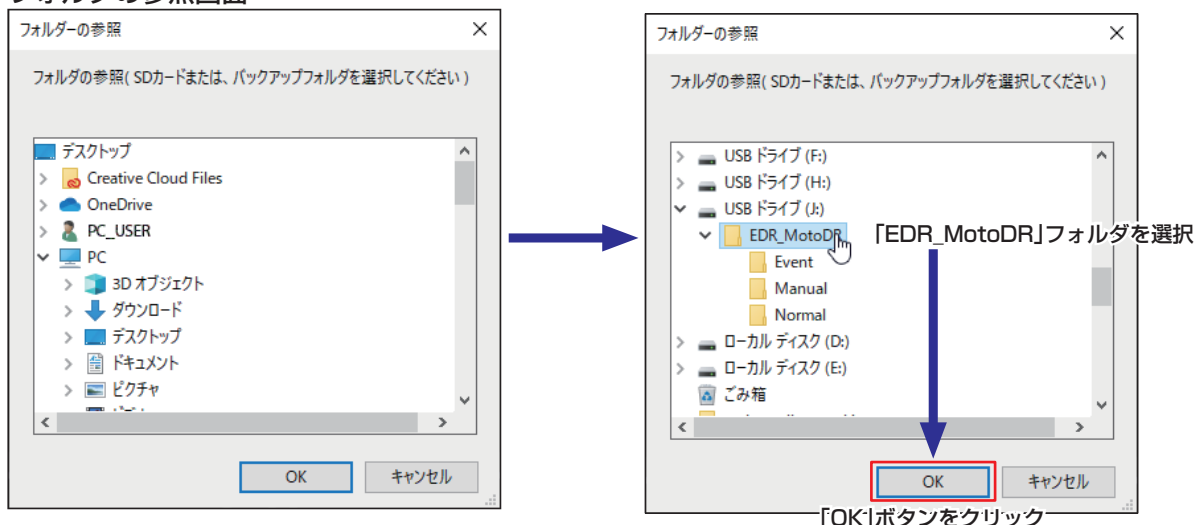
III. ファイルリストのフォルダアイコンをクリックする。



3.「フォルダの参照」画面が表示されたら、「EDR_MotoDR」フォルダ※または PC などへバックアップしたフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

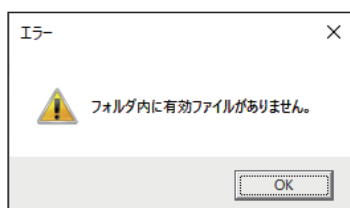
※EDR 本体が、microSD カード内に作成するフォルダ名です。

フォルダの参照画面

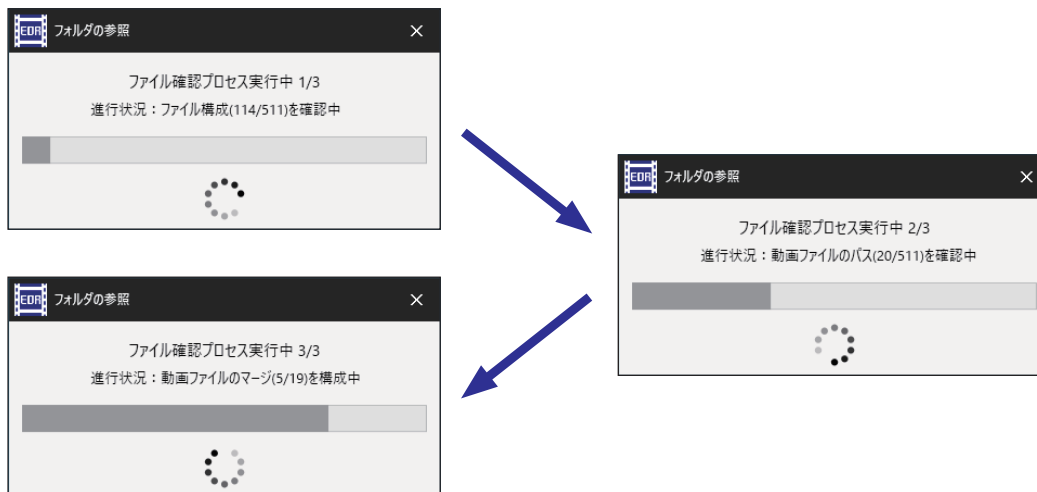


●適切なフォルダを選択していない場合は、エラーが表示されます。

エラー表示した場合は、「OK」ボタンをクリックしてエラー画面を閉じ、手順2からやり直してください。

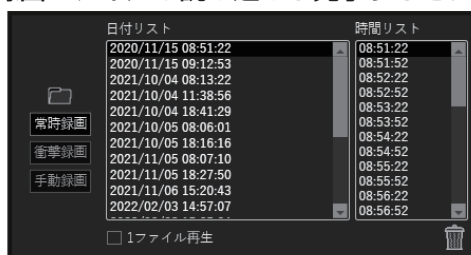


4. 録画ファイルを読み込みます。読み込み中は、下記画面を表示します。



※読み込むファイル数が多い場合や PC の環境(性能)によって、録画ファイルの読み込みが完了するまでに時間がかかることがあります。

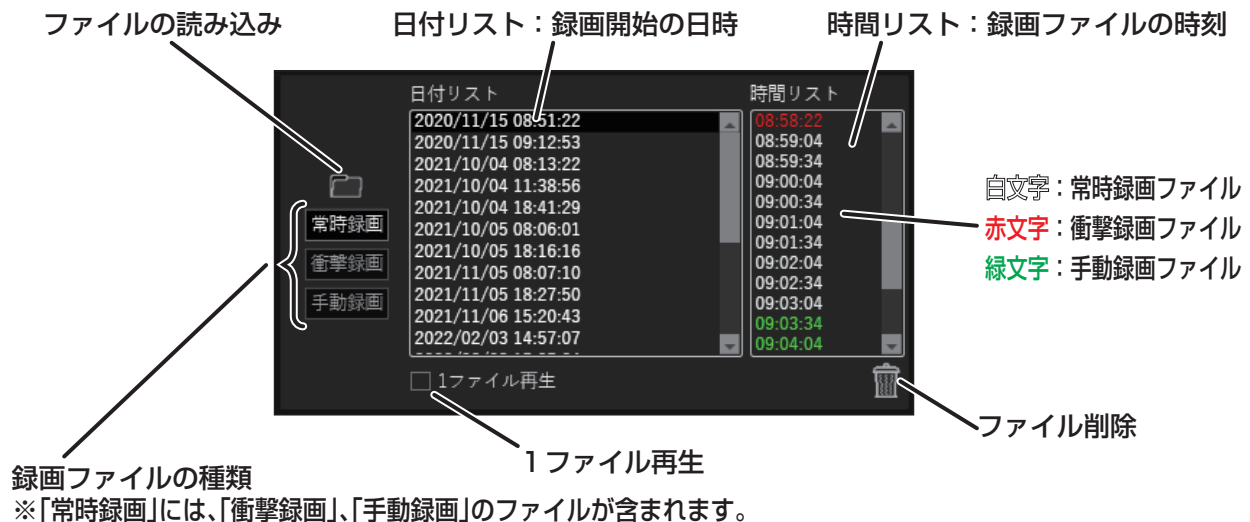
5. 録画ファイルの読み込みが完了すると、ファイルリスト内にリストが表示されます。



録画ファイルリストの操作

●録画ファイルリストの構成

録画ファイルリストは、録画ファイルの読み込みや再生、削除する録画ファイルを選択する画面です。



●録画ファイルリストの操作

1. 再生する録画ファイルの種類を選択します。

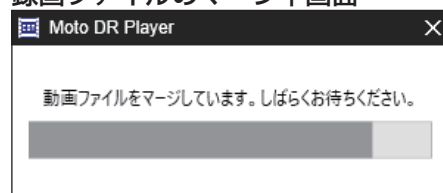
- ※「常時録画」には、常時録画ファイルの他に、「衝撃録画」、「手動録画」イベント録画ファイルが含まれます。
- ※常時録画ファイルを含まない「衝撃録画」、「手動録画」のイベント録画ファイルは、「常時録画」を選択しても常時録画ファイルが存在しないので「日付リスト」には表示されません。

2. 「日付リスト」から再生する録画開始の日時をクリックして選択します。

- ※リストは昇順(古い日時から新しい日時の順)で表示されます。
- ※再生中は、「日付リスト」を選択出来ません。

3. 再生する録画開始の日時を選択すると、下記の画面が表示され、動画ファイルのマージ(結合)処理、選択した日時の時間リストと再生の準備をおこないます。

録画ファイルのマージ中画面



4. 「時間リスト」の先頭から再生する場合は、下記2つの方法があります。

- ・「メインビュー」の再生ボタンをクリックする。
- ・「時間リスト」先頭の録画ファイル(時刻)をダブルクリックする。

5. 「時間リスト」から録画ファイル(時間)を選択して再生する場合は、下記2つの方法があります。

- ・目的の録画ファイルを選択して「メインビュー」の再生ボタンをクリックする。
- ・目的の録画ファイル(時刻)をダブルクリックする。

6. 「時間リスト」の1録画ファイル(時刻)だけ再生したい場合は、「1ファイル再生」のチェックボックスをクリックしチェックを入れることで、選択した録画ファイルのみを再生することが出来ます。

※「1ファイル再生」にチェックを入れている場合、「メインビュー」のシークバーは、選択したファイルの再生範囲のみポインタが移動します。

※「1ファイル再生」中でも、「時間リスト」の録画ファイル(時刻)選択や「メインビュー」再生ツール操作で、再生する録画ファイルを変更できます。選択した録画ファイルの再生が終了すると、再生は停止します。

●再生する「日付リスト」を切り替える

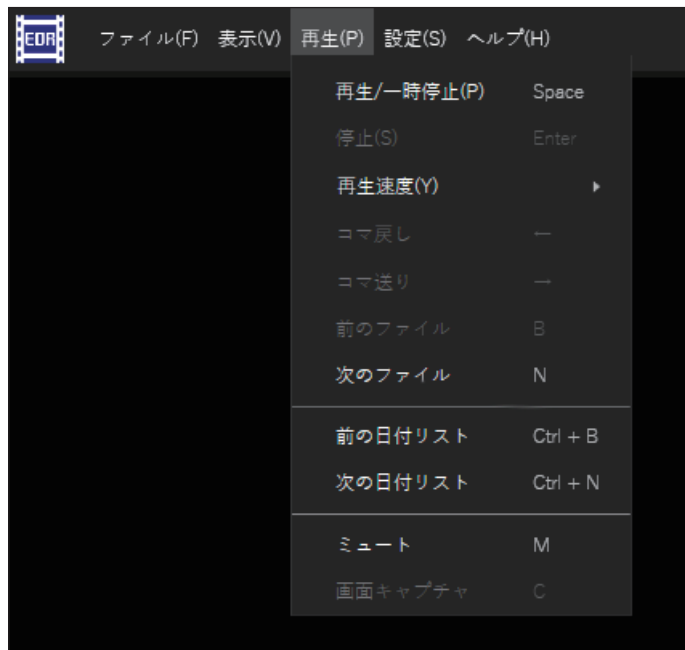
選択中の「日付リスト」の1つ前、1つ後の「日付リスト」へ切り替える方法です。再生停止中のみ操作をおこなうことが出来ます。

※録画ファイル再生中は、「日付リスト」の選択切り替えは出来ません。

■前の日付リスト / 次の日付リスト

「日付リスト」の切り替え方法は、下記の2通りあります。

I. メニューバーの「再生」から、「前の日付リスト」または「次の日付リスト」を選択します。



II. キーボード操作で「日付リスト」を切り替える。

- ・ キーボードの[Ctrl] + [B]キー操作で、1つ前の日付リストを選択出来ます。



- ・ キーボードの[Ctrl] + [N]キー操作で、1つ後の日付リストを選択出来ます。



●再生する録画ファイルを切り替える

再生する録画ファイルを切り替える操作については、「再生する録画ファイルを切り替える」(34 ページ)を参照してください。

●録画ファイルを選択して削除する

録画ファイルを選択して削除する操作については、「録画ファイルと選択して削除する」(70 ページ)を参照してください。

■ 基本的な再生操作

●メインビューの構成

メインビューは、録画ファイルの再生画面、再生ツール、シークバーで構成されています。再生の操作は、このメインビュー画面でおこなうことができます。


メインビュー の録画ファイル再生画面(一時停止中)



●録画ファイルの再生 / 一時停止 / 停止

■再生操作

選択した録画ファイルの映像を再生します。


- ・ 再生ツールの再生  をクリックすると、録画ファイルを再生します。
キーボードの[Space]キー操作でも、再生することができます。

Space



※ 再生中は、再生ツールの再生  が一時停止  の表示に変わります。

■一時停止操作

再生を一時的に停止したり、確認したい場面の静止画を見るときに使用します。


- ・ 再生ツールの一時停止  をクリックすると、再生を一時停止します。
キーボードの[Space]キー操作でも、一時停止することができます。

Space

※ 一時停止中は、再生ツールの一時停止  が再生  の表示に変わります。

■停止操作

再生を中断したり、別の「日付リスト」を選択するときに使用します。

- ・再生ツールの停止  をクリックすると、再生や一時停止状態を停止状態にします。
キーボードの[Enter]キー操作でも、停止することが出来ます。



※ 停止操作すると、各ウィンドウ(メインビュー、サブビュー、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウ)の設定がリセットされます。

●再生する録画ファイルを切り替える

再生中の録画ファイルの1つ前、1つ後の録画ファイルへ切り替える方法です。確認したい場面の録画ファイルを探すときに使用します。

■前の録画ファイルへ切り替える

- ・再生ツールの前のファイル  を1回クリックすると、1つ前の録画ファイルへ切り替わります。

キーボードの[B]キー操作でも、1つ前の録画ファイルへ切り替えることができます。



※ 連続して操作することで、操作した回数分、前の録画ファイルへ移ることができます。

■次のファイルへ切り替える

- ・再生ツールの次のファイル  を1回クリックすると、1つ後の録画ファイルへ切り替わります。

キーボードの[N]キー操作でも、1つ次の録画ファイルへ切り替えることができます。



※ 連続して操作することで、操作した回数分、後の録画ファイルへ移ることができます。

●確認したい映像を探す

確認したい映像をいち早く探すのに便利な機能です。

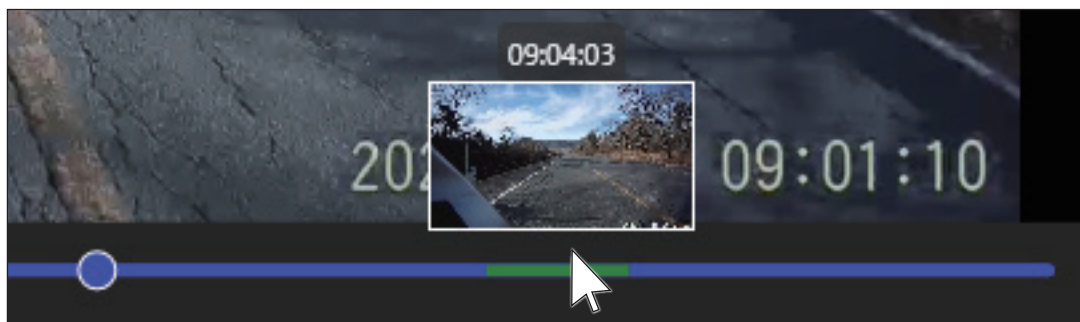
■シークバーのプレビューで確認したい映像を探す

シークバーにカーソルを重ね、表示されるプレビューから確認したい映像を探すことができます。

- ・シークバー上にカーソルを重ねると、その位置のメインビュー映像がプレビュー表示されます。カーソルを移動し、確認したい映像のところでマウスをクリックすると、その場面へシークバーのポインタが移動し、移動前の状態(停止 / 再生 / 一時停止)を維持します。

※ プレビューの確認やシークバーのポインタ移動は、停止中、再生中、一時停止中のどの状態でも出来ませんが、停止中はメイン / サブビューウィンドウに映像が表示されません。

プレビュー表示



■シークバーのポイントを動かして確認したい映像を探す

シークバーのポインターを動かし、表示されるプレビューで確認したい映像を探すことができます。

- ・シークバーのポイントをドラッグし、シークバー上を移動させると、ポイントの位置のメインビュー映像がプレビュー表示されます。確認したい映像の位置でポイントを開放すると、ドラッグした位置にポイントが移動し、移動前の状態(停止 / 再生 / 一時停止)を維持します。

※ 再生中にシークバーのポイントをドラッグすると再生が一時停止状態となります。

※ 停止中の操作では、メイン / サブビューウィンドウに映像が表示されません。

※ プレビューの確認やシークバーのポイント移動は、停止中、再生中、一時停止中のどの状態でも出来ませんが、停止中はメイン / サブビューウィンドウに映像が表示されません。

- ・ポイントをドラッグして移動中に、その操作を止めたい場合は、ポイントをドラッグした状態でシークバー上からカーソルを範囲外へ移動すると、ポイントとプレビュー表示がドラッグする前の位置に戻りますので、その状態でドラッグを開放してください。

- ・再生する録画ファイルの種類によって、シークバーの色を変えています。「衝撃録画」や「手動録画」の映像を確認するときの目安としてください。

青：通常録画 / 赤：衝撃録画 / 緑：手動録画

ポイント操作中画面



青：通常録画

赤：衝撃録画

緑：手動録画

再生
操作


■ コマ送り / コマ戻し

●映像を 1コマ(1フレーム)毎に確認する

一時停止中の映像の 1コマ(1フレーム)前、1コマ(1フレーム)後の映像をメイン / サブビューウィンドウで確認することができます。

※ コマ送り / コマ戻し操作は、一時停止中のみおこなえます。


■コマ送り

- ・一時停止中に再生ツールのコマ送り  をクリックすると、1コマ(1フレーム)後ろの映像が表示され、更にコマ送り操作すると 1コマ(1フレーム)づつ後の映像が表示されます。

キーボードの[→](右カーソル)キー操作でも、1つ後のコマ(フレーム)を表示することができます。



■コマ戻し

- ・一時停止中に再生ツールのコマ戻し  をクリックすると、1コマ(1フレーム)前の映像が表示され、更にコマ送り操作すると 1コマ(1フレーム)づつ前の映像が表示されます。

キーボードの[←](左カーソル)キー操作でも、1つ前のコマ(フレーム)を表示することができます。



再生速度を変更する

●再生速度を遅くする、速くする、標準に戻す

再生速度を 5 段階で変更して、映像を確認することが出来ます。(標準は X1.0 です)確認したい映像まで早く再生したり、確認したい映像をじっくり確認するのに便利な機能です。

※ 再生を停止すると、再生速度は標準に戻ります。

■再生速度変更操作

- 再生ツールの速度変更  の「●」をドラッグまたはメモリの位置を選択して変更します。

■再生速度を遅くする

- 再生速度を遅くする場合は、「●」をドラッグまたはメモリの左側位置を選択して変更します。

 で 0.5 倍速、 で 0.25 倍速で再生します。

キーボードの [Ctrl] + [←] キー操作でも、再生速度を遅くすることが出来ます。



■再生速度を速くする

- 再生速度を速くする場合は、「●」をドラッグまたはメモリの右側位置を選択して変更します。

 で 1.5 倍速、 で 2.0 倍速で再生します。

キーボードの [Ctrl] + [→] キー操作でも、再生速度を速くすることが出来ます。



■再生速度を標準にする

- 再生速度を標準に戻す場合は、「●」を中央  へドラッグまたはメモリの中央位置を選択して変更します。

キーボードの [Ctrl] + [↑] キー操作でも、再生速度を標準に戻すことが出来ます。



■ 再生時の音声をミュートする ※音声記録 ON のファイルのみ

●再生時の音声ミュート

再生中の録画ファイルの音声をミュート(消音)することが出来ます。

■音声をミュートする


- ・ 再生ツールのミュート  をクリックすると、再生時の音声がミュートになります。

キーボードの[M]キー操作でも、再生時の音声をミュートにすることが出来ます。





※ ミュート中は、ツールのミュート  がミュートの解除  に変わります。

■ミュートを解除する

- ・ 再生ツールのミュートの解除  をクリックすると、音声のミュートが解除されます。

キーボードの[M]キー操作でも、音声のミュートを解除することが出来ます。



※ ミュートの解除中は、ツールのミュートの解除  がミュート  に変わります。

■ 静止画を保存する

●メインビュー再生画面の静止画保存

メインビューに表示中の映像 1 コマ(1 フレーム)を静止画(JPEG 形式)として保存することが出来ます。保存される解像度は、録画時の解像度となります。

■再生画面の静止画を保存する

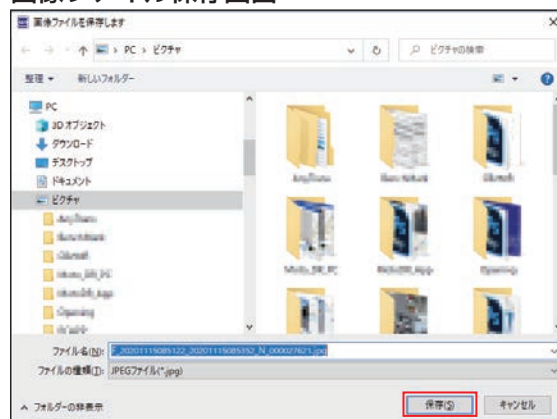
1. 再生中、一時停止中に再生ツールの画面キャプチャ  をクリックすると、画像ファイル保存画面が表示されます。

キーボードの[C]キー操作でも、再生画面の静止画を保存することが出来ます。



2. 画像ファイルの保存場所を指定し、ファイル名を入力後に「保存」ボタンをクリックします。

画像ファイル保存画面




- ※ 再生中に静止画保存操作した場合は、再生が一時停止状態になります。
- ※ 「保存」または「キャンセル」すると、もとの画面に戻ります。再生中の場合は、再生を再開します。

■ ズーム機能を使う



● 映像の詳細を確認する

ズーム機能を使うことで、メインビューに表示している映像を約 1.5 倍に拡大して確認することが出来ます。また映像をドラッグすることで撮影映像の範囲で映像の中心を調整することも出来ます。

■ メインビュー映像をズーム(拡大)する

- ・再生ツールのメインビューズーム  をクリックすると、メインビュー映像をズームします。
キーボードの[Z]キー操作でも、メインビュー画面映像をズームすることが出来ます。



- ※ メインビュー映像ズーム中は、再生ツールのメインビューズーム  がズームの解除  の表示に変わります。
- ※ 映像ズーム中に、メイン / サブビューを切り替えたり、再生を停止すると、映像ズームが解除されます。




メインビュー映像ズーム前



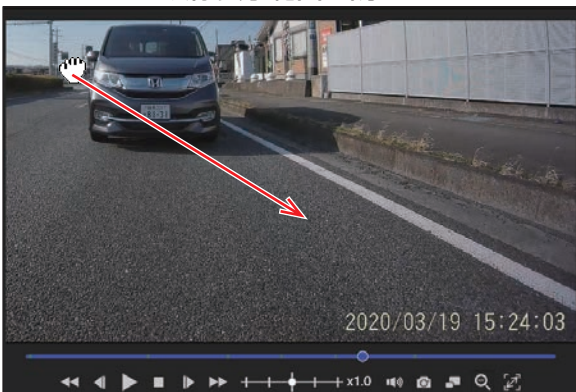
メインビュー映像ズーム中




■ ズームした映像の表示範囲を調整する

- ・映像をズームしたメインビュー上にカーソルを移動すると、カーソルが  の表示に変わります。カーソルが  の状態でドラッグすると、カーソルが  の表示に変わり、その状態でカーソルを動かすと、映像を表示範囲を調整することが出来ます。



ドラッグして映像表示範囲を調整



■ メインビュー画面映像をズーム(拡大)を解除する

- ・メインビュー画面映像ズームを解除するときは、ズームの解除  をクリックします。
キーボードの[Z]キー操作でも、メインビュー画面映像ズームを解除することが出来ます。



- ※ メインビュー映像ズームを解除すると、再生ツールのズームの解除  がメインビューズーム  の表示に変わります。

■ メインビューとサブビューの画面を入れ替える


●メインビューとサブビュー画面の入れ替え

メインビュー画面とサブビュー画面を入れ替えることができます。サブビュー画面映像をメインビュー画面に表示することで、再生画面の静止画保存や映像ズーム、全画面表示などの機能が使用出来るようになります。

※メインビュー映像をズームしている場合はズームが解除されます。

※再生を停止すると、メインビュー / サブビュー画面の入れ替えは解除されます。

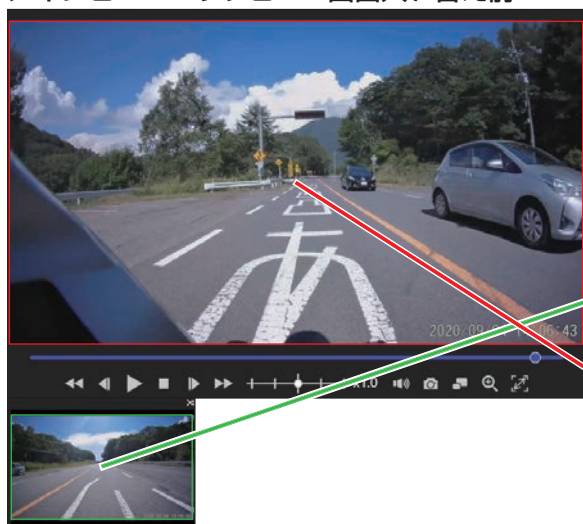
■メインビュー / サブビュー画面を入れ替える

- ・ファイル再生中または一時停止中に再生ツールのメイン / サブ入れ替え  をクリックして、メインビューとサブビューの画面を入れ替えます。

キーボードの[X]キー操作でも、メインビューとサブビュー画面を入れ替えることができます。



メインビュー / サブビュー画面入れ替え前




メインビュー / サブビュー画面入れ替え後



再生操作

■メインビュー / サブビュー画面をもとに戻す

- ・メイン / サブ入れ替え中に再生ツールのメイン / サブ入れ替え  をクリックすると、再びメインビューとサブビューの画面が入れ替わります。

キーボードの[X]キー操作でも、メインビューとサブビュー画面を入れ替えることができます。



■ 全画面表示で再生する

●メインビュー映像を全画面で表示する

メインビューで表示中の映像をモニタ全体に拡大して表示することができます。

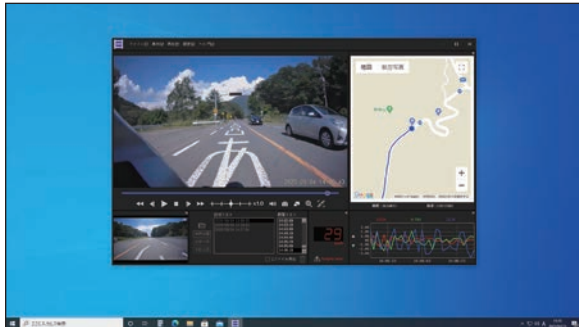
■メインビュー映像を全画面表示する

- ・再生ツールのメインビュー全画面表示  クリックすると、メインビュー映像を全画面で表示します。

キーボードの[Ctrl] + [T]キー操作でも、メインビュー映像を全画面で表示することができます。



通常画面表示



メインビュー全画面表示



再生
操作

■シークバーと再生ツール

全画面表示中のシークバーと再生ツールは、通常表示のときと同じように操作することができます。



■シークバー、再生ツール、カーソルの自動非表示と再表示

全画面表示中は、シークバー、再生ツール、カーソルの表示が下記条件で非表示 / 再表示されるようになります。

- ・シークバーと再生ツールの非表示条件
カーソルがシークバーと再生ツールの範囲から約 5 秒以上外れると、シークバーと再生ツールが非表示になります。
- ・シークバーと再生ツールの再表示条件
カーソルをシークバーと再生ツールの範囲内に動かすと、シークバーと再生ツールが再表示されます。
- ・カーソルの非表示条件
カーソルがシークバーと再生ツールの範囲外にあるときに、カーソルを約 5 秒以上操作しなかった場合、カーソルが非表示になります。
- ・カーソルの再表示条件
カーソルを動かすと、カーソルが再表示されます。


シークバー、再生ツール表示状態



シークバー、再生ツール非表示状態



■メインビュー映像を全画面表示から通常画面表示に戻す

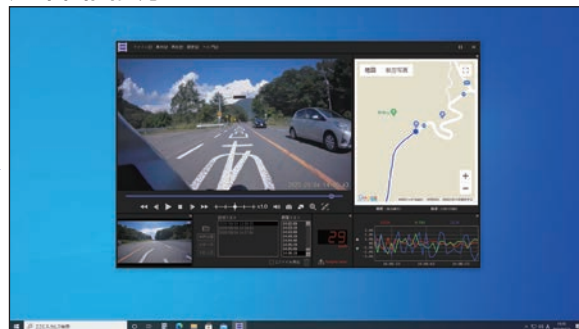
- ・再生ツールの全画面表示の解除  をクリックすると、全画面表示前の画面表示に戻ります。
キーボードの[Ctrl] + [T]キー操作でも、全画面表示前の画面表示に戻すことができます。

Ctrl + **T**

メインビュー全画面表示



通常画面表示



■ 全画面表示状態でGグラフの表示/非表示を切り替える

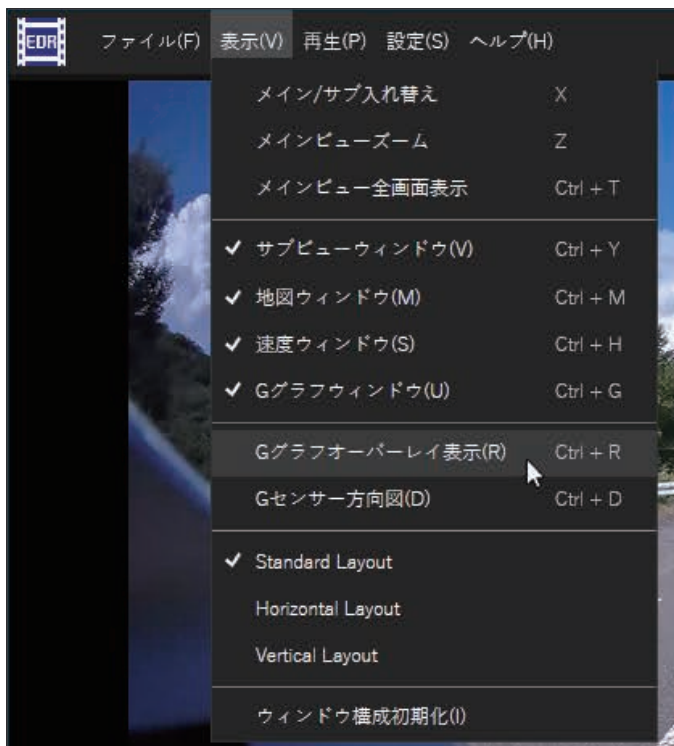
● 全画面表示状態で G グラフを表示 / 非表示する

全画面表示中に G グラフを重ねて表示することが出来ます。

■ 全画面表示状態の G グラフ表示 / 非表示

全画面表示状態で G グラフを表示 / 非表示させる方法は、下記の2通りあります。

I. 通常画面のメニューバーの「表示」から、「G グラフオーバーレイ表示」を選択します。



・ 項目の左に「✓」がある場合、G グラフは表示され、「✓」がない場合、G グラフは非表示となります。

II. キーボードの[Ctrl] + [R]キー操作で、表示 / 非表示を切り替える。

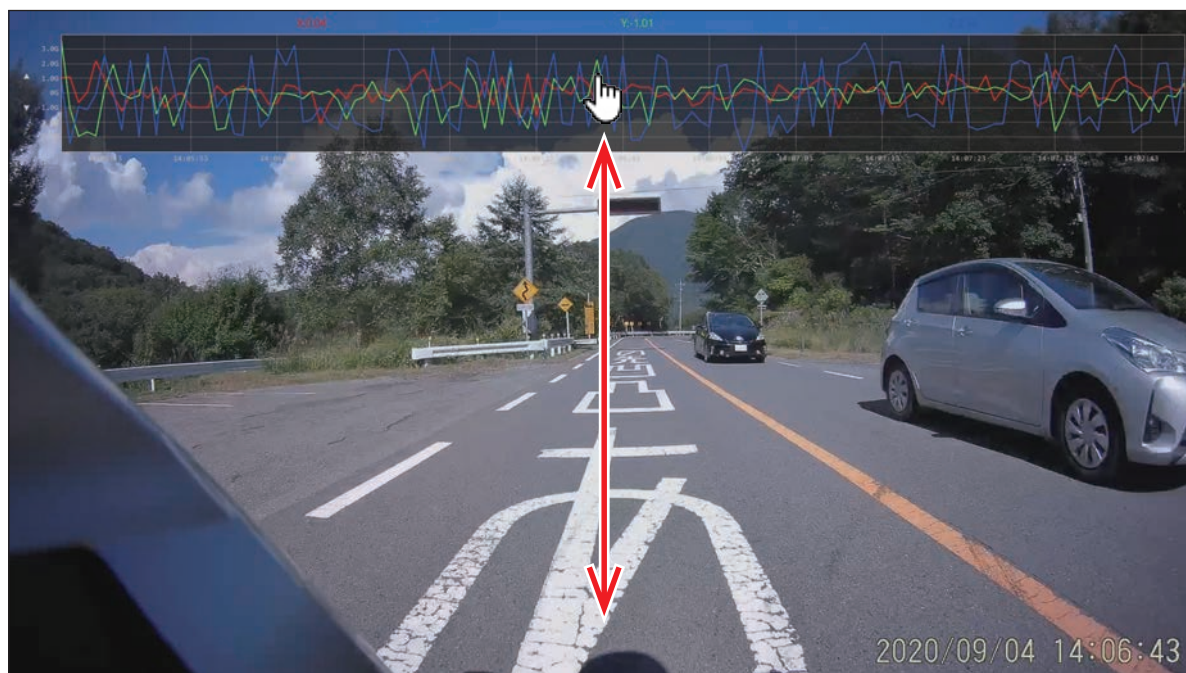
※全画面表示中の場合は、ショートカットキー操作が便利です。



G グラフオーバーレイ表示



- ・ G グラフをドラッグすることで、G グラフを上下に移動することができます。



再生
操作

■ ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える

● ウィンドウの表示 / 非表示について

EDRのモデルやお好みに合わせて、ウィンドウを表示 / 非表示することが出来ます。(一部ウィンドウを除く)

■ 表示と非表示が可能なウィンドウ

表示と非表示が可能なウィンドウは下記の通りです。

- ・サブビューウィンドウ
- ・地図ウィンドウ
- ・速度ウィンドウ
- ・G グラフウィンドウ

※ ウィンドウの名称については、「表示画面について」(16 ページ) を参照してください。

■ 表示と非表示の状態の記憶

ウィンドウの表示と非表示の状態は下記ウィンドウ配置毎に記憶されます。

- ・ Standard Layout
- ・ Horizontal Layout
- ・ Vertical Layout

※ ウィンドウ配置設定については、「ウィンドウ配置設定を切り替える (48 ページ) を参照してください。

● ウィンドウを表示 / 非表示する

■ ウィンドウの表示 / 非表示

I. メニューバーの「表示」から、各ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える。

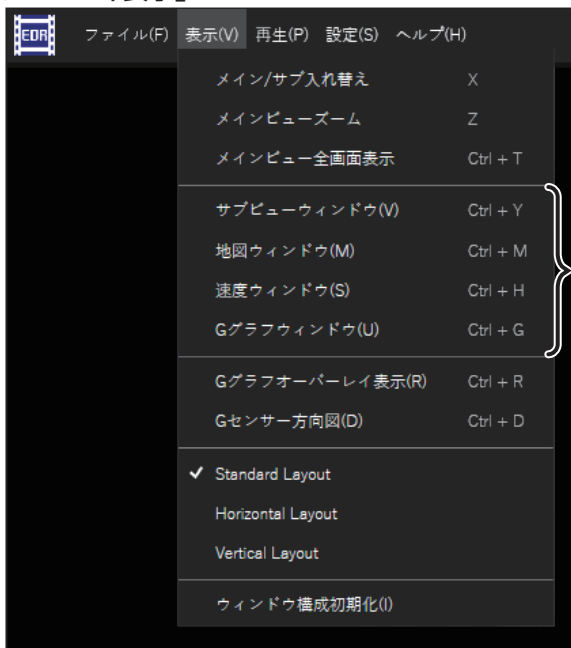
サブビューウィンドウ：「表示」→「サブビューウィンドウ」

地図ウィンドウ：「表示」→「地図ウィンドウ」

速度ウィンドウ：「表示」→「速度ウィンドウ」

G グラフウィンドウ：「表示」→「G グラフウィンドウ」

メニュー「表示」



・ 項目の左に「✓」がある場合、ウィンドウは表示され、「✓」がない場合、ウィンドウは非表示となります。

II. キーボードの下記キー操作で、表示 / 非表示を切り替える。

サブビューウィンドウ：[Ctrl] + [Y]



地図ウィンドウ：[Ctrl] + [M]



速度ウィンドウ：[Ctrl] + [H]



G グラフウィンドウ：[Ctrl] + [G]



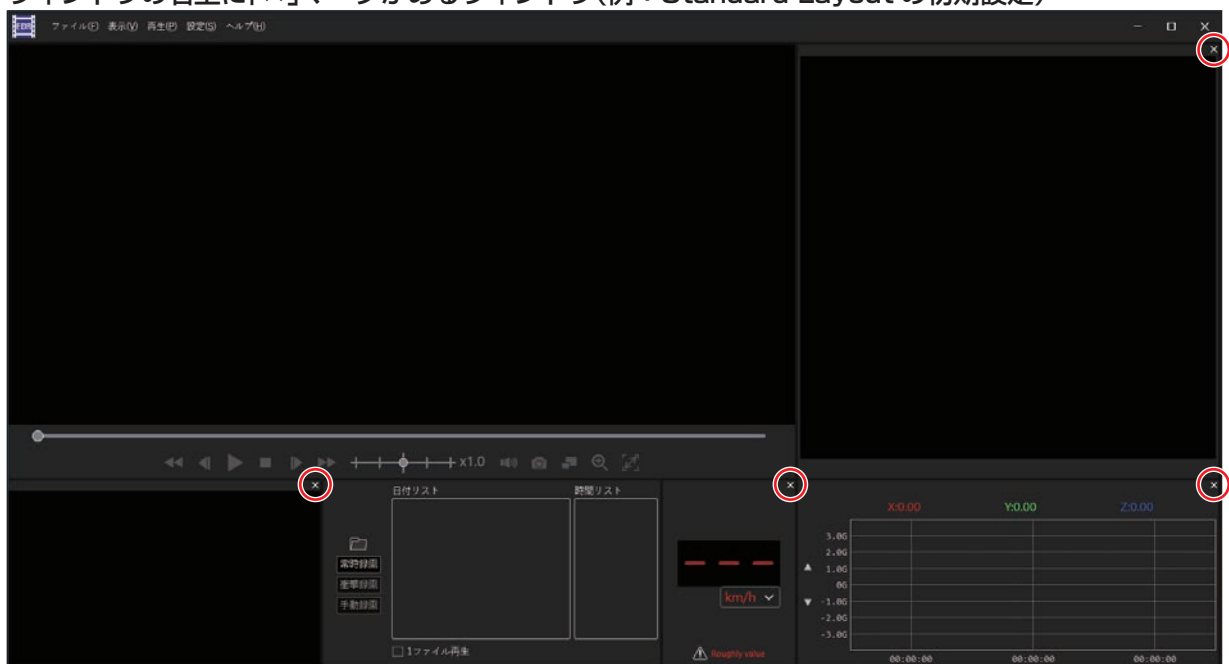
● 簡単な操作でウィンドウを非表示にする

簡単な操作でウィンドウを非表示状態にすることが出来ます。

■ ウィンドウの非表示

- ・ 各ウィンドウの右上に「×」マークがあるウィンドウは、「×」をクリックすることで、ウィンドウを非表示にすることが出来ます。

ウィンドウの右上に「×」マークがあるウィンドウ(例：Standard Layout の初期設定)



ウィンドウの調整

■ ウィンドウの配置設定を切り替える

● ウィンドウの配置設定について

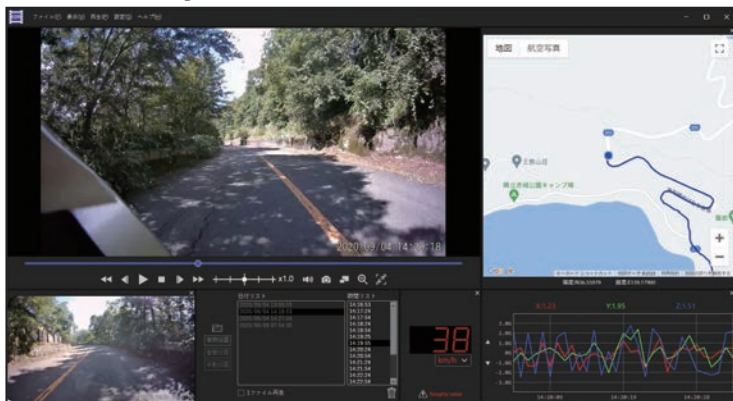
ウィンドウの設定配置を 3 種類からお選び出来ます。

Standard Layout(スタンダードレイアウト) / Horizontal Layout(水平レイアウト) / Vertical Layout(垂直レイアウト)

■ ウィンドウの配置設定名称と特徴説明

※ 下記画像の各ウィンドウ配置設定は、初期の状態を 16:9 のモニタで表示したものです。

・ Standard Layout (初期設定)



説明

メインビューの表示を主とし、それぞれのウィンドウをバランス良く配置した標準の設定です。

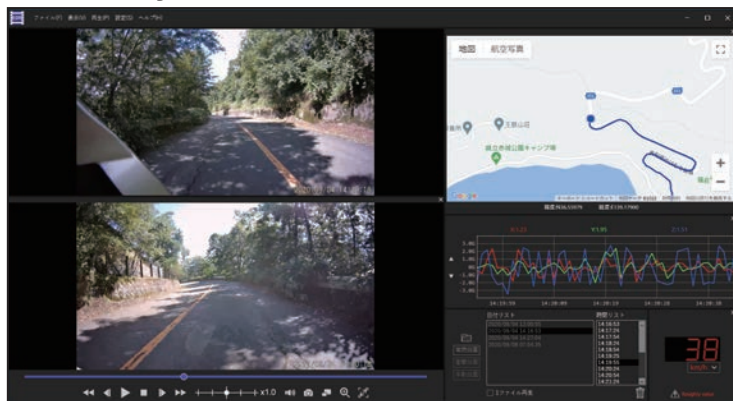
・ Horizontal Layout



説明

メインビューとサブビューを水平に配置した設定です。フロントカメラ、リアカメラの録画映像が見やすくなります。

・ Vertical Layout



説明

メインビューとサブビューを垂直に配置した設定です。フロントカメラ、リアカメラの録画映像および地図のウィンドウが同程度のサイズで表示されるので、映像と地図を確認しやすくなります。

■ ウィンドウ配置設定のカスタマイズ

上記 3 種類のウィンドウ配置設定を基本として、ウィンドウの表示 / 非表示の切り替え(46 ページ)やウィンドウの幅、高さを調整する(50 ページ)ことで、ご自身に合った視聴ウィンドウ設定にカスタマイズすることが出来ます。

カスタマイズした設定は、各ウィンドウの設定配置に反映されます。

●ウィンドウの配置設定を切り替える

■ウィンドウの配置設定切り替え

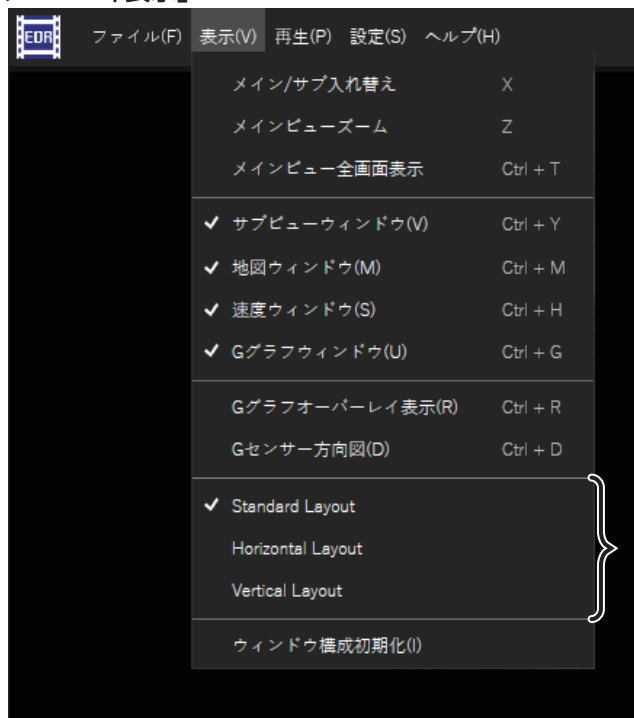
- ・メニューバーの「表示」から、任意のウィンドウ配置設定を選択します。

Standard Layout : 「表示」→「Standard Layout」

Horizontal Layout : 「表示」→「Horizontal Layout」

Vertical Layout : 「表示」→「Vertical Layout」

メニュー「表示」



- ・ 左に「✓」がある項目が、現在表示されているウィンドウレイアウトです。

■ ウィンドウの幅、高さを調整する

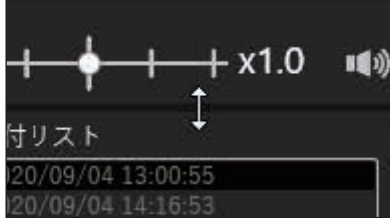
● ウィンドウの幅、高さの調整

各ウィンドウの幅や高さを調整することが出来ます。

■ ウィンドウの幅、高さ調整

ウィンドウの境界や外枠の縁または角にカーソルを合わせると、カーソルが両矢印「 \longleftrightarrow 」に変わります。両矢印「 \longleftrightarrow 」の位置でドラッグすると、ウィンドウの幅や高さを調整することが出来ます。

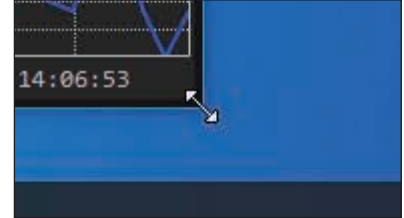
高さ調整(ウィンドウ境界位置)



幅調整(ウィンドウ境界位置)



高さ幅調整(外枠角位置)

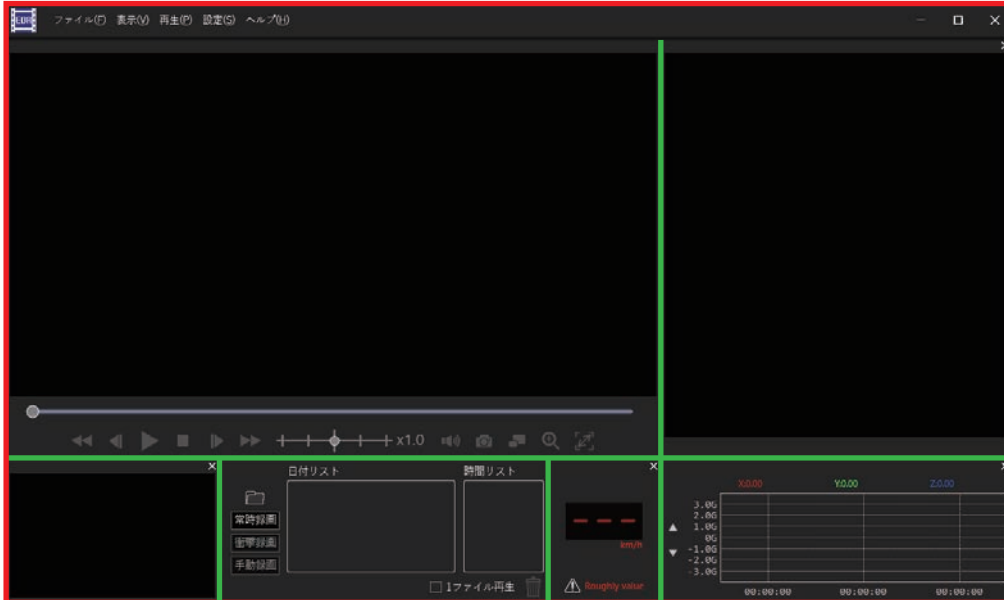


■ ウィンドウの調整可能な位置

ウィンドウの調整可能な位置は、下図の赤線および緑線の位置になります。ウィンドウを最大化している場合は、赤線の位置を調整することは出来ません。

幅、高さ調整可能な位置(赤線、緑線)

例：Standard Layout の場合



調整前(例)



高さ、幅、調整後(例)



■ ウィンドウ構成を初期の状態に戻す

● ウィンドウ構成の初期化について

任意に設定した非表示ウィンドウや幅、高さを調整したウィンドウ構成を初期の状態に戻すことが出来ます。

■ 初期化によって変更される項目

- ・ ウィンドウ全体の表示サイズ
- ・ ウィンドウ全体の表示位置(最大化表示時には適用されません)
- ・ サブビューウィンドウ、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウの表示
- ・ 各ウィンドウの幅、高さ

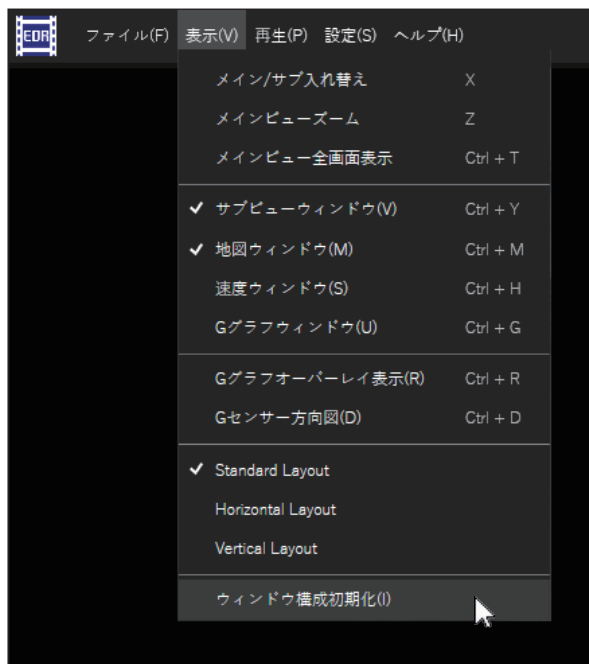
■ 初期化によって変更されない項目

- ・ 現在表示中のウィンドウ配置設定にのみ適用されます。他の2種類のウィンドウ配置設定には適用されません。

● ウィンドウ構成を初期化する

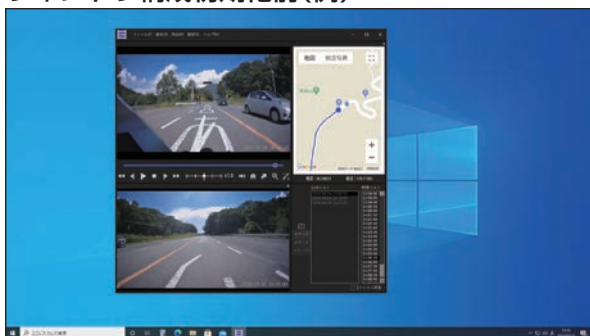
■ ウィンドウ構成の初期

メニューバーの「表示」から「ウィンドウ構成の初期化」を選択します。



「ウィンドウ構成初期化」を実行すると、ウィンドウ構成が初期化されます。

ウィンドウ構成初期化前(例)



ウィンドウ構成初期化後(例)



■ ウィンドウ配置設定の記憶機能

● ウィンドウ配置設定の記憶機能について

カスタマイズしたウィンドウ配置設定は、Moto DR Player 終了時の状態を記憶します。次回起動時は、前回の状態を維持して表示します。

■ 記憶されるウィンドウ配置設定の項目

- ・ ウィンドウの配置設定選択
- ・ ウィンドウ全体表示サイズ
- ・ サブビューウィンドウ、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウの表示状態
- ・ すべてのウィンドウの幅、高さ

録画ファイルを連結保存する

●録画ファイル連結保存機能について

読み込んだ録画ファイルの範囲を指定して、つなぎ目のない 1 つの録画ファイルとして保存することが出来ます。録画ファイルを連結保存することで、本ソフトウェア以外のソフトウェアでの再生や動画編集ソフトウェアでの編集が出来るようになります。

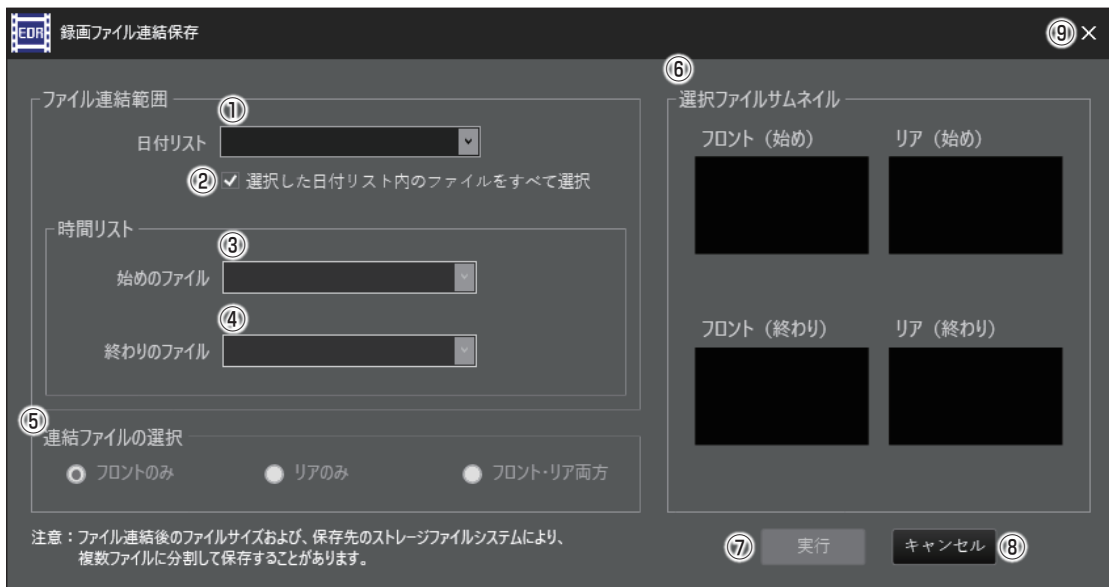
注 意

- ・連結保存した録画ファイルの読み込みや再生は、本ソフトウェアでは出来ません。
- ・連結保存した録画ファイルには、GPS 位置情報や G センサーのデータは保存されません。
- ・連結保存するファイル数が多い場合や使用する PC の環境により、連結保存に時間がかかる場合があります。
- ・連結保存する選択範囲に上書き保存で消去された録画ファイルや任意で削除した録画ファイルを含んでいる場合、欠落した録画ファイルの前後を連結して保存します。
- ・連結保存した録画ファイルは、連結前の録画ファイルより画質が劣化する場合があります。

●録画ファイルを連結保存する

■録画ファイル連結保存画面の説明

「録画ファイル連結保存」画面で、連結保存したい「日付リスト」、「時間リスト」の範囲、「フロントのみ」／「リアのみ」／「フロント・リア両方」を選択します。



- ① 「日付リスト」プルダウンリスト
読み込んでいる録画ファイルから、連結保存する「日付リスト」を選択します。
- ② 「選択した日付リスト内のファイルをすべて選択」チェックボックス
選択した「日付リスト」に含まれるすべてのファイルを連結保存します。
- ③ 「始めのファイル」プルダウンリスト(②のチェックを外した場合に選択可能です)
連結保存を開始したい「時間リスト」を選択します。
- ④ 「終わりのファイル」プルダウンリスト(②のチェックを外した場合に選択可能です)
連結保存を終わりにする「時間リスト」を選択します。
- ⑤ 「連結ファイルの選択」ボタン
連結保存するカメラを選択します。(2 カメラモデルのみ)
1 カメラモデルの場合は、「フロントのみ」以外は選択出来ません。
「フロント・リア両方」を選択した場合、フロントとリアカメラのファイルがそれぞれ連結保存されます。
- ⑥ 「選択ファイルサムネイル」
時間リストで選択したフロントカメラとリアカメラの始めの映像、終わりの映像をサムネイル(小さな画像)で表示します。1 カメラモデルの場合は、フロントの始めの映像と終わりの映像のみ表示します。
- ⑦ 「実行」ボタン
録画ファイルの連結保存を実行します。
- ⑧ 「キャンセル」ボタン / ⑨ 「×」(閉じる)ボタン
録画ファイルの連結保存をキャンセルします。

■録画ファイルを連結保存する

1. 連結する録画ファイルを読み込む。録画ファイルを読み込む手順は、「ファイルを読み込む」(28 ～ 29 ページ) を参照してください
録画ファイルを読み込んでいる場合は、次へ進んでください。

2. 録画ファイル連結保存の画面を表示します。

録画ファイル連結保存画面の表示方法は、下記の 2 通りあります。

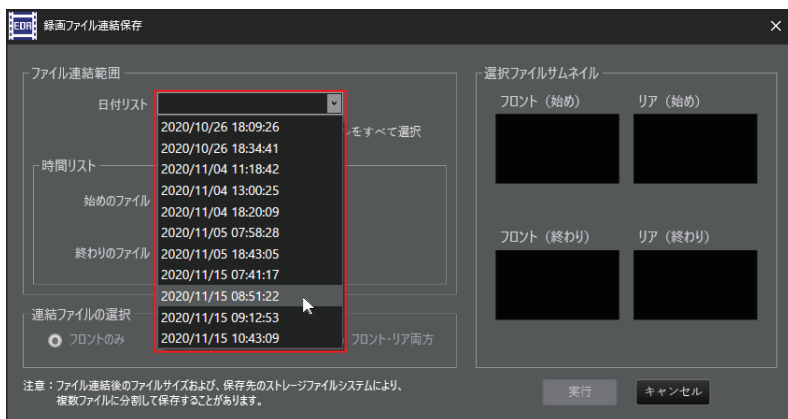
- I. メニューバーの「ファイル」から、「録画ファイル連結保存」を選択します。



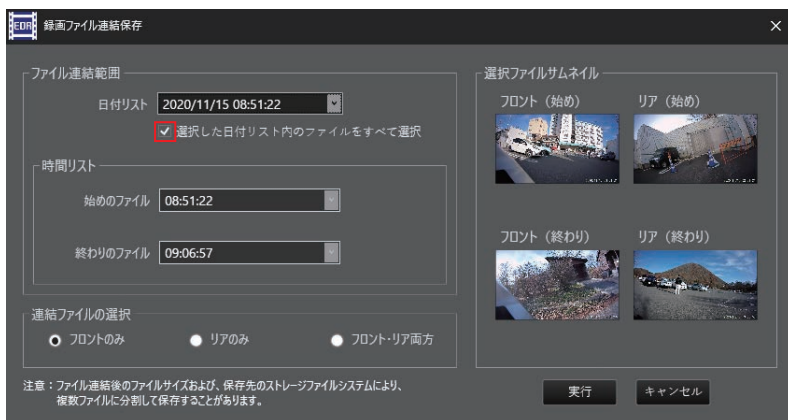
- II. キーボードの [Ctrl] + [Shift] + [S] キー操作で表示する。



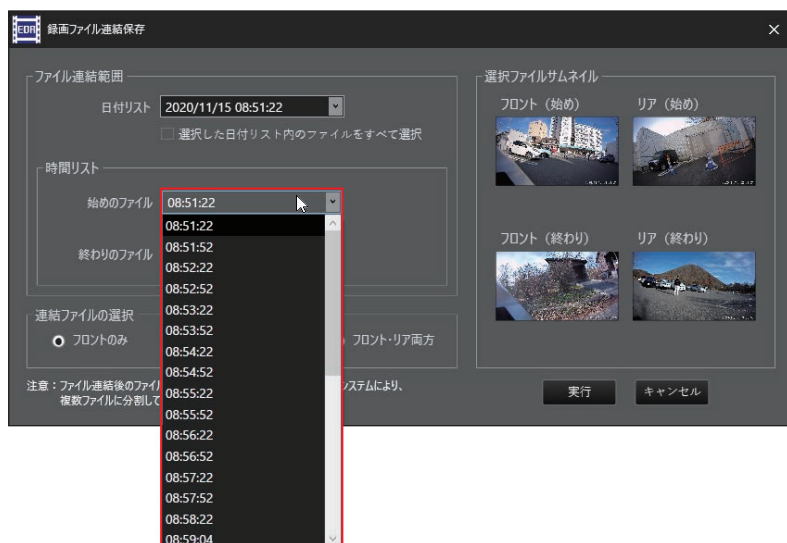
3. 「ファイル連結範囲」の「日付リスト」プルダウンリストから、連結する「日付リスト」を選択します。



4. 「日付リスト」の選択が完了すると、選択範囲の「始め」と「終わり」のファイルサムネイルが「選択ファイルサムネイル」に表示されます。
5. 選択した「日付リスト」のすべてを連結保存する場合は、「選択した日付リスト内のファイルをすべて選択」チェックボックスにチェックを入れ、手順 8 へ進みます。
選択した「日付リスト」のファイル内から連結する範囲を指定する場合は、「選択した日付リスト内のファイルをすべて選択」チェックボックスのチェックを外します。



6. 「時間リスト」の「始めのファイル」選択プルダウンリストから、連結保存を開始したいファイル(時間)を選択します。



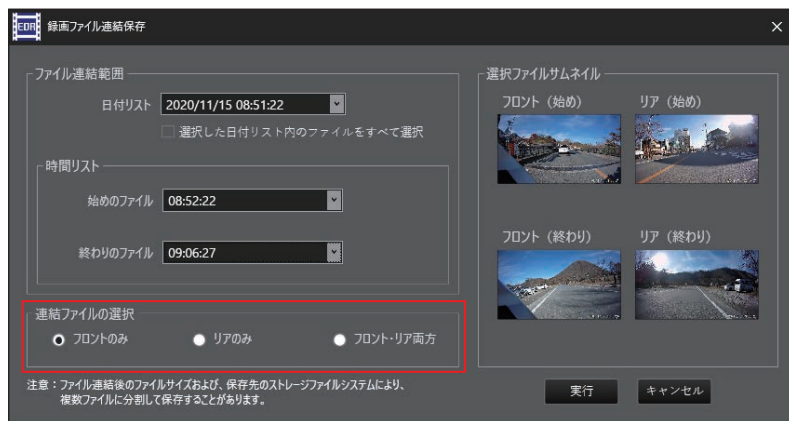
- ※ 選択出来る「始めのファイル」は、「終わりのファイル」で選択されているファイルよりも前の時間のファイルになります。

7. 「時間リスト」の「終わりファイル」選択プルダウンリストから、連結保存を終了したいファイル(時間)を選択します。



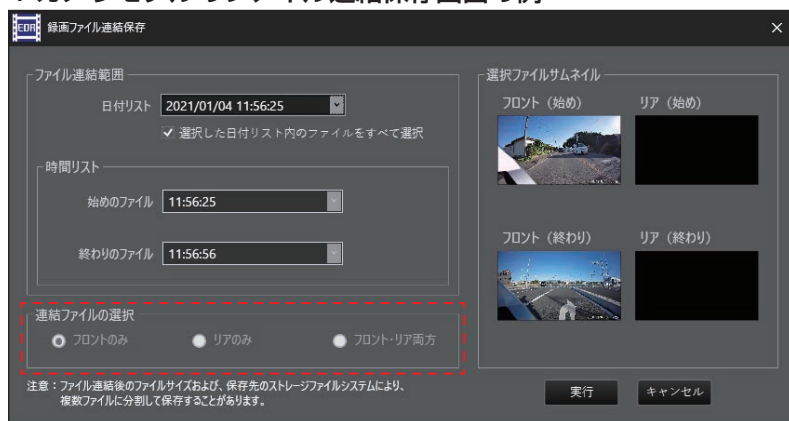
- ※ 選択出来る「終わりのファイル」は、「始めのファイル」で選択されているファイルよりも後の時間のファイルになります。

8. 「連結ファイルの選択」から、対象のカメラを選択します。



※ 1 カメラモデルの録画ファイルの場合、カメラが 1 つのため、「フロントのみ」が自動で選択されます。「リアのみ」と「フロント・リア両方」は選択出来ません。

1 カメラモデルのファイル連結保存画面の例

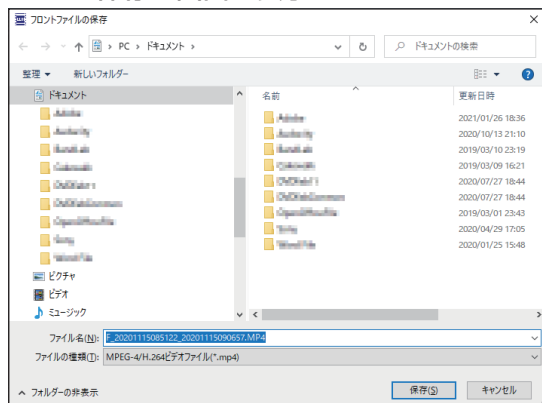


9. 「実行」ボタンをクリックします。

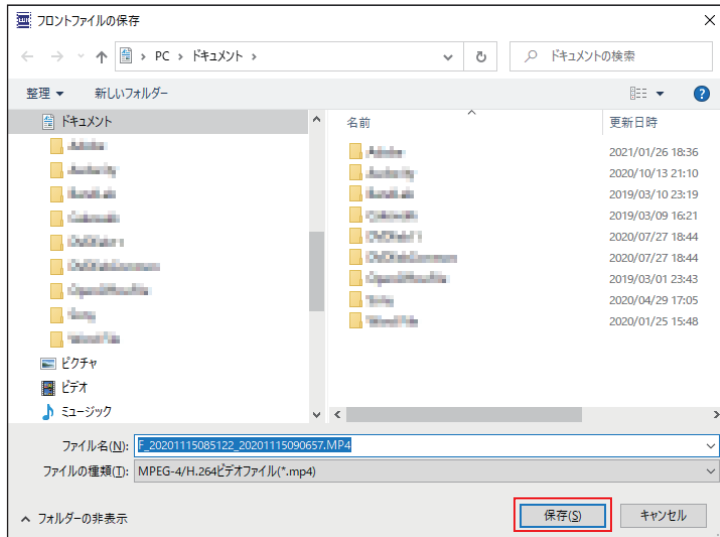


便利な機能

10. ファイル保存の画面が表示されます。

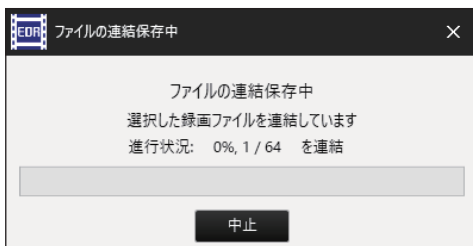


11. 連結ファイルの保存場所を指定し、ファイル名を入力後に「保存」ボタンをクリックします。



※ 手順 8 の連結ファイルの選択で「フロント・リア両方」を選択した場合、フロントファイルの保存操作後にリアファイルの保存画面が表示されます。フロントとリアの録画ファイルは、別々に保存されますので、同じ作業をもう一度おこなってください。

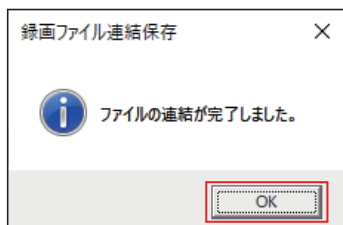
12. ファイルの連結保存が実行されます。



- ※ 「中止」ボタンまたは「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、ファイルの連結保存を中止します。中止した場合、連結保存中のファイルは削除されます。
- ※ 連結後の 1 ファイルの最大容量を 4GB に制限しています。連結保存によって、1 ファイルの最大容量を超える場合、ファイル名の末尾に「-2」、「-3」・・・を付与してファイルを保存します。
- ※ 連結後の 1 ファイルの最大容量が 4GB 以下の場合でも、保存先のファイルシステムの制限によって、分割保存されることがあります。この場合、録画ファイル名の末尾に「-2」、「-3」・・・を付与して録画ファイルを保存します。

13. ファイルの連結保存が完了すると、連結完了の通知画面が表示されます。

「OK」ボタンをクリックして、連結完了の通知画面を閉じます。



14. 連結保存完了の通知画面を閉じると、「録画ファイル連結保存画面」に戻ります。継続してファイルを連結保存する場合は、そのまま作業をしてください。ファイルの連結保存を終了する場合は、「キャンセル」ボタンまたは「×」ボタンをクリックして、「録画ファイル連結保存画面」を閉じてください。

以上で「録画ファイルを連結保存する」の説明は終わりです。

■ GPS ログファイルを保存する ※GPS 搭載モデルのみ

●GPS ログファイルの保存機能について

読み込んだファイルの日付リストの範囲を指定して、GPS のログファイル(位置情報の履歴)を保存します。保存した GPS ログファイルは、Google マップや Google Earth などの地図ソフトウェア、ロケーション管理ソフトウェアで使うことができます。

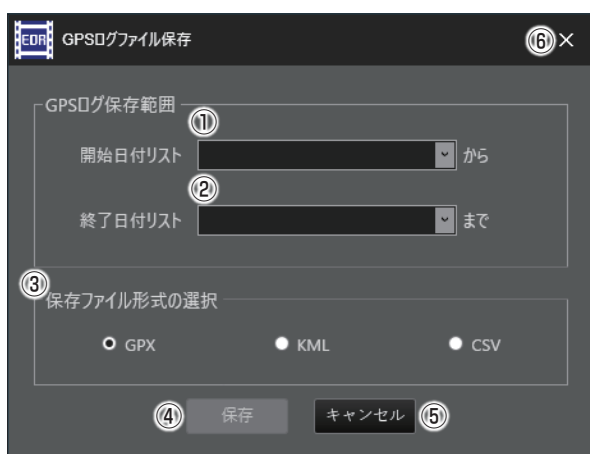
注 意

- ・本ソフトウェアでは、保存した GPS ログファイルの読み込みや再生は出来ません。
- ・EDR で記録した日時、緯度、経度の情報が、GPS ログファイルとして保存されます。
- ・GPS 搭載モデル以外で記録した録画ファイルでも「GPS ログデータ保存」操作は出来ませんが、録画ファイル内にログデータが記録されていないため、GPS ログファイル内にログ情報は記録されません。

●GPS ログファイルを保存する

■GPS ログファイル保存画面の説明

GPS ログファイル保存画面で、GPS ログデータ保存範囲、保存ファイル形式を選択します。



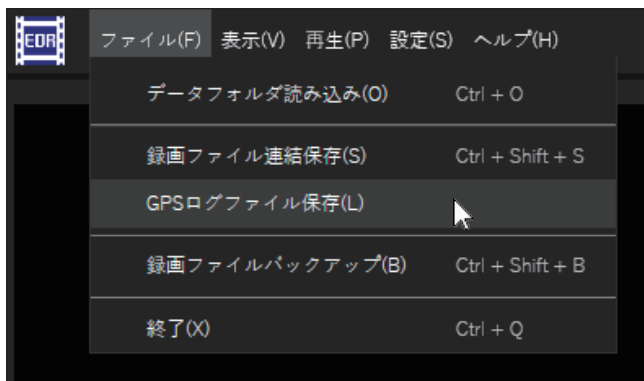
- ① 「開始日付リスト」のプルダウンリスト
読み込んでいる録画ファイルから、保存する録画ファイルの「開始日付リスト」を選択します。
- ② 「終了日付リスト」のプルダウンリスト
読み込んでいる録画ファイルから、保存する録画ファイルの「終了日付リスト」を選択します。
- ③ 「保存ファイル形式の選択」ボタン
保存するファイル形式を GPX、KML、CSV から選択します。
- ④ 「保存」ボタン
GPS ログファイルを保存します。
- ⑤ 「キャンセル」ボタン / ⑥ 「×」(閉じる)ボタン
GPS ログファイルの保存をキャンセルします。

■GPS ログファイル保存する

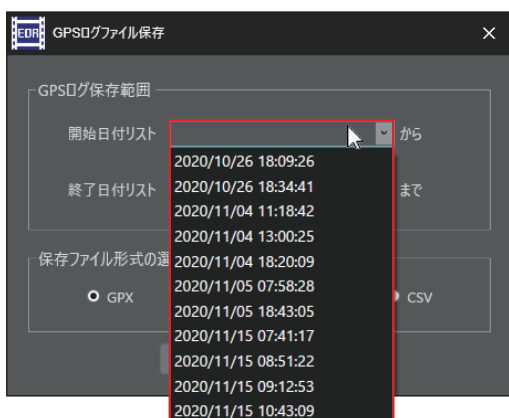
1. GPS ログデータを保存する対象の録画ファイルを読み込みます。「ファイルを読み込む」(28～29ページ)を参照してください。
録画ファイルを読み込んでいる場合は、次へ進んでください。

2. GPS ログファイル保存画面を表示します。

メニューバーの「ファイル」から、「GPS ログファイル保存」をクリックし表示します。



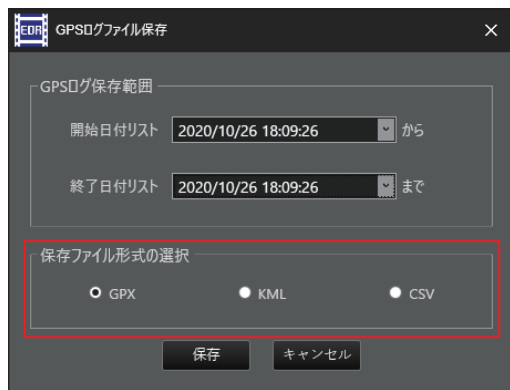
3. 「GPS ログ保存範囲」の「開始日付リスト」プルダウンリストから、保存を開始する日付リストを選択します。



4. 「GPS ログ保存範囲」の「終了日付リスト」プルダウンリストから、保存を終了する日付リストを選択します。



5. 「保存ファイル形式の選択」から、GPS ログファイルを保存するファイル形式を選択します。



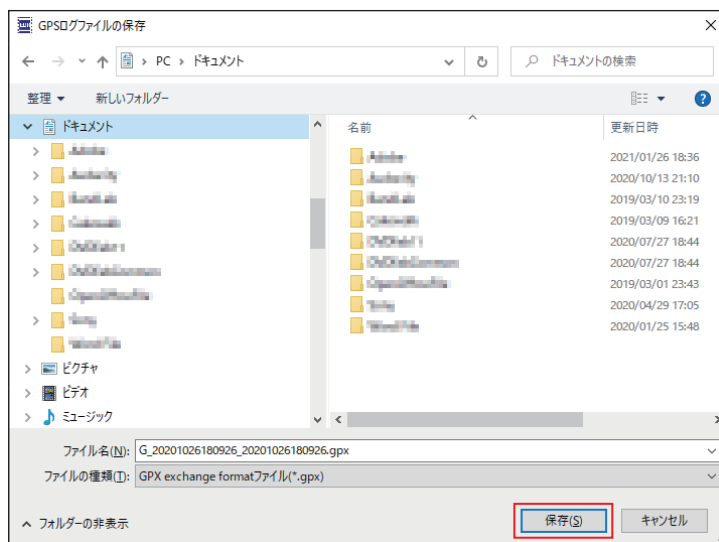
6. 「実行」ボタンをクリックします。



7. 「GPS ログファイル保存の画面」が表示されます。

GPS ログファイルの保存場所を指定し、ファイル名を入力後に「保存」ボタンをクリックします。

※ この画面でも保存するファイル形式(ファイルの種類)を選択することが出来ます。

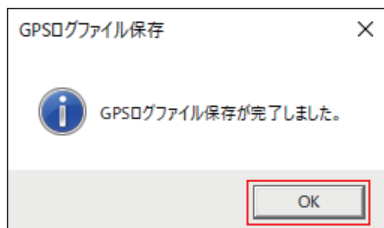


8. GPS ログファイルの保存が実行されます。



※ 「中止」 ボタンをクリックすると、GPS ログファイルの保存を中止します。中止した場合、保存中のファイルは削除されます。

-
9. GPS ログファイルの保存が完了すると、保存完了の通知画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックして、保存完了の通知画面を閉じます。



以上で「GPS ログファイルを保存する」の説明は終わりです。

録画ファイルをバックアップする

●録画ファイルバックアップ機能について

読み込んだ録画ファイルをフォルダ構成を保った状態で、指定のフォルダへバックアップします。バックアップした録画ファイルは、本ソフトウェアで再生、録画ファイルの連結保存、GPS ログファイル保存が出来ます。

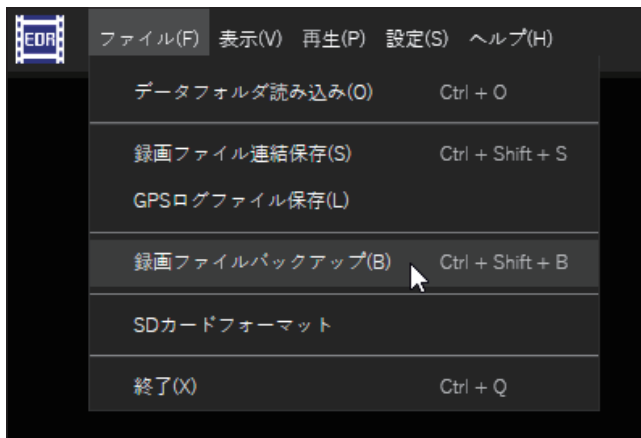
注 意

- ・バックアップするファイル数が多い場合や使用する PC の環境により、バックアップに時間がかかる場合があります。

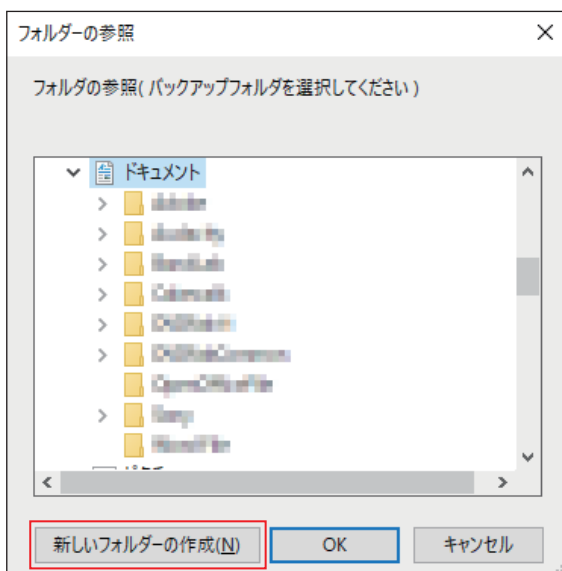
●録画ファイルのバックアップ

■録画ファイルをバックアップする

1. バックアップする対象の録画ファイルを読み込みます。録画ファイルの読み込み手順は、「ファイルを読み込む」(28 ～ 29 ページ)参照してください。
録画ファイルを読み込んでいる場合は、次へ進んでください。
2. バックアップ先のフォルダーの参照画面を表示します。
メニューバーの「ファイル」から、「録画ファイルバックアップ」を選択します。



3. 「フォルダーの参照」画面から、「新しいフォルダーの作成」をクリックします。

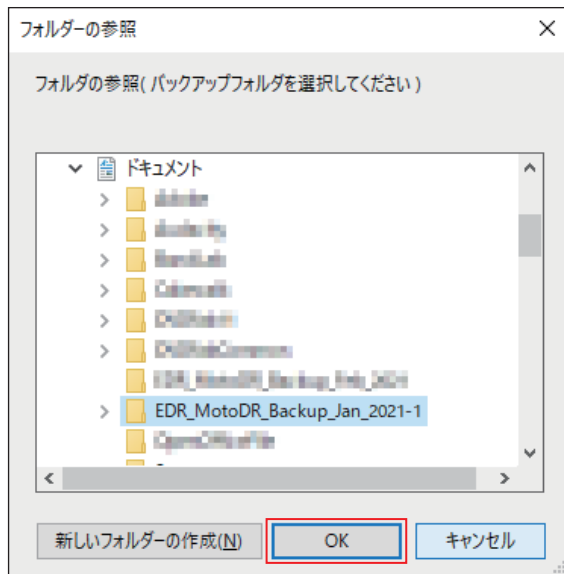


4. 「新しいフォルダー」の名称を入力します。

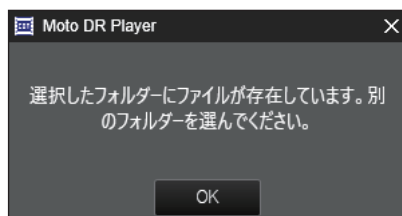


※必ず「新しいフォルダー」を作成し、バックアップしてください。また、「新しいフォルダー」の名称は、バックアップファイルの内容が分かる名称としてください。

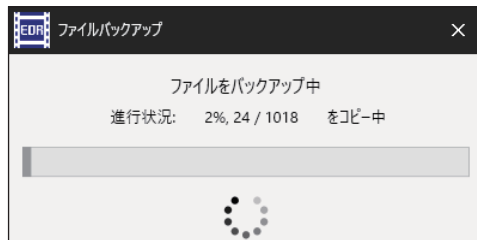
5. 手順 4 で作成したフォルダーを選択し、「OK」ボタンをクリックします。
(例:「EDR_MotoDR_Backup_Jan_2021-1」の名称を使用)



- ※ 誤って既存のバックアップフォルダーを指定して「OK」ボタンをクリックした場合、下記通知画面が表示され、バックアップが中止されます。「OK」ボタンをクリックし、手順 2 からやり直してください。

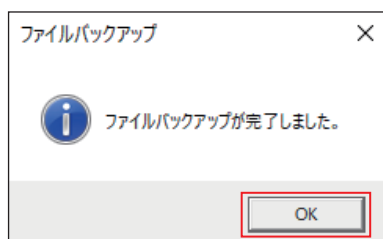


6. 録画ファイルのバックアップが実行されます。



- ※ 「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、録画ファイルのバックアップを中止します。中止した場合、バックアップ中の録画ファイルは、中止するまでにバックアップがされた録画ファイルが指定のフォルダーに保存されます。保存出来なかった録画ファイルのみを再度バックアップすることは出来ません。

7. 録画ファイルのバックアップが完了すると、バックアップ完了の通知画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックして、バックアップ完了の通知画面を閉じます。



以上で「録画ファイルをバックアップする」の説明は終わりです。

microSD カードをフォーマットする

● microSD カードのフォーマット機能について

microSD カードを EDR シリーズで使用可能な形式にフォーマットします。
本ソフトウェアでフォーマットすることで、専用スマートフォンアプリでのフォーマット操作をすることなく、EDR 本体へ microSD カードを挿入して使用出来ます。

注 意

- ・フォーマットを実行すると、microSD カード内の録画ファイル(データ)は、すべて消去されます。フォーマットを実行する場合は、必要に応じて録画ファイルのバックアップをしてください。
- ・パーティションを分割した microSD カードは、EDR で使用しないでください。フォーマットされた場合でも EDR で使用しないでください。誤動作の原因となります。

● microSD カードのフォーマット

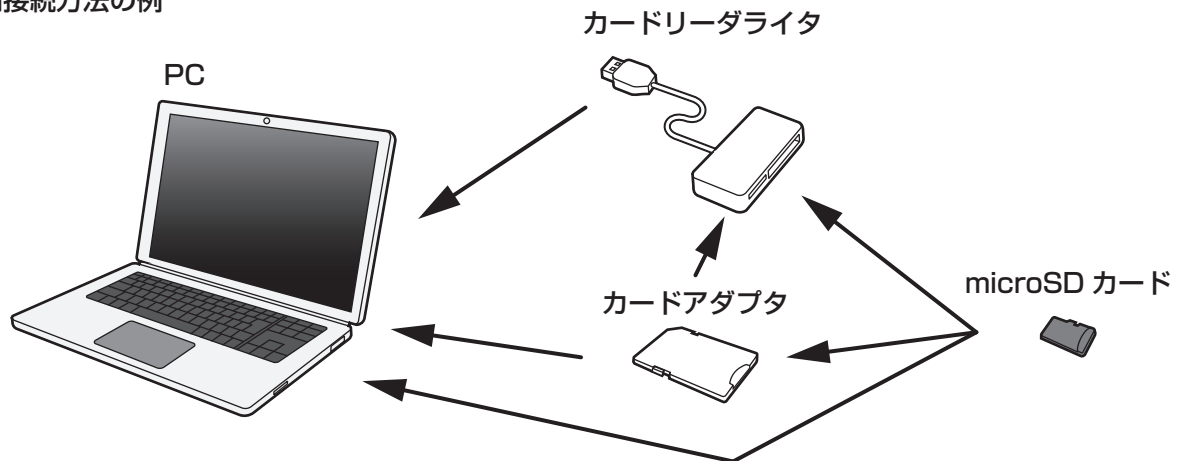
■ microSD カードをフォーマットする

1. フォーマットする microSD カードを PC に接続します。

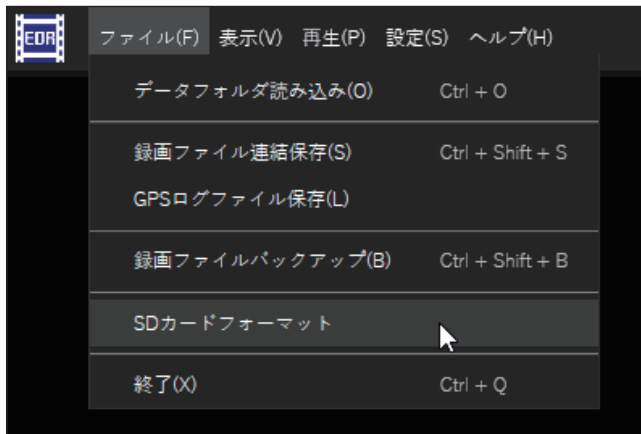
注 意

- ・必ず、接続する microSD カードの規格に適合した機器を使用してください。microSD カードを正しく認識出来なかったり、ファイルを正しく認識出来ません。
- ・使用する PC やカードリーダーの取扱説明書に従って接続してください。microSD カードの破損、ファイルの消失や破損、機器の故障の原因となります。

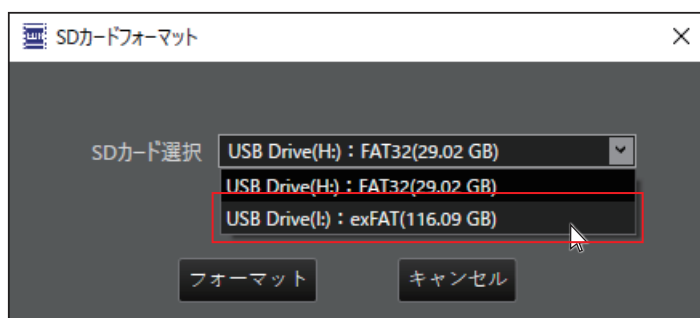
■ 接続方法の例



2. メニューバーの「ファイル」から、「SD カードフォーマット」を選択します。



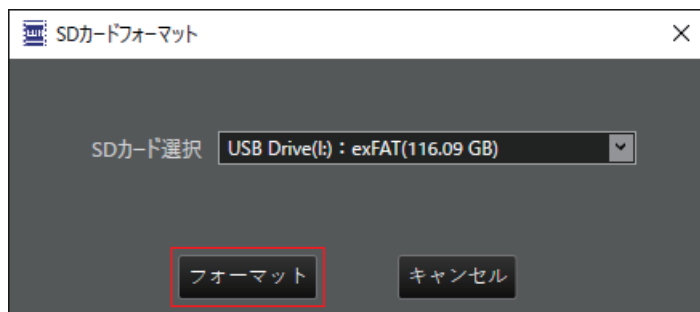
3. 「SD カードフォーマット」画面の「SD カード選択」から、対象の microSD カードを選択します。
下図は、複数の Drive を選択した場合の画面です。複数選択出来ない場合は、1 つだけの選択となります。
(例: 「I(アイ)Drive に接続された microSD カードをフォーマットする場合」)



※ microSD カードが破損していたり、Windows で使用出来ないフォーマット形式の場合は、この「SD カード選択」画面に表示されません。

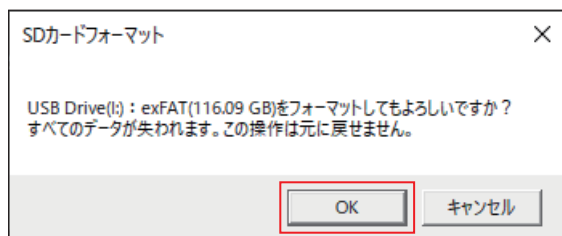
選択画面に表示されない場合は、一度 Windows でフォーマットを実行してください。

4. フォーマットする microSD カードの選択が合っていることを確認し、「フォーマット」ボタンをクリックします。



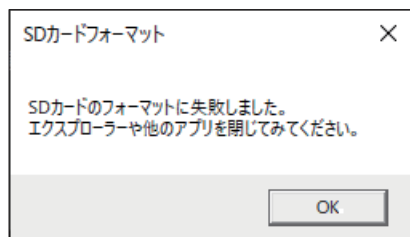
※ 「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、フォーマットを中止することが出来ます。

5. 確認のウィンドウが表示されたら、内容を確認して「OK」ボタンをクリックします。



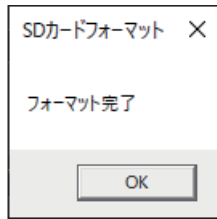
※ 「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、1 つ前の手順4の「SD カードフォーマット」画面に戻ることが出来ます。

※ 下記のようなフォーマット失敗画面が表示された場合は、microSD カードが使用状態にある可能性があります。microSD カードを参照しているアプリケーション (ソフトウェア) や Windows の「エクスプローラー」などのアプリケーションをすべて終了し、手順4から操作を再開してください。



「OK」ボタンまたは「×」(閉じる)ボタンをクリックして、この画面を閉じます。画面を閉じると、手順4の「SD カードフォーマット」画面に戻ります。

-
6. microSD カードのフォーマットが完了すると、フォーマット完了の通知画面が表示されます。
「OK」ボタンまたは右上の「×」をクリックして、フォーマット完了の通知画面を閉じます。



以上で「microSD カードをフォーマットする」の説明は終わりです。

録画ファイルを選択して削除する

●録画ファイルの選択削除機能について

読み込んだ録画ファイルから、不要なファイルを選択して削除します。
録画ファイルの容量削減や整理をすることが出来ます。

注 意

- ・ 録画ファイルを削除すると、保存されている録画ファイルを削除します。削除した録画ファイルは、復元することが出来ません。
- ・ 2 カメラモデルの録画ファイルの場合、選択して削除すると、フロントおよびリア両方の録画ファイルが削除されます。フロントまたはリアのどちらか片方の録画ファイルのみを削除することは出来ません。

●録画ファイルの削除

録画ファイルを読み込み、ファイルリストに「日付リスト」および「時間リスト」が表示された状態からの説明となります。

録画ファイルの読み込みについては、「録画ファイルを読み込む」(28 ~ 29 ページ)を参照してください。

■録画ファイルを選択して削除する

1. ファイルリスト右下の「ファイル削除」アイコンをクリックします。



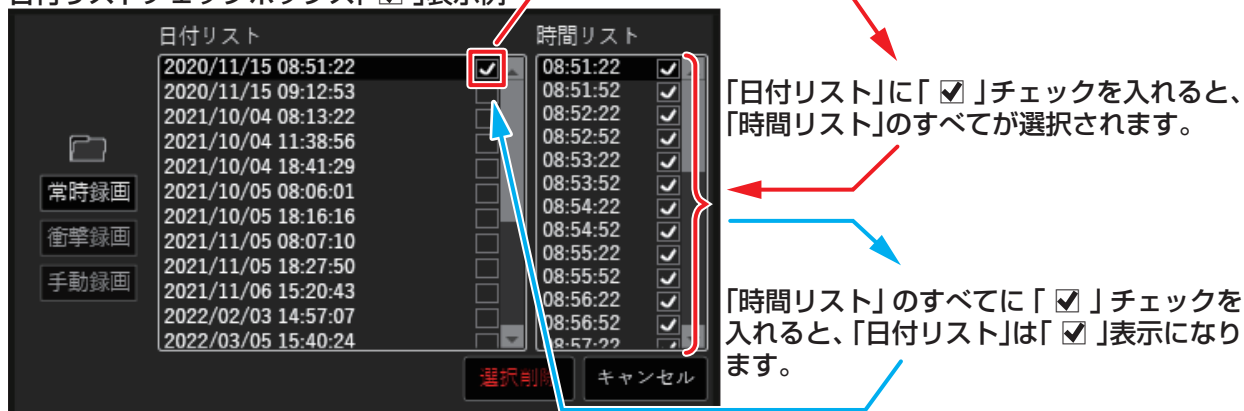
2. 「日付リスト」の右側、「時間リスト」の右側にチェックボックス「☐」が表示されます。
削除する録画ファイルのチェックボックスに「☒」(チェック)を入れます。



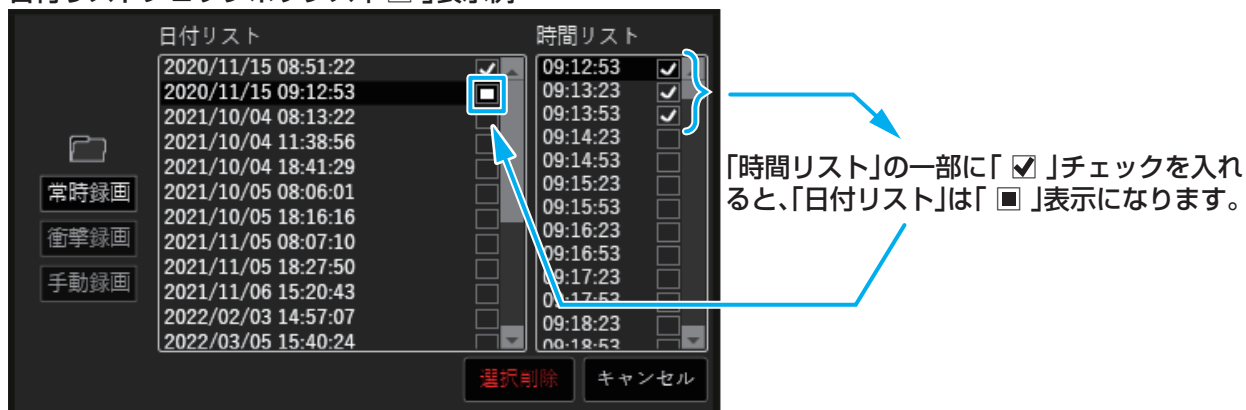
※ 録画ファイルの削除をキャンセルする場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

- ・「日付リスト」のチェックボックスにチェック「☒」を入れると、「日付リスト」内のすべての時間リストファイルが選択されます。
- ・「時間リスト」のチェックボックスすべてにチェック「☒」を入れた場合、「日付リスト」のチェックボックスにチェック「☒」が入ります。また「時間リスト」のチェックボックス一部にチェック「☒」を入れた場合、「日付リスト」のチェックボックスが「☐」表示になります。

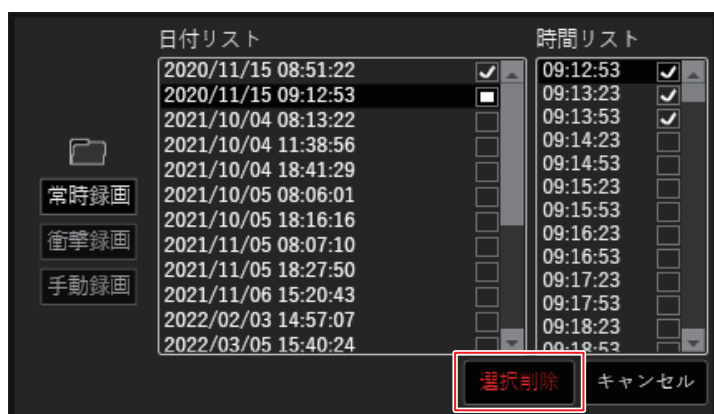
日付リストチェックボックス「☒」表示例



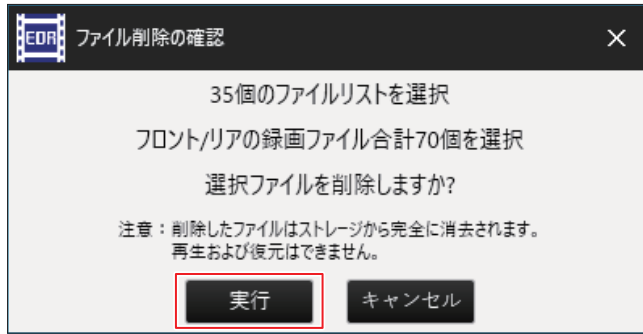
日付リストチェックボックス「☐」表示例



3. 削除する録画ファイルの選択が完了したら、「選択削除」ボタンをクリックします。

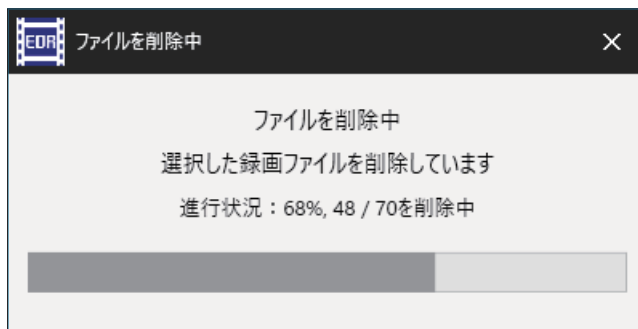


4. 「ファイル削除の確認」画面が表示されますので、内容を確認して「実行」ボタンをクリックします。



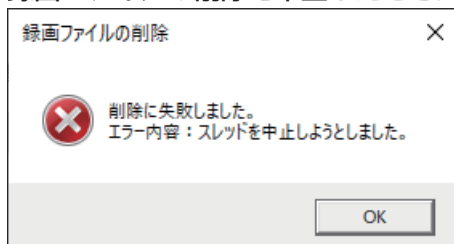
※ 録画ファイルの削除をキャンセルする場合は、「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックします。

5. 録画ファイルの削除が実行されます。



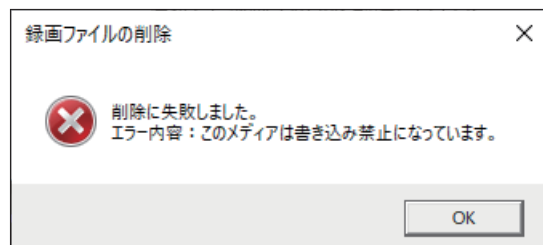
※ 録画ファイルの削除を中止する場合は、右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックします。
中止までに削除を実行した録画ファイルは復元出来ません。中止した場合は、下記画面が表示されます。

録画ファイルの削除を中止したときに表示される画面



「OK」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックして、この画面を閉じます。
画面を閉じると、録画ファイルの再読み込みが開始されます。

- microSD カードをカードアダプタのロックがかかった状態で使用し、ファイルを読み込んでファイル削除を実行した場合、下記のエラー画面が表示されます。



この場合、下記の処置をおこなってから、「録画ファイルを選択して削除する」をおこなってください。

- ① 本ソフトウェアを一旦終了します。本ソフトウェアの終了手順は、「Moto DR Player を終了する」(11 ページ)を参照してください。
- ② PC を操作して、microSD カード(カードアダプタ)を安全に取り外します。
- ③ カードアダプタのロックを解除します。
- ④ 「Moto DR Player」を起動し、microSD カード(カードアダプタ)を PC に接続して録画ファイルを読み込み、再度録画ファイルの削除をしてください。録画ファイルの読み込み手順は、「ファイルを読み込む」(28 ~ 29 ページ)を参照してください。

- 選択した録画ファイルの削除権限がない場合や読み取り専用設定されている場合、下記画面が表示されます。



上記表示が出た場合は、録画ファイルへのアクセス権限取得または読み取り専用設定を解除してください。

その後、「OK」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックして、この画面を閉じます。

画面を閉じると、録画ファイルの再読み込みが開始されますので、再度録画ファイルの削除をおこなってください。

6. ファイル削除が完了すると、録画ファイルの再読み込みが開始されます。

以上で「録画ファイルを選択して削除する」の説明は終わりです。

■ Moto DR Player で本体の録画 / 録音設定をする

● 本体の録画 / 録音設定機能について

本ソフトウェアで、EDR 本体の録画 / 録音設定することが出来ます。
なお、現在 EDR 本体に設定されている設定値を確認することは出来ません。

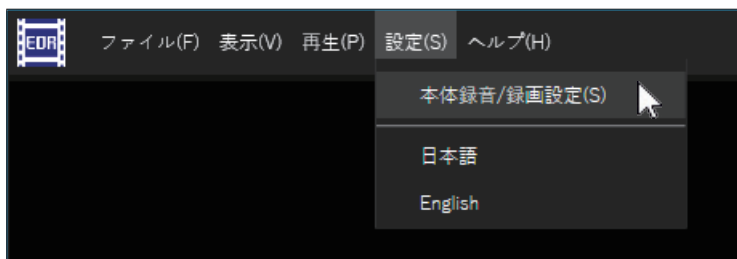
注 意

- ・ 録画 / 録音の設定には、EDR 本体で録画したファイルが保存されている microSD カードが必要です。
- ・ EDR 本体の設定は、設定を書き込んだ microSD カードを EDR 本体に挿入し、EDR 本体の電源を ON にしたときに反映されます。
- ・ 本ソフトウェアで変更出来る設定は、録画 / 録音の設定のみです。本体時刻同期の設定は出来ません。

● 本体の録画 / 録音設定

■ 本体の録画 / 録音設定をする

1. EDR 本体で録画した microSD カードを PC に接続し、microSD カードのファイルを読み込みます。
録画ファイルを読み込む手順は、「ファイルを読み込む」(28 ~ 29 ページ)を参照してください。
2. 本体録画 / 録音設定画面を表示します。
メニューバーの「設定」から、「本体録音 / 録画設定」を選択します。



3. 各項目の設定値を選択します。



※ 画面を開いたときに表示される設定は、初期値(工場出荷時設定)です。EDR 本体に設定されている設定値ではありません。また、一度この画面で設定後、microSD カードを EDR 本体へ挿入し起動していない場合は、以前設定した設定値が表示されます。

4. 各項目の設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。
設定した内容が、microSD カードに書き込まれます。
5. 本ソフトウェアを終了します。本ソフトウェアの終了手順は、「Moto DR Player を終了する」(11 ページ)を参照してください。
6. PC を操作して、microSD カードを安全に取り外します。
7. EDR 本体に microSD カードを挿入し、EDR 本体の電源を入れます。(本体の取扱説明書を参照してください)
8. 設定した内容が EDR 本体に反映され、録画を開始します。

以上で「本体の録画 / 録音設定をする」の説明は終わりです。

表示言語の設定

●表示言語の設定機能について

本ソフトウェアで表示する言語を「日本語」または「English(英語)」に設定することが出来ます。
初期設定は、「日本語」に設定されています。

注 意

- ・ Windows の表示言語の設定には連動しません。
- ・ 表示言語の設定反映には本ソフトウェアの再起動が必要です。

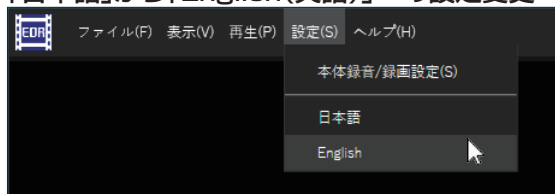
●表示言語の設定変更

表示言語を「日本語」から「English(英語)」および「English(英語)」から「日本語」への設定変更について説明します。

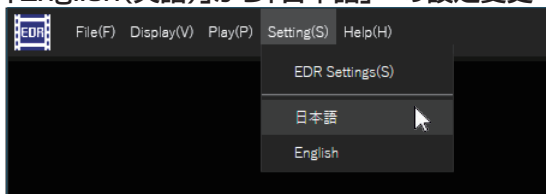
■表示言語の設定を変更する

1. メニューバーの「設定」から、「English」を選択、「Setting」から、「日本語」を選択します。

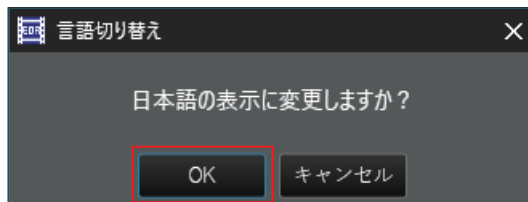
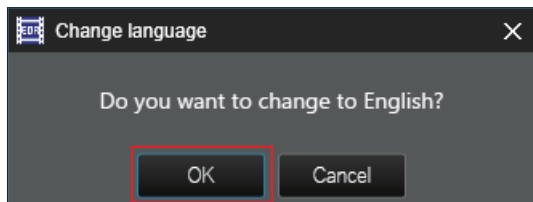
「日本語」から「English(英語)」への設定変更



「English(英語)」から「日本語」への設定変更

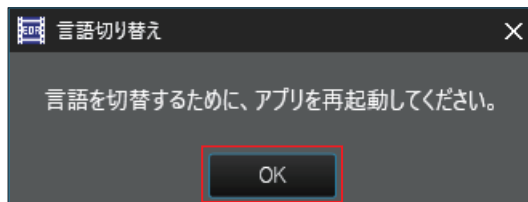
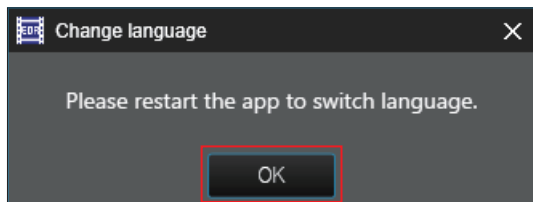


2. 設定変更の確認画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



※ 「Cancel」や「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、表示言語の設定変更をキャンセルすることが出来ます。

3. 本ソフトウェアの再起動を促すメッセージが表示されたら、「OK」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックします。画面が閉じ、言語設定の変更が完了します。



4. 本ソフトウェアを一旦終了し、再度起動します。本ソフトウェアの起動、終了手順は「Moto DR Player を起動する・終了する」(10 ページ)を参照してください。
本ソフトウェアを再起動することで、表示言語が変更されます。

以上で「表示言語の設定を変更する」手順の説明は終わりです。

■ こんなときは－Q & A－

下記に問題事象例と確認項目、処置方法を記載しています。処置をおこなっても改善が見られない場合は、弊社カスタマーサポートセンター(87 ページ)へお問い合わせください。

● Moto DR Player のインストール・アンインストール

■ Moto DR Player をインストール出来ない。

- ・ インストールしている PC の OS は、Windows 10(64bit)または Windows 11 ですか？
PC の OS が動作システム要件 (2 ページ) を満足していない Windows XP/Vista/7/8 などの OS の場合、インストール出来ません。動作システム要件を満足する PC を準備してインストールしてください。
- ・ Windows のモードが「S モード」ではありませんか？
「S モード」になっている場合、インストール出来ません。
モードの確認方法は、画面左下の[■]アイコンを右クリックし、「システム」を開くと「バージョン情報」または、「詳細情報」が表示されます。「Windows の仕様」の「エディション」に「Windows 10 Home in S mode」のように「S mode」の表記がある場合、「S モード」になっています。
「S モード」を解除するには、画面左下の[■]をクリックし、「設定」を開き、「更新とセキュリティ」から「ライセンス認証」を開き、「Microsoft Store に移動」をクリックします。「Microsoft Store」の「S モードをオフにする」画面から「入手」ボタンをクリックします。Microsoft アカウントでサインインします。(アカウントがない場合は「作成」から作成します)「すべて完了しました！」のメッセージが表示され、「S モード」が解除されます。解除後は、「バージョン情報」または、「詳細情報」の「Windows の仕様」の「エディション」に「S mode」表記がないことを確認してください。
なお、一度「S モード」を解除すると、再び「S モード」に戻すことは出来ません。「S モード」の解除によって発生した損害等について、弊社は一切その責任を負いません。
- ・ PC にサインインしたユーザーアカウントに管理者権限がありますか？
PC にサインインしたユーザーアカウントに管理者権限が付与されていない場合、本ソフトウェアをインストール出来ません。PC の管理者へ確認してください。

■ Moto DR Player をアンインストール出来ない。

- ・ PC にサインインしたユーザーアカウントに管理者権限がありますか？
PC にサインインしたユーザーアカウントに管理者権限が付与されていない場合、本ソフトウェアをアンインストール出来ません。PC の管理者へ確認してください。

● 動作全般

■ Moto DR Player が起動しない。

- ・ 本ソフトウェアの起動に必要なファイルを削除していませんか？
インストールしたファイルを削除したり、名称変更をすると、本ソフトウェアを起動出来なくなります。一度、本ソフトウェアをアンインストールし、再度インストールしてください。

■ Moto DR Player の起動が遅い、動作が全体的に遅い。

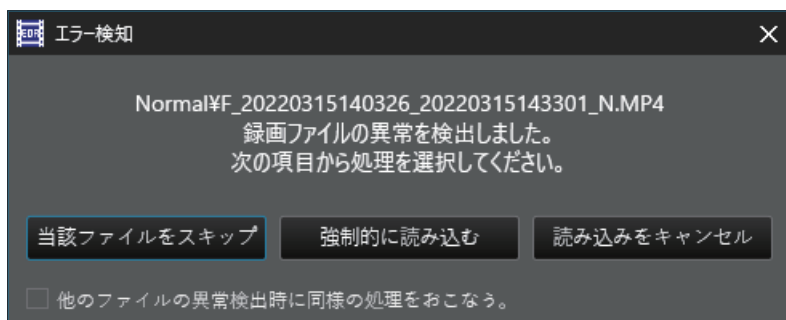
- ・ 本ソフトウェアの動作システム要件を満たした PC を使用していますか？
動作システム要件(2 ページ)を満たしていない場合、起動や動作が遅くなります。動作システム要件を満たした PC への変更やシステム構成の変更を検討してください。
- ・ Windows Update や他のソフトウェアなどが動作していませんか？
バックグラウンドで Windows Update やセキュリティソフトのウィルスチェックなど、他のソフトウェアが動作していると、起動や動作が遅くなることがあります。他のソフトウェアの動作が完了するのを待つか、他のソフトウェアの処理を中断するなどしてから、本ソフトウェアを起動してください。
- ・ メモリ空き容量が 1GB 以上(目安)ありますか？
本ソフトウェアを起動する前のメモリ空き容量が少ない場合、起動に時間がかかることがあります。使用していない他のソフトウェアを終了し、メモリの空き容量を増やしてから、本ソフトウェアを起動してください。使用していないソフトウェアを終了しても、メモリの空き容量を十分に確保出来ない場合は、空き容量確保のため、メモリの増設(交換)などを検討してください。
- ・ グラフィックボードのドライバは最新ですか？
ご使用中のグラフィックボードドライバのバージョンが古い場合、動作が遅くなることがあります。グラフィックボードのメーカーウェブサイトから最新版のドライバを入手し、インストールしてから、本ソフトウェアを起動してください。

●ファイル読み込み動作

■録画ファイルの読み込みでエラー「フォルダ内に有効ファイルがありません」が発生する。

- ・指定したフォルダに間違いはありませんか？
「ファイルを読み込む」(28～29 ページ)をご確認頂き、正しいフォルダを指定してください。
- ・フォルダ構成を変更していませんか？
フォルダ構成を変更すると、読み込み出来なくなります。「録画ファイルについて」(5 ページ)を参照してフォルダ構成を確認し、必要に応じて修正してください。
- ・フォルダ名やファイル名を変更していませんか？
フォルダ名やファイル名を変更すると、読み込み出来なくなります。「録画ファイルについて」(5 ページ)を参照してフォルダ名やファイル名を確認し、必要に応じて修正してください。
- ・本ソフトウェアで microSD カードをフォーマットしていませんか？
本ソフトウェアで microSD カードをフォーマットすると、指定可能なフォルダや読み込み可能な録画ファイルが削除されているため、読み込みできません。

■録画ファイルの読み込み中、「エラー検知」の画面が表示される。



- ・破損しているファイルが含まれていませんか？
破損したファイルが含まれていると、「エラー検知」の画面が表示されます。
画面の内容を確認して、処理を選択してください。
ファイル破損が頻繁に発生する場合は、microSD カードの性能が低下している可能性があります。
microSD カードのフォーマットをおこなっても改善が見られない場合は、microSD カードの交換を検討してください。
- ・ファイルの保存フォルダとファイル名に不整合が発生していませんか？
録画ファイル名の末尾の「N」「M」「E」と、保存されているフォルダ「Normal」「Manual」「Event」が正しくない場合、「エラー検知」の画面が表示されます。画面の内容を確認して、処理を選択してください。

■録画ファイルの読み込みが遅い、時間がかかる。

- ・長時間連続録画したファイルではありませんか？
録画ファイルを読み込みするときにマージ(連結)処理をおこなうため、連続録画時間が長いと連結する録画ファイルが多くなり、読み込みに時間がかかります。
- ・読み込む録画ファイル数が多くありませんか？
録画ファイルを読み込みするときにマージ(連結)処理をおこなうため、読み込みする録画ファイル数が多いと連結する録画ファイルが多くなり、読み込みに時間がかかります。
- ・ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
ファイルを読み込む機器の転送速度が遅いと、録画ファイルの読み込みに時間がかかります。
(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続しているなど。)
- ・他のソフトウェアが動作していませんか？
読み込みしている録画ファイルがあるストレージに本ソフトウェア以外のソフトウェアが同時にアクセスしていると、読み込みに時間がかかります。他のソフトウェアを終了するか、読み込みが完了するまで、そのままお待ちください。(例：microSD の録画ファイルを別のストレージにコピーしながら、本ソフトウェアでコピー中の録画ファイルを読み込んでいる。セキュリティソフトが読み込んでいる録画ファイルがあるストレージに対し、ウィルススキャンを実行しているなど。)

●メインビュー・サブビューの再生動作

- 録画ファイルを再生すると、再生エラーが表示される。
- 映像が表示されず、音声のみ再生される。
- 映像が一瞬止まる、コマ落ちするなどスムーズに再生されない。
- 再生速度を変更すると再生中画像が一瞬止まる、コマ落ちする。
 - ・ PC のグラフィック性能が不足していませんか？
PC のグラフィック処理性能が不足している可能性があります。
同時に起動しているソフトウェアがある場合は、ソフトウェアを終了することで改善されることがあります。
 - ・ PC のグラフィックボードのドライバは最新版ですか？
ご使用中のグラフィックボードドライバのバージョンが古い場合、発生する可能性があります。
グラフィックボードのメーカーウェブサイトから最新版のドライバを入手し、インストールしてください。
 - ・ PC のグラフィックボードの設定が変更されていませんか？
PC のグラフィックボードの変更内容によって、発生する可能性があります。
グラフィックボードの設定を初期設定または標準設定(デフォルト)に変更してください。
- 再生中に音声が出力されない。
 - ・ EDR 本体の録画 / 録音設定で音声記録の設定が OFF になっていませんか？
EDR 本体の音声記録の設定が OFF の場合、その設定で録画された録画ファイルには音声が記録されていないため、音声出力されません。
本ソフトウェアで、microSD カードに音声記録 ON 設定を書き込み EDR 本体に挿入して設定を変更してください。設定変更方法は、「Moto DR Player で本体の録画 / 録音設定する」(73 ページ)を参照してください。また、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」で EDR 本体の音声記録を ON することで変更することも可能です。設定変更方法は、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」のアプリガイドを参照してください。
 - ・ PC のサウンド(音声)出力先のデバイス設定が間違っていないですか？
PC のサウンド(音声)出力先のデバイス設定が間違っている場合、音声が出力されません。
サウンド(音声)に出力可能なデバイスが設定されているか確認してください。
 - ・ PC のシステム音量が小さくなっていたり、消音(ミュート)になっていませんか？
PC のシステム音量が小さくなっていたり、消音(ミュート)になっている場合、音声が出力されません。
PC のシステム設定から、音量や消音(ミュート)の設定を確認してください。
- 再生中に時々音声にノイズ(「ブツ」や「ブチ」音)が発生する。
 - ・ 録画ファイルの変わり目で発生していませんか？
録画した音声に低い周波数成分が多く含まれていると、録画ファイルの変わり目でノイズが発生することがあります。異常ではありません。

●地図ウィンドウ動作

■ 地図ウィンドウに地図や自転車位置(走行軌跡)が表示されない。

- GPS を搭載していないモデルの録画ファイルを読み込んでいませんか？
地図ウィンドウの地図表示は、GPS 位置情報が記録された録画ファイルでないと表示されません。GPS を搭載していないモデルの録画ファイルには、GPS 位置情報が記録されていないため、地図表示されません。
- インターネットに接続されていますか？
地図情報は、インターネットから取得しています。PC がインターネットに接続されていないと表示されません。ネットワークやセキュリティの設定で、本ソフトウェアがインターネットに接続出来ない場合があります。接続出来ない場合は、PC のネットワーク設定を確認してください。
- GPS 電波を受信出来なかった場面から録画ファイルを再生していませんか？
地下や屋内、ビルの間、高架下、山間部、トンネル内など、GPS 電波を受信出来なかった場面から録画ファイルを再生すると、録画ファイルに GPS 位置情報が記録されていないため、地図の表示はされません。GPS 位置情報が記録された場面から地図が表示されます。
- EDR 起動直後の録画ファイルを再生していませんか？
EDR 起動直後は、自転車位置を測位するまでに時間がかかり、録画ファイルに GPS 位置情報が記録されず、地図表示されない場合があります。GPS 位置情報が記録された場面から地図が表示されます。

■ 地図ウィンドウの地図が動かない、軌跡表示が残らない(飛ぶ)ことがある。

- GPS 電波を受信出来なかった場面で発生していませんか？
地下や屋内、ビルの間、高架下、山間部、トンネル内など、GPS 電波を受信出来なかった場面では、録画ファイルに GPS 位置情報が記録されていないため、地図が動かず、軌跡が残ります。GPS 位置情報が記録された場面から地図が動き、軌跡が表示されるようになります。
- 再生ツールを操作したタイミングで、軌跡が途切れていませんか？
再生ツールを操作するタイミングで、地図の軌跡表示が途切れることがあります。異常ではありません。

■ 地図や道路の情報が変わった。

- Google マップの地図情報が更新されていなかったり、更新されたりしていませんか？
本ソフトウェアの地図は、Google マップのサービスを使用しています。Google マップの更新状況により、走行時と地図表示に相違が発生することがあります。

■ 地図の道路表示から逸脱した場所に走行軌跡表示が残る。

- Google マップの地図情報が更新されていなかったり、更新されたりしていませんか？
本ソフトウェアの地図は、Google マップのサービスを使用しています。Google マップの更新状況により、走行時と地図表示に相違が発生することがあります。
- GPS 電波を受信しにくい場面で発生していませんか？
ビルの間、高架下、山間部など、GPS 電波を受信しにくい場面では、GPS 位置情報の精度が低下するため、地図の道路表示から逸脱した走行記録を表示することがあります。
- 速い速度で走行しているときに発生していませんか？
GPS 位置情報は、通常 1 秒間隔で記録しています。緩やかなカーブや急カーブ、交差点などを速い速度で走行した場合、地図の道路表示から逸脱した走行記録を表示することがあります。

■ 地図上の自転車位置が大きく(海の上や、国外などに)逸脱することがある。

- GPS 電波受信に影響する電波障害や外部電磁ノイズの発生はありませんでしたか？
GPS 電波受信時に電波障害や外部電磁ノイズの影響により、位置情報が正確に認識出来ず、誤った位置情報が記録されたものと考えます。頻繁に発生する場合は、EDR 本体付近や GPS アンテナケーブル付近にノイズを発生する電装品等がないか確認してください。

■ 地図をスクロール操作しても、自転車位置の場所に戻ってしまう。

- 録画ファイル再生中に操作していませんか？
録画ファイル再生中は、軌跡表示の更新タイミングで、自転車位置を中心とした地図表示をしているため、地図をスクロールしても自転車位置表示に戻ります。地図をスクロールしたい場合は、再生を一時停止してください。

●ファイルリスト動作

■「日付リスト」が選択出来ない。

- ・録画ファイルの再生中ではありませんか？
録画ファイルの再生中は、「日付リスト」の変更は出来ません。再生を停止してから、「日付リスト」を選択してください。

■1ファイル再生のチェックボックスを選択または解除出来ない。

- ・録画ファイルの再生中ではありませんか？
録画ファイルの再生中は、1ファイル再生のチェックボックスを選択または解除出来ません。再生を停止してから、1ファイル再生のチェックボックスを選択または解除してください。

●速度ウィンドウ動作

■走行速度が「0km/h(mph)」の表示のままになる。

- ・GPSを搭載していないモデルの録画ファイルを読み込んでいませんか？
速度ウィンドウの速度表示は、GPS位置情報が記録されていない録画ファイルでは表示されません。GPSを搭載していないモデルの録画ファイルには、GPS位置情報が記録されないため、速度表示されません。
- ・GPS電波を受信出来なかった場面から録画ファイルを再生していませんか？
地下や屋内、ビルの間、高架下、山間部、トンネル内など、GPS電波を受信出来なかった場面では、録画ファイルにGPS位置情報が記録されていないため、走行速度が「0km/h(mph)」の表示となります。GPS位置情報が記録された場面から走行速度が表示されるようになります。

■実際の走行速度と異なる速度が表示される。

- ・GPS電波を受信しにくい場面を再生していませんか？
走行速度は、1秒間隔で更新されるGPS位置情報から移動距離を演算して表示しています。GPS位置情報の精度や更新の間隔で、実際の走行速度と異なる表示をすることがあります。

●G グラフウィンドウ動作

■GグラフのX, Y, Zが、すべて「0.0G」の表示のままになる。

- ・EDR本体の「衝撃検知感度」の設定が、「OFF」になっていませんか？
「衝撃検知感度」の設定が「OFF」になっている場合、Gセンサーの情報が録画ファイルに記録されません。EDR本体の「衝撃検知感度」を「1～5」のいずれかに設定してください。

■Gグラフの方向と車両の向きが一致しない。

- ・GグラフのX, Y, Zの方向は、EDR本体の向きで決まります。
EDRの取扱説明書でX, Y, Zの方向を確認して、EDR本体の設置向きと車両の向きを一致させてください。

●ウィンドウ操作

■ウィンドウの表示が戻らなく(表示しなく)なった。

- ・本ソフトウェアの処理とウィンドウ操作のタイミングで、発生する可能性があります。
ウィンドウ構成の初期化「ウィンドウ構成を初期の状態に戻す」(51ページ)をして、再度お好みの表示へ変更してください。

■ウィンドウの調整時に表示が乱れる。

- ・ウィンドウ調整時に画面の再描画処理をおこなうため、表示が乱れることがあります。異常ではありません。
ウィンドウ調整の操作をゆっくりおこなうことで軽減されることがあります。

●録画ファイル連結保存

■ 連結保存したい録画ファイルがない。見つからない。

- ・ 連結保存したい録画ファイルのフォルダを読み込んでいますか？
連結保存出来る対象は、表示されている録画ファイルです。連結保存したい録画ファイルが「日付リスト」や「時間リスト」に含まれていない場合、連結保存したい録画ファイルが含まれるフォルダを再読み込みしてください。
- ・ 連結保存する録画ファイルを見落としていませんか？
連結保存画面では、対象の録画ファイルを見つけにくい場合があります。再生画面で連結保存したい録画ファイルの「日付リスト」、「時間リスト」をメモすることをおすすめします。

■ 録画ファイルの連結保存に時間がかかる。

- ・ 連結する録画ファイル数が多くありませんか？
連結保存する録画ファイルの数が多いと、連結処理に時間がかかります。異常ではありません。
- ・ ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
ストレージ機器の転送速度が遅いと、録画ファイルの読み込みや書き込みに時間がかかります。異常ではありません。(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続している。保存先のストレージに microSD カードを選択している。など)

■ 連結保存したファイルが複数に分割して保存される。

- ・ 連結する録画ファイル数が多くありませんか？
連結保存した 1 ファイルの最大容量を 4GB に制限して保存します。連結保存にて最大容量を超過した場合、複数のファイルに分割して保存します。
※保存先ストレージのファイルシステムが FAT16 の場合は、上限を 2GB に制限して保存します。

■ 連結保存したファイルを Moto DR Player で開けない。

- ・ 連結保存したファイルには、GPS 位置情報や G センサーのデータが記録されていないため開けません。
動画再生ソフトウェアや動画編集ソフトウェアで開いてください。

■ 連結保存したファイルを再生すると時々音声にノイズ(「ブツ」や「ブチ」音)が発生する。

- ・ 録画ファイルのつなぎ目で発生していませんか？
録画した音声に低い周波数成分が多く含まれていると、録画ファイルの変わり目でノイズが発生することがあります。異常ではありません。

●GPSログファイル保存

■ GPS のログファイルを保存したい対象の録画ファイルがない。見つからない。

- ・ GPS ログファイル保存したい録画ファイルのフォルダを読み込んでいますか？
GPS ログファイル保存出来る対象は、表示されている録画ファイルです。GPS ログファイル保存したい録画ファイルが「日付リスト」や「時間リスト」に含まれていない場合、GPS ログファイル保存したい録画ファイルが含まれるフォルダを再読み込みしてください。

■ GPS のログファイルを保存したが、ログデータのないファイルが保存された。

- ・ GPS を搭載していないモデルの録画ファイルを GPS ログファイル保存していませんか？
GPS 搭載モデル以外で記録した録画ファイルでも「GPS ログデータ保存」操作が出来ます。録画ファイル内にログデータが記録されていないため、ファイル内にログ情報は記録されません。
- ・ GPS の電波を受信していない場面の録画ファイルではありませんか？
GPS ログファイル保存したい対象の録画ファイルで、GPS 電波を受信していなかった場面が含まれる場合、GPS ログファイル内にその場面のログ情報は記録されません。

●録画ファイルバックアップ

■録画ファイルのバックアップに時間がかかる。

- ・バックアップするファイル数が多くありませんか？
バックアップするファイル数が多い場合、バックアップに時間がかかります。異常ではありません。
- ・ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
ストレージ機器の転送速度が遅いと、録画ファイルのバックアップに時間がかかります。異常ではありません。
(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続している。保存先のストレージに microSD カードを選択している。など)
- ・他のソフトウェアが動作していませんか？
読み込みしている録画ファイルがあるストレージやバックアップ先のストレージに、本ソフトウェア以外のソフトウェアが同時にアクセスしていると、バックアップに時間がかかります。他のソフトウェアを終了するか、バックアップが完了するまで、そのままお待ちください。

●microSD カードフォーマット

■microSD カードを認識しない。

- ・PC が microSD カードを認識していますか？
PC が microSD カードを認識していない場合、本ソフトウェアでも認識することが出来ません。
microSD カードおよびカードスロット、カードリーダー等を確認をしてください。
- ・microSD カードのフォーマットを PC が要求していませんか？
microSD カードを PC へ接続したとき、PC が microSD カードのフォーマットを要求している場合、本ソフトウェアで microSD カードを認識することが出来ません。PC の指示に従い、microSD カードのフォーマットをしてください。

■microSD カードのフォーマットに失敗する。

- ・SD カードアダプタがロック(書き込み禁止)状態になっていませんか？
SD カードアダプタを使用して microSD カードを PC に接続している場合、SD カードアダプタがロック状態になっていると、フォーマットに失敗します。一度 SD カードアダプタを取り出し、ロックを解除してから microSD カードのフォーマットをおこなってください。
- ・他のソフトウェア(アプリ)が microSD カードを使用していませんか？
他のソフトウェア(アプリ)が microSD カードや microSD カード内のファイルを使用している場合、フォーマット出来ない場合があります。エクスプローラーやその他起動中のソフトウェアを終了してから microSD カードのフォーマットしてください。
- ・microSD カードへのアクセス制限がかかっていませんか？
組織で管理されている PC などでは、microSD カードへのアクセス制限が設定され、書き込みやフォーマットが出来ない場合があります。PC の管理者へ確認してください。

■フォーマット実行したとき、セキュリティソフトが反応する。

- ・セキュリティソフトが、フォーマットの実行について確認している状況ですか？
セキュリティソフトが、フォーマットの実行について確認している場合は、「許可」や「実行」を選択してください。「キャンセル」や「中止」、「ブロック」などを選択した場合、フォーマットに失敗するだけでなく、本ソフトウェアが起動しなくなる恐れがあります。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。
- ・セキュリティソフトの動作により、本ソフトウェアを強制終了している状況ですか？
セキュリティソフトが、本ソフトウェアを悪意のあるソフトウェアやマルウェアと認識している場合、本ソフトウェアを強制終了させる場合があります。この場合、セキュリティソフトの設定で本ソフトウェアを「セーフリスト登録」や「除外リスト登録」等をおこなってください。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。なお、登録するプログラムファイルは下記の通りです。(インストール先が初期値の場合)

< Moto DR Player のプログラムファイルインストール先 >

C:\Program Files\MITSUBASANKOWA Corporation\Moto DR Player\Moto_DR_Player.exe

●録画ファイル削除

■録画ファイルの削除に失敗する。

- SD カードアダプタがロック(書き込み禁止)状態になっていませんか？
SD カードアダプタを使用して microSD カードを PC に接続している場合、SD カードアダプタがロックの状態になっていると、削除に失敗します。一度 SD カードアダプタを取り出し、ロックを解除してから録画ファイルの削除をおこなってください。
- 録画ファイルが読み取り専用設定されていませんか？
PC で録画ファイルを読み取り専用設定している場合、または専用スマートフォンアプリでファイルの保護を設定している場合、削除に失敗します。録画ファイルの読み取り専用または保護を解除してから録画ファイルの削除をおこなってください。
- 他のソフトウェア(アプリ)が録画ファイルを使用していませんか？
他のソフトウェア(アプリ)が本ソフトウェアで読み込み中の録画ファイルを使用している場合、録画ファイルの削除が出来ない場合があります。録画ファイルを使用しているソフトウェアでファイルを閉じるか、録画ファイルを使用しているソフトウェアを終了してから録画ファイルの削除をおこなってください。
- 録画ファイルのあるストレージへのアクセス制限がかかっていませんか？
組織で管理されている PC などでは、microSD カード等のストレージへのアクセス制限が設定され、録画ファイルの削除が出来ない場合があります。PC の管理者へ確認してください。

■録画ファイル削除を実行したとき、セキュリティソフトが反応する。

- 録画ファイル削除の実行について、セキュリティソフトが確認している状況ですか？
セキュリティソフトが、録画ファイル削除の実行について確認している場合は、「許可」や「実行」を選択してください。「キャンセル」や「中止」、「ブロック」などを選択した場合、録画ファイルの削除が実行出来ないだけでなく、本ソフトウェアが起動しなくなる恐れがあります。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。
- セキュリティソフトの動作により、本ソフトウェアを強制終了している状況ですか？
セキュリティソフトが、本ソフトウェアを悪意のあるソフトウェアやマルウェアと認識している場合、本ソフトウェアを強制終了させる場合があります。この場合、セキュリティソフトの設定で本ソフトウェアを「セーフリスト登録」や「除外リスト登録」等をおこなってください。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。なお、登録するプログラムファイルは下記の通りです。(インストール先が初期値の場合)

< Moto DR Player のプログラムファイルインストール先 >

C:\Program Files\MITSUBASANKOWA Corporation\Moto DR Player\Moto_DR_Player.exe

●本体録画 / 録音設定

■本体録画 / 録音設定が EDR 本体に反映されない。

- microSD カードの録画ファイルを読み込んでいますか？
microSD カード以外の場所に保存された録画ファイルのバックアップを読み込んでいる場合、microSD カードに設定ファイルを書き込み出来ません。microSD カードの録画ファイルを読み込み、再度設定をしてください。
- EDR 本体または本ソフトウェアでフォーマットした microSD カードを使用していますか？
EDR 本体または本ソフトウェア以外でフォーマットした microSD カードを使用していた場合、EDR 本体が microSD カードを認識出来ず、EDR 本体の設定を変更することが出来ません。
- SD カードアダプタがロック(書き込み禁止)状態になっていませんか？
SD カードアダプタを使用して microSD カードを PC に接続している場合、SD カードアダプタがロックの状態になっていると、microSD カードに設定を書き込み出来ません。一度 SD カードアダプタを取り出し、ロックを解除してから設定をおこなってください。

●ヘルプ(オンラインサポートページ)

■ オンラインサポートページが表示されない。

- ・ PC がインターネットに接続されていますか？
オンラインサポートページは、弊社のインターネット WEB サイトに接続して開くため、インターネット接続が必要です。インターネットへ接続出来ているか確認をしてください。
- ・ 弊社コーポレートサイトがメンテナンス中ではありませんか？
弊社コーポレートサイトがメンテナンスであった場合は、時間や日を置いて再度確認をしてください。

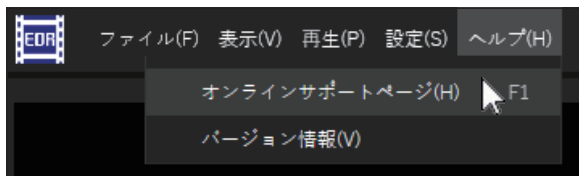
■ オンラインサポートページを開く

● オンラインサポートページについて

オンラインサポートページは、弊社のインターネット WEB サイトへ接続して WEB ブラウザで開きます。オンラインサポートページには、最新のソフトウェアの情報やサポート情報（よくある質問 Q&A）を掲載しています。お問い合わせの際は、事前に確認して頂くことをおすすめします。

● オンラインサポートページを開く

- ・メニューバーの「ヘルプ」から、「オンラインサポートページ」を選択します。



- ・ PC で設定された規定のブラウザで、オンラインサポートページを開きます。



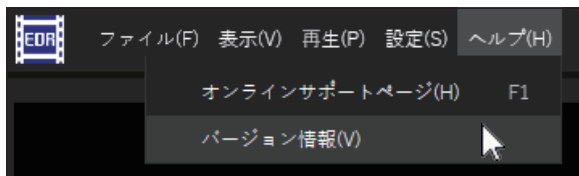
■ ソフトウェアのバージョンを確認する

● バージョン情報について

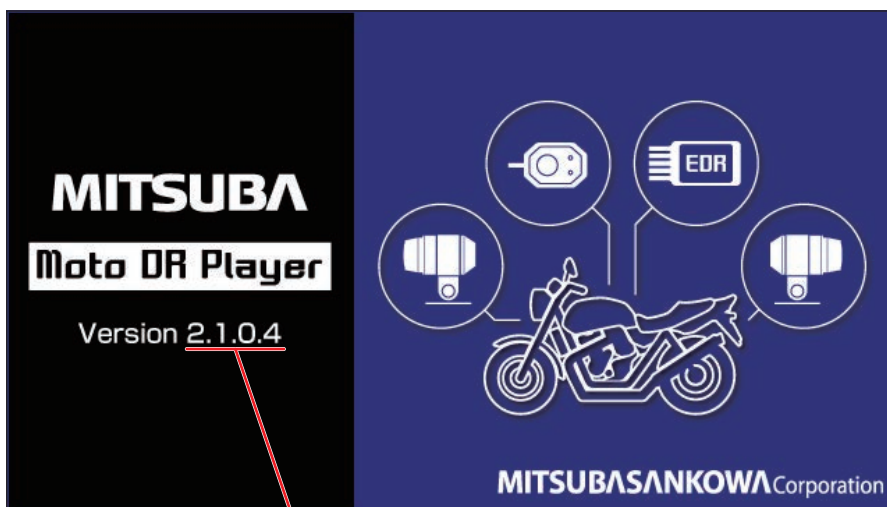
現在インストールされている「Moto DR Player」のバージョン情報を表示します。
弊社オンラインサポートページで最新のバージョンを確認するときや弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせ頂くときには、バージョン情報をあらかじめ確認してください。

● バージョン情報を開く

- ・メニューバーの「ヘルプ」から、「バージョン情報」を選択します。



- ・バージョン情報の画面が開きます。



ソフトウェアのバージョン

- ・バージョン情報画面を閉じるときは、バージョン情報画面をクリックしてください。

■ ライセンス情報

●著作権

Copyright © 2021 MITSUBASANKOWA Corporation
Released under the MIT license, Apache license and BSD 3-Clause license.

License	License Web address
MIT License	https://licenses.nuget.org/MIT
Apache License	https://licenses.nuget.org/Apache-2.0
BSD 3-Clause License	https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause

●登録商標・商標

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel は、Intel Corporation またはその関連会社の商標です。
- microSD™、microSD、microSDHC、microSDXC は、SD Association の登録商標です。
- Google マップ、Google Earth は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他記載されている製品名・システム名・サービス名などは、一般的にそれぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

■ お問い合わせ窓口

本ソフトウェアの操作で、目的の操作が正常におこなえないときは、「こんなときはー Q&A ー」(76～84 ページ)およびオンラインサポートページ(85 ページ)を確認してください。

記載された処置をおこなっても改善が見られないときは、下記項目を分かる範囲で確認して頂き、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

- 問題となった操作や状況などを具体的に
- 問題が発生した時期や PC 環境などの変化点
- PC のメーカーと品番、PC の構成内容
PC の構成内容の例
 - ・ CPU(プロセッサ)名
 - ・ メインメモリ容量
 - ・ GPU メモリ容量
 - ・ カードリーダーのメーカーと品番
 - ・ microSD カードのメーカーと品番、容量
- OS の種類とバージョン

例・Windows 10 Home 64bit 20H2 / Windows 11 Pro 22H2

株式会社 **ミツバサンコーワ**

本社／〒175-0094 東京都板橋区成増 3-3-4

<https://www.mskw.co.jp>

●商品に関するお問い合わせ窓口

株式会社ミツバサンコーワ カスタマーサポートセンター
〒379-2312 群馬県みどり市笠懸町久宮 289-3

☎ 0277-30-5802

M-087-069-D